

# 小松川小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

小松川小学校長 末松 睦士  
コーディネーター 松田 守弘

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 47人 |
|              | 学生ボランティア | 1人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称   | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-------------|---------------|------------------|
| 安全安心・安全マップ  | 不定期           | 10               |
| 安全安心・旗振り    | 毎日            | 毎日2名ずつ           |
| 安全安心・交通安全教室 | 不定期           | 12               |
| 学校図書・読み聞かせ隊 | 月1回           | 25               |
| 学校行事支援      | 不定期           | 20               |
| 環境整備隊       | 不定期           | 10               |
| 学習支援        | 週1回           | 1                |



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- 保護者による毎朝2名の旗振り当番の協力により、登校中の交差点での接触事故を今年度も0件にすることができた。
- 読み聞かせ隊（学校図書館応援団）の活動は新型コロナウイルスの影響で読み聞かせ活動が月1回に規模が縮小されたが、子どもたちは読み聞かせの際中、真剣な眼差しでお話を聞き入っており、読書の推進で成果を上げることができた。学校図書館の本の修繕や飾りつけなどの読書環境の充実を図書担当教員と連携を取りながら計画的に進めることができた。
- 地域安全マップ作りの見守り隊として、各グループの付き添いに協力していただいた。活動中の児童の安全に気を配っていただけたことで学習活動に児童が集中できた他、新しい発見の手助けにも協力していただいた。
- 学校行事支援については行事の中止や公開の中止などが相次いでしまい活動の機会が減ったが、サンタクロースに扮して子どもたちにプレゼントを配るなどこれまでにない活動を展開した。

### < 課 題 >

学校応援団の人材については保護者に頼る割合が高い。地域の方による潜在的なサポート力の開拓を進め、応援団の充実を図っていく必要がある。

- 新型コロナウイルスの影響でボランティアさんが来校する機会が少なくなってしまった。環境整備などは継続的な支援ができず、十分に機能させることができなかった。
- 学校応援の内容について現場のニーズを検証してさらに充実が図れるようにしていきたい。

## 5 コーディネーターより

小松川小学校学校応援団には安全安心に関する部門、図書に関する部門、行事での支援を行う部門、環境整備に関する部門、学習面をサポートする部門の5部門があります。保護者が中心となっている状況ですが、学年学級の枠を越えた関係が作れる他、子どもたちの普段の学校での様子がわかるなどメリットの多い活動であると考えています。今年は新型コロナウイルスの影響で活動にもだいぶ制限がありましたが、子どもたちがより活動しやすい環境を整えることで学校に協力していただけるようにしてまいりました。今後は学習面をサポートする活動が十分にできていないという現状がありますので人材を集め、協力できるようにしていきたいと考えています。

## 6 学校長より

今年度は新型コロナウイルスの影響で学校応援団の活動にもだいぶ制約がかかってしまいましたが、そんな中でも様々な方にお力添えいただくことができました。おかげさまで子どもたちにとって安全で実りの多い学習の場としていくことができましたことを深く感謝いたします。

先が見通せない不確実なことの多い昨今ですが、今後も保護者や地域の方と力を合わせて子どもたちのためによりよい環境を整え、充実した教育実践を行ってまいります。皆様におかれましても小松川小学校に通う「こまっ子」たちのためにご協力のほどよろしく願いいたします。

# 小松川第二小学校 学校応援団 実践報告書



## 1 校長及びコーディネーター氏名

江戸川区立小松川第二小学校長  
コーディネーター

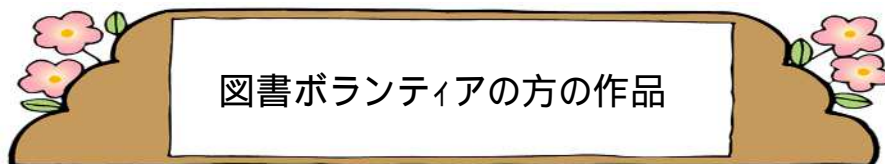
五十嵐 一嘉  
松本 樹也

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 70人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称  | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|------------|---------------|------------------|
| 図書ボランティア   | 不定期           | 10               |
| 飼育ボランティア   | 不定期           | 18               |
| 読み語りボランティア | 不定期（年間10回程度）  | 60               |
| 学習ボランティア   | 不定期           | 10               |





児童は、読み語りを毎回楽しみにしています。  
僕も図書ボランティアの方が作ってくれました。



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

季節ごとに変わる図書室や2階の掲示板の飾りを見て、児童が来室することを楽しみにするようになり、本に興味をもつことができた。掲示板には、四季折々の本も展示されており、日本の四季を実感していた。

読み語りボランティアの方の読み語りを聞くことで、読書に関心がなかった児童も自分で読んでみたいという気持ちになり、学校全体の読書量が増えた。

### < 課 題 >

今年度は、例年とは異なった学校生活を送ることになり、学校応援団の方の活動が限られてしまった。来年度は、図書ボランティア、読み語りボランティア、飼育ボランティア以外の活動も実施できるようにしていく。

## 5 コーディネーターより

今年度の始まりは学校休業からでした。そのため、例年同様の活動は困難でした。2学期からは図書ボランティアの方が毎週図書室の整備や季節に合った掲示物を作ってくれました。小松川第二小学校は読書活動が活発です。本好きの児童を育てるためにも教職員の方と保護者、地域が協力して活動していきたいと思います。毎年、行っていたA C A Pの方による消費者教育はできませんでしたが、東京税理士江戸川北支部の皆さんのご協力により6年生に租税教室を実施することができました。税金の必要性、大切さを考える良い機会となりました。

## 6 学校長より

今年度はコロナ禍における活動となり、例年のような活動ができませんでした。その中でも、図書ボランティアの方には図書室の整備や掲示、校内掲示板の装飾をしていただきました。また、読み語りボランティアの方には、1年生から6年生までの児童への読み語りをしていただきました。児童の発達段階や季節に合った本を選んでくださったこと感謝申し上げます。児童一人一人がP T Aから寄贈していただいている図書バックを持って嬉しそうに図書室に通っています。本が好きですと本に親しむ児童の姿が多くみられました。来年度も、ボランティアの方のお力を借りて読書活動の充実に努めてまいります。たくさんの方々に参加していただけるよう工夫を重ねてまいります。これからも地域の方々と共に、よりよい教育活動に励んで参ります。よろしく願いいたします。

# 平井小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

平井小学校長            山下 靖雄  
 コーディネーター      笠松 志保

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|                |          |     |
|----------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア登録数 | 一般ボランティア | 80人 |
|                | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称   | 活動状況(週、月、不定期)                        | ボランティア数<br>(実人数) |
|-------------|--------------------------------------|------------------|
| スクールガード     | ・登下校時の安全見守り、旗振り（毎日）                  | 6人               |
| 読み聞かせボランティア | ・各学級での本の読み聞かせ（月2回）<br>今年度は活動を実施せず。   | 15人              |
| 図書整備ボランティア  | ・図書整理、本の修理（不定期）                      | 4人               |
| おやじの会       | ・学校行事、PTA 行事の支援（不定期）                 | 40人              |
| 学生ボランティア    | ・学習支援（毎週2回）<br>今年度は活動を自粛。            | 0人               |
| 平井6丁目東寿会    | ・花笠音頭の指導、運動会参加（年2回）<br>今年度は運動会を実施せず。 | 15人              |

### 平井小学校学校応援団



クリスマスイベント



読み聞かせ



町探検出発式



荒川環境学習



登下校時の見守り

#### すくすくスクール

- ・工作教室
- ・折り紙教室
- ・フラダンス教室
- ・将棋教室
- ・日舞教室
- ・お箏教室

#### PTA・保護者

- ・読み聞かせ    ・図書整備
- ・登下校時の交通安全指導（旗振り）
- ・親子安全見守り隊活動
- ・交通安全教室・自転車教室
- ・環境学習等校外学習の安全見守り
- ・地域パトロール

#### 地域・学生

- ・登下校時の交通安全見守り
- ・荒川環境学習
- ・ふれあい給食での交流学習
- ・学習支援    ・凧作り指導
- ・地域行事の準備、運営
- ・花笠音頭の指導

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

3年生の自転車運転免許教室では、多くの保護者ボランティアの方々にご協力をいただき、猛暑の中で自転車の実技指導を行いました。全員が自転車運転免許の交付を受け、安全に自転車を運転することができています。2年生の校外学習でも同様に大勢の方のサポートを受けました。図書館ボランティアによる図書館の本の修理・図書整理等を不定期で行いました。今年度は読み聞かせボランティアによる読み聞かせを実施することができず、代わりに6年生が1年生に読み聞かせを行う期間を設けました。

4年生の荒川環境学習では、下平井水辺の楽校の方の指導のもと、多くの保護者ボランティアの方々にご協力をいただき、全2回のフィールドワークを行うなど充実した活動になりました。荒川という地域の特色を活かしたもので、本校4年生の総合的な学習の時間の柱となっています。

- PTA・おやじの会が連携し、クリスマス前の土曜授業日にサンタさんに仮装して、コロナ禍で土曜授業を頑張っている子供たちを元気づけるイベントを実施しました。

すすくすくスクールでは、保護者ボランティアを招いて工作教室など様々な教室を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大状況により、実施できたものとそうでないものがあり、次年度こそより多くの教室を行えるように対策を検討中です。

### < 課 題 >

スクールガードの方々ที่通学路に立って交通安全の見守りをしてくださっていますが、登下校時に出られる方は限定されるので、参加人数が減少傾向にあります。少しずつ組織の再編成をしていく必要があります。

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、保護者の校内への立ち入りを学校が制限した期間が長かったこともあり、保護者の方がボランティア活動に参加する機会が大幅に減少してしまいました。

## 5 コーディネーターより

地域の皆様、保護者の皆様に支えられ、学校応援団としての活動が行われました。今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために、できる活動と自粛せざるを得なかった活動がありましたが、PTA・おやじの会をはじめ多くのスタッフがコロナ禍で何ができるか、また、来年度以降どんな活動を行っていくべきかの話し合いの機会を多くもつことができました。今後にも必ず活かしていきます。学校応援団としての活動は昨年度に比べ、縮小となりましたが、2学期以降、各学年の校外学習などに多数の保護者の方々が協力してくださり、学校をサポートしていただきました。ありがとうございました。

来年度こそは、以前よりも幅広く充実した活動となるように尽力していきたいと考えております。今後も多くの皆様のご支援をよろしく願いいたします。

## 6 学校長より

地域と共に歩む学校を目指して、学校応援団の皆様には様々な教育活動にご理解・ご協力をいただいております。この場をお借りして御礼申し上げます。コロナ禍の状況の中、昨年度まで受けていた学校応援団からの支援に対し学校から自粛を要請することに大変胸を痛めた1年でした。しかし、「困った困った」と立ち止まっているわけにはいきません。今回の危機から学び、進化するべく学校として地域・保護者・子供たちと社会をつなぐ場となるよう尽力して参ります。今後とも学校応援団の皆様のご理解・ご協力をよろしく願いいたします。

# 平井西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

平井西小学校長           春日 静子  
コーディネーター       前澤 勝三

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 26人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期)    | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|------------------|------------------|
| 下校安全指導    | 週5回              | 6人               |
| 花壇の環境整備   | 不定期              | 4人               |
| 昔遊び       | 不定期              | 8人               |
| 蚕の繭とり     | 不定期              | 1人               |
| 読み聞かせ     | 毎週水曜（感染防止のため未実施） | 10人              |
| 朝遊び補助     | 毎日（感染防止のため未実施）   | 3人               |



学校応援団による  
下校安全指導

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・学校応援団による下校時の見守りによって児童の下校における安全が守られると共に、地域の方々へ進んであいさつをする児童が増えた。
- ・三者協議会等の開催で、学校応援団と PTA 本部役員、ならびに生活指導主任をはじめとする学校の教職員が、下校時等の児童の様子について意見を交わすことができた。
- ・地域と保護者、学校の三者の連携が深まった。
- ・学校応援団活動を通して、教職員の地域への感謝の念が深まった。

### < 課 題 >

- ・学校応援団メンバーに高齢の方が多く、新しい人材の参加が課題である。
- ・活動の活性化を図るために、ホームページ等を活用し、活動の様子や団員募集の情報等を積極的に知らせる。
- ・今年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、朝遊びや図書の読み聞かせ活動が全面中止となった。

## 5 コーディネーターより

私たち学校応援団は、朝遊びの見守りや、ときには児童の遊び相手となるなど、平井西小学校の児童と大変深くかかわらせていただけてきました。また、下校時の安全見守りを通し、挨拶をすることの大切さなどを児童に伝えてもいます。自分から進んで私たちに挨拶を返してくれる児童が多く、これからもこの活動を続けてまいりたいと思います。しかしながら、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、朝遊びや図書の読み聞かせの活動ができませんでした。来年度はこれらの活動ができるようになることを祈っております。

今後も、学校、PTA、地域の方々と連携し、子供たちが健やかに成長していったほしいと思います。これからもがんばります。

## 6 学校長より

児童の下校における安全の見守りとして、雨の日も風の日も毎日子供のために見守りをしていただき、感謝しております

本校では、就業前の時間帯を使った朝遊びを設け、学校応援団の方々に来ていただき、朝遊びの見守りをお願いしています。朝遊びは、体力向上にも通じていて、毎年新体力テストでとてもよい結果を残してきました。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため、朝遊びを実施することができませんでした。また、児童が楽しみにしている週1回の図書の読み聞かせも実施することができませんでした。来年度は、これらの活動を学校応援団の皆様のご協力をいただき、再開できればと思っております。



# 平井東小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

平井東小学校長 宮本 知司  
 コーディネーター 芳賀 秀彦



## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|                |          |     |
|----------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア登録数 | 一般ボランティア | 65人 |
|                | 学生ボランティア | 1人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|---------------|------------------|
| 読み聞かせ応援団  | 月2回           | 20               |
| 図書整備応援団   | 月4回           | 15               |
| 学習補助応援団   | 不定期           | 15               |



### 平井東小学校学校応援団

#### 地域

- ・荒川環境学習のゲストティーチャー
- ・地域お招き会での交流学習
- ・学習支援
- ・鼓笛隊パレード
- ・ナイトウォーク
- ・マラソン大会 等

#### PTA・保護者

- ・読み聞かせボランティア
- ・荒川環境学習での安全見守り活動
- ・地域パトロール
- ・運動会の準備、片付けなど学校行事の支援
- ・PTAやパパスクラブ(父親の会)による行事
- ・学習支援

#### すくすくスクール

- ・指導の一貫性  
(学校との情報交換)
- ・子供の活動の場の拡大  
(親子で遊ぼう会・工作教室・ひらこまはらっぱなど)



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・今年度も、昨年同様に、図書整備応援団と学校が連携した図書活動を充実させることができた。学校図書館の環境整備や本の修理を定期的に継続して行うことにより、子供たちが「本を読みたい」「調べ学習をしたい」と、意欲をもって来室し、学習できる場となっている。今年度は本の消毒作業に力添えを頂いた。
- ・毎月定期的に行われる「朝の読み聞かせ活動」では、どの学年の教室でも子供たちが目を輝かせて読み聞かせに聞き入り、確実に本好きな子供たちが育ってきている。
- ・本校の大きな特色の一つである「荒川環境学習」には、応援団の協力が欠かせない。「子供たちとともに考え、楽しむ」という姿勢で、活動を続けたい。
- ・例年、運動会や学芸会の後片付け作業に、パパスクラブをはじめとするたくさんの保護者・地域・卒業生の協力があり、「学校を応援したい」という気持ちをもつ方が多いことが分かる。



### < 課 題 >

- ・子供の卒業とともに抜けてしまうメンバーもいる。無理なく多くの保護者や地域の方（卒業生の保護者含め）が学校応援団として参加できるよう、少しずつ組織を再編成していく必要がある。
- ・図書室の環境整備や読み聞かせ活動を授業や図書委員会の活動とリンクさせるなど、児童と応援団とがお互いに関わり合いをもてるような工夫もしていきたい。
- ・応援団の活動の様子をホームページでも紹介しているが、さらに紹介方法を工夫することで、その活動を広く周知していきたい。

## 5 コーディネーターより

『出来ることから少しずつ』、これが本校PTAと学校応援団の共通する合言葉です。連合運動会、祭礼、鼓笛パレード、マラソン大会、ナイトウォーク等々、小松川・平井地区には「地域で子供を育てる」という風土が強くあります。これからも、ひがしっ子の健やかな成長のために、私たち大人が「出来ること」を「少しずつ着実に」行っていきたいと思います。

日頃より、学校応援団の諸活動にご理解とご協力をくださる皆様に感謝いたします。

## 6 学校長より

「あなたをだいじにする ひがしっ子」「あいてをだいじにする ひがしっ子」を合言葉にする本校。さまざまな場面で子供たちの生活や学習活動を支援して下さるたくさんの「学校応援団」の皆様を支えられています。

読書活動の充実に向け、週2回以上設けている朝読書の時間には「読み聞かせ応援団」の皆さんが参加して下さる日があります。「図書整備応援団」の皆さんは、毎週1回図書室に集まり、図書の整備や明るい環境作りを工夫してくださっています。また、学校に隣接する荒川を題材に、身近な自然の営みや、環境について主体的に関わる学習である『荒川環境学習』では地域の方が講師になって、荒川について教えてください。荒川に出かけて活動するので、安全の確保は重要な課題ですので、大勢の保護者の方々が見守りに来てくださっています。

平井東小学校を愛する保護者・地域の方々が、これからも学校応援団として活躍して下さることを願っています。どうぞよろしく願いいたします。



# 平井南小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター（代表） 学校応援団長氏名

平井南小学校長                      岡田 盛雄  
コーディネーター（代表）      阿部 美代子  
学校応援団長                        阿部 美代子

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|                |          |     |
|----------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア登録数 | 一般ボランティア | 39人 |
|                | 学生ボランティア | 2人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期)            | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|--------------------------|------------------|
| 登校安全見守り隊  | 登校日の毎日 登校時の安全見守り         | 28人              |
| クリーン作戦世話人 | 年2回<br>地域と連携して行う学区域清掃の窓口 | 2人               |
| 読み語りの会    | 月1回 学級に入って読み語り           | 14人              |
| 図書室整備支援   | 月1回 図書室を整備               | 14人              |
| 学習支援      | 週2回 学級に入って指導の補助          | 2人               |
| 盆踊り指導     | 年1回 運動会の種目「東京音頭」指導       | 1人               |



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

今年度は、感染症対応をしながら、引き続き多くの学校応援団の皆様のご協力を得て、教育活動を展開することができました。毎朝、地域の皆様に「安全見守り隊」として参加していただき、児童の安全を見守っていただいています。今年度は横断旗の経年劣化に伴い、横断旗を新調いたしました。児童と毎朝あいさつを交わしていただく安全見守り隊の方々には、交通安全のみならず、あいさつ指導もしていただいている状況です。毎月1回金曜日の朝読書の時間に「読み語りの会」の皆様感染症対応をしていただきながら読み語りをしていただくとともに、学校図書館の整備もしていただいています。ミニ運動会の実施に際して、地域の日本舞踊の先生にボランティアで1年生が東京音頭を教えていただきました。初めて東京音頭を踊った1年生も楽しく踊ることができました。

### < 課 題 >

今年度は感染症予防の観点からクリーン作戦については、学校応援団の窓口の方と話し合い中止しました。今後感染症の状況が改善次第、地域を愛する心を醸成する観点からクリーン作戦を再開します。また、地域伝統の「灯ろう流し」「昔遊び」についても同様に感染症の状況を見て再開を図ります。

学校応援団の皆様気軽に活動していただける環境を整え、協力者をさらに増やしていくことが必要です。そのために幅広く学校応援団の活動を検討していくことが課題となっています。

## 5 コーディネーター（代表）より

今年度は、感染症対応から制限された範囲の中ですが、学校応援団員と児童の交流をもつことができました。学校を離れた日常生活の中でも、気軽に応援団の皆様にかける児童が増えてきています。これからも、この学校応援団の活動を通して児童とのつながりを大切にしていきます。

また、感染症の状況を見ながら学校応援団員同士のつながりも大切にしていきます。感染症の状況が改善したら学校応援団員同士が交流できる機会もつくっていきます。

## 6 学校長より

平井南小学校に着任して2年目になりました。今年度は感染症対応で制限のある中での活動でしたが、地域の方々を中心とした学校応援団の皆様多大な支援をいただき心から感謝いたします。温かい地域の皆様と共に歩んできたのが、平井南小学校です。安全見守り隊や読み語りの会などの方々をはじめ、多くの応援団員の皆様から応援をいただけてまいりました。今年度も学習ボランティアとして学生ボランティアの方に来ていただくこともできました。児童のよりよい成長のため、職員一同、精一杯努力してまいります。何卒ご協力よろしく願いいたします。

# 松江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

松江小学校長            木 村   紀 朗  
コーディネーター        八武崎   秀 紀

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|                |          |      |
|----------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア登録数 | 一般ボランティア | 554人 |
|                | 学生ボランティア | 0人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称   | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-------------|---------------|------------------|
| 登校見守り（旗振り）  | 週5日           | 477              |
| 放課後見守り      | 週1日           | 25               |
| 図書館ボランティア   | 不定期（およそ2週に1日） | 12               |
| 花壇ボランティア    | 不定期           | 15               |
| ベルマークボランティア | 不定期           | 15               |
| 漢字検定手伝い     | 年2回           | 10               |



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症対策として図書館ボランティアも児童と接触がない時間や場所で活動していただかなくてはいけなかったが、意欲的で献身的に活動していただき、学校図書館の雰囲気明るく、本に親しむことのできる素敵な環境になった。図書館では蔵書の整理や補修、季節ごとの飾り付けづくりなどをしていただき、1階の「えほんのもり」では、子供たちにおすすめしたい本の展示を工夫するなどしていただいた。
- ・ベルマークボランティアも不定期だが活動を継続していただくことができた。集められたベルマークで、今年度児童に向けて一輪車を3台寄贈していただくことができた。休み時間等に一輪車に乗って活用している児童が多く見られた。
- ・花壇ボランティアでは、今年度ポータブル耕運機を1台購入し、少人数でも今までと同じ広さを整備していただくことができた。校庭の一角がきれいな花々で彩られ、子供たちも足を止めて鑑賞する様子が見られた。

### < 課 題 >

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症対策として様々な活動で休止や活動の制限を行わなくてはならなかった。例年行っていた「読み聞かせボランティア」「踊りボランティア」「昔遊びボランティア」などは直接子どもと交流の機会があるので、中止せざるを得なかったのは残念である。
- ・集団登校では、毎日交通の要所に保護者や地域の方々が立っていただき、交通安全を見守ってくださっているのだが、今年度登校途中に見守りのいない場所で一件だけ車との接触事故が起きてしまった。けがなどはなかったのだが、見守りのいない場所でも事故なく安全に登校することができるように児童の指導を徹底していきたい。
- ・どの活動においてもメンバーが固定されてきており、新規のメンバーが増えない傾向にある。新しいメンバーを発掘し、輪が広がるようにしていきたい。

## 5 コーディネーターより

松江小学校サポーターズクラブ(MSC)は、「学校」「PTA」「地域」「子供会」が一体となり、子供たちの安全を守り、学校生活や放課後の生活を安全で楽しく送れるよう支援するために活動しています。今年も大きな事故や事件に巻き込まれず、子供たちが安全に過ごせたことが何よりです。今年度は例年行っていた地域の商店街の方のご協力による「ハッピーハロウィン」を従来の形で行うことができませんでした。残念でしたが、子供たちの安全を守る観点からは致し方ないことなので来年度の再開を期待しています。今後も、地元商店街や地域の方々とも力を合わせ、子供たちがより安全に、そして、毎日楽しく過ごせるように努めていきたいと思っております。

## 6 学校長より

松江小学校の学校応援団は、子供たちの安全・安心の見守りを第一に、保護者や地域の皆様が地道な活動を展開してくださっています。今年度は新型コロナウイルス感染症のため例年通りの活動ができなかった部分が多くありますが、その中でも子供達のためにとご協力いただけたことはありがたかったです。

松江小学校はこれからも学校応援団の方々と共に、さらに、地域と共に歩む学校づくりを推進してまいります。今後ともご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

# 西一之江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

西一之江小学校長 大辻 隆夫  
コーディネーター 小祿 智次

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |      |
|--------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 150人 |
|              | 学生ボランティア | 0人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称             | 活動状況(週、月、不定期)               | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------------------|-----------------------------|------------------|
| 父親ボランティア<br>(イクメンジャ)  | 分散登校時の校外パトロール               | 20人              |
| 父親ボランティア<br>(イクメンジャ)  | カブトムシ小屋 世話と見守り              | 20人              |
| 図書ボランティア<br>(本はともだち隊) | 図書整備 毎日休み時間時及び夏休み<br>期間の2日間 | 30人              |
| 図書ボランティア<br>(本はともだち隊) | 読み聞かせ 各学期2回                 | 40人              |
| 安全指導                  | 登下校時 見守り 不定期                | 100人             |
| 行事支援                  | 学校行事 PTA行事支援 不定期            | 20人              |

図書ボランティア「本はともだち隊」図書室整備



イクメンジャ による分散登校中の危険箇所の見守り

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

図書ボランティア「本はともだち隊」は図書室整備と読み聞かせの活動をソーシャルディスタンスや消毒などの新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しながら、行ってきた。しかしながら、毎年10月に行われてきた「子どもまつり」は中止となった。

父親ボランティア「イクメンジャ - 」は分散登校時に校外パトロールとして危険個所の見守りを行った。登校時だけでなく下校時や放課後も危険であることを再認識し、交通安全を中心に呼び掛けることができた。

本校の昆虫飼育小屋では700匹以上のカブトムシの飼育を行っており、イクメンジャ が毎年4月に幼虫を掘り起こし、土の入れ替えと幼虫の数を数えているが、今年は緊急事態宣言中だったため教職員で整備を行った。その後のお世話と見守りを適時イクメンジャ を中心に行った。

### < 課 題 >

人材確保が毎年の課題であるが、特に今年度は新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが中止となり、父親ボランティアの活動する場が少なく宣伝する機会が無かったので人材確保が難しかった。学校の管理職やコーディネーターが変わっても継続して行うことができること、世の中の情勢にも柔軟に対応できるように確実なものにしていくことが課題である。

また、登校時のみでなく下校時や放課後の見守りを学校応援団の方々の力を借りて充実させていくこと、児童の学力向上や体力向上につながるような活動の充実を図ることも視野に入れていきたい。

## 5 コーディネーターより

西一之江小学校では学校応援団としての活動がスタートしてから10年になる。10年目の節目となる今年は新型コロナウイルス感染症拡大による影響でおおむね活動ができなかった。そのような中、6月の分散登校中は危険個所の見守りを午前・午後にわたり大変多くの方々に参加していただいた。9月には通学路の安全運転呼びかけ隊の地域協力者への委嘱式を小松川警察の協力のもと行った。今後も多くの方々のご協力をいただき、児童の安心・安全、笑顔のために、全力投球で学校、地域、保護者と力を合わせて取り組んでいきたい。

## 6 学校長より

本校は、「明るい学校」「楽しい学校」「魅力ある学校」を教育方針の柱とし、例年、保護者や地域の皆さまと協働して教育活動を進めてきた。具体的には、「各教室での読み聞かせ」「昆虫飼育支援」「俳句指導」「地域の昔のお話」「鼓笛隊の地域行事でのパレード参加」等多岐にわたる教育活動でご支援いただき、学習支援や環境整備、健全育成等、様々な面でご活躍いただき教育効果を上げてきた。

今年度はコロナ禍での活動となり、残念ながらほとんどの活動が中止となった。その中で、児童の登校の見守りをしていただき、児童の安心・安全に貢献していただいた。また、少し状況がよくなった2学期には各教室での読み聞かせをしていただいた。

子供たちがとても楽しみにしていた「イクメンジャーを救え！」は、実施の方向で検討し準備もしていたが、暮れに千人を超える感染者が出たことで、残念ながら中止となった。

管理職やPTA会長が代わっても、地域の皆様の学校に対する熱い思いは、開校当時から今日までしっかりと引き継がれ、息づいているので、今は仕方がないが、コロナが落ち着いた際には、また、三者が協働して、子供たちに郷土愛や愛校心を育む機会をつくり、「西一応援団」の更なる充実を目指していきたい。



# 第二松江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第二松江小学校長 和田 直樹  
 コーディネーター 石井 栄一

## 2 ボランティア登録数（令和3年12月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 55人 |
|              | 学生ボランティア | 1人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称             | 活動状況(週、月、不定期)                          | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------------------|--|------------------|
| 登下校見守り                | 週5回(平日の毎日)                             | 16人              |
| 図書・授業ボランティア           | ・読み聞かせ(週1回・水曜日)・図書室環境づくり(月1回・第1月曜日)・裁縫 | 10人              |
| 食育パートナー               | 年20回<br>(食育授業7回、特別給食12回、給食試食会1回)       | 15人              |
| 地域の伝統工芸<br>(引き染め)体験学習 | 年3回(2学期)                               | 4人               |
| 昔遊び体験学習               | 年1回(3学期)                               | 10人              |

くすのき<sup>ごようかい</sup>五葉会 ・ 登下校の見守り ・ 昔遊び名人



図書ボランティア ・ 本の読み聞かせ ・ 図書室の環境づくり



授業ボランティア  
・裁縫 ・調理実習



地域の伝統工芸（引き染め）体験学習



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

第二松江小学校応援団は、地域の協力者と保護者によって構成されています。その特長は、ボランティアの方が、ご自身のできることを自発的に行い、無理なく長く行っていることにあります。

特に、登下校の見守りは学校応援団設立の前から、地域の方々が児童の安全を守りたいという思いから発足し、今に続いています。この活動のお陰もあり、登下校時に大きな事故や事件は起きていません。安全に加え、児童は安心して登校でき、地域の方と元気に挨拶する習慣も身に付いてきました。図書ボランティアによる本の読み聞かせでは、本の魅力、読書の楽しさに触れ、学校の日を落ち着いてスタートすることができました。食育パートナーによる食育授業では、食や健康への関心が高まり、給食の食べ残しが減り、全学級で完食する日も増えました。地域の染め工場では、伝統の引き染めを体験させていただき、6年生は卒業制作の一つとして自分だけのランチョンマットを作り、地域の伝統工芸に触れることができました。

それぞれの活動は本校の教育活動を特色づけ、児童はより豊かで充実した学校生活を送ることができました。

### < 課 題 >

登下校の見守り活動は、交通量の多い箇所もあることから、ボランティアの皆さんの安全確保と負担の軽減が課題として挙げられます。また、新規に見守り活動に加わっていただく方が増えるようにすることが課題です。図書ボランティア、食育パートナー、体験学習のそれぞれの活動については、本年度は、活動が急ぎょ制限された部分もありましたが、制限が解除されるとより教職員との連携もより強め、より一層児童の教育活動の充実が図っていきたいと思います。

## 5 コーディネーターより

地域の熟年の方々による登下校の見守りでは、児童達やボランティアの方々との交流が生まれており、これは児童にとって非常に貴重な財産であると考えております。また、保護者ボランティアによる食育パートナーや本の読み聞かせ、家庭科の調理やミシンのお手伝いなどは児童達にとっての教育環境としてとても大切なことですので、これからも活動を継続していけるように、学校やボランティアの方々との連携をとっていきたいと思います。

## 6 学校長より

今年度も、学校応援団の方々にご支援・ご協力をいただき、本校児童は笑顔で元気に学校へ通うことができました。これだけ学校と子供たちを愛し、惜しみなく協力していただける地域はありません。深く感謝申し上げます。

これまで培ってきた活動をしっかりと価値あるものにして継続し、地域の教育力を取り入れ、地域とともに歩む学校としてさらに発展していきたくて考えています。

今年度は、PTA 本部の方と連携し、授業サポートとしてボランティアを創設しより児童の教育活動の充実を図ってくださっています。今後とも、ご支援・ご協力をよろしく願いいたします。

# 西小松川小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

西小松川小学校長 青山 美和子  
 コーディネーター 塚原 一希

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |      |
|--------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 224人 |
|              | 学生ボランティア | 0人   |

## 3 今年度の活動状況(今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で活動なし)

| 応援団の種類・名称         | 活動状況(週、月、不定期)          | ボランティア数<br>(実人数) |
|-------------------|------------------------|------------------|
| 登校見守りボランティア       | 毎朝、校門前で児童の交通安全の見守りをする。 | 5人               |
| 下校見守りボランティア       | 4月末まで、1年生の下校時の見守りをする。  | 26人              |
| 校外学習(行事)見守りボランティア | 校外学習時に安全を確保し、指導の補助をする。 | 127人             |
| 清掃ボランティア          | 校内の廊下・階段の清掃をする。        | 3人               |
| 調理実習指導ボランティア      | 調理実習時の安全見守りと指導補助を行う。   | 12人              |
| 5年生学習支援ボランティア     | 毎週木曜日に5年生の外国語学習の支援を行う。 | 1人               |
| 店の仕事体験ボランティア      | 店の仕事の説明と、仕事の体験指導を行う。   | 20人              |
| 図書室整備ボランティア       | 週1回、本の整理や修理、壁面装飾などをする。 | 10人              |
| 読み聞かせボランティア       | 月1回、朝読書の時間に本の読み聞かせをする。 | 17人              |
| 学校環境ボランティア        | 季節ごとに花壇に花を植える。         | 3人               |

登校見守りボランティア



読み聞かせボランティア



図書室整備ボランティア



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

今年度は活動なし。

### < 課 題 >

学校ホームページや読書ボランティア通信などを通じて、ボランティアの活動を紹介し、ボランティアの人材発掘に引き続き、力をいれていきたい。

## 5 コーディネーターより

今年度から新しくコーディネーターになりましたPTA会長の塚原一希です。今年度は新型コロナウイルスの影響で主だった活動ができませんでしたが、例年、多くのボランティアの方々の活躍により、学校教育活動に協力できていると前任者から聞いております。

来年は今年度活動できなかった部分も含めて、例年以上に、学校と保護者、地域の方々を結び付けることに注力して、子供たちが、より充実した学校生活を送れるように活動をしていきたいと考えています。

## 6 学校長より

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で活動がすべて中止となってしまいましたが、本校の教育活動が様々に展開できますのも、ボランティアの皆様のお力添えによるものです。例年、学校全体、または、各学年の活動や学習のめあてについて、ご理解いただきご協力いただくことで、子供たちは安心して学習に取り組むことができいております。

ボランティアの皆様の中には、お子様が既に本校を卒業して20年以上たっている元保護者の皆様が多くいてくださることも心強い限りです。地域に愛され大切にされている学校だからこそ思い、ボランティアの皆様、地域の皆様の期待に応えられますよう、さらに子供たちと共に頑張りたいと思っております。

今後も、子供たちの安全安心な学校生活のために、多くのお力をお貸しいただけますよう学校の教育活動の様子を学校HPや学校だより等で、保護者の皆様、地域の皆様に発信してまいります。

# 大杉小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

大杉小学校長 藤島 寿晴  
コーディネーター 池田 政弘

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 13人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|---------------|------------------|
| 登下校見守り    | 週5回(土曜授業日も)   | 5人               |
| 環境ボランティア  | 年4回の学校花壇の手入れ  | 5人               |



登校時の見守り活動



年4回の学校花壇の手入れ

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

このような状況下であっても、毎日の登下校の見守りを継続していただけたことが何よりであり、心から感謝を申し上げたい。おかげさまで、子どもたちは、それぞれの思いを掛けながらも、毎日笑顔で登校することができた。この登下校の見守りは、町会の交通安全部の協力により、毎朝に加え、必要に応じて危険個所に立っていただき、大きな安心感に繋がっている。

環境ボランティアは、1年を通して、玄関や公園の花壇を季節感のある花で満たし、情操教育に役立っている。

### < 課 題 >

今年度は、これまで行ってきた「読み聞かせ」「図書整備」「授業補助」「行事の支援」の活動が、実践できず残念であった。

今後も、工夫をしながら取り組み、児童の教育活動に生きるよりよい活動となるようにしたい。また、これまでと同様に、児童たちにはボランティアの方々に対する感謝の気持ちをもたせるとともに、直接お礼をする機会を設けるようにする。

## 5 コーディネーターより

今年度はコロナ禍の下、これまでのような活動ができず、子どもたちとも触れ合う機会が減り、たいへん残念に思いました。しかしながら、毎朝の登校の見守りや、放課後の花壇の手入れ等を通して、子どもたちと声を交わすことや学校の教育活動をサポートすることができたことは、地域の一人としても、コーディネーターとしても嬉しく思います。

今後も、何ができるかを考えながら、学校を支えるお手伝いをしていけるとありがたく、また嬉しく思います。そして、学校応援団の皆さんと力を合わせて、子どもたちのよりよい成長を願って努めてまいります。

## 6 学校長より

学校応援団の皆様には、本校の児童が日頃からたいへんお世話になり、心から感謝申し上げます。

今年度は、コロナ禍の下、思うような教育活動ができない中で、学校としても先が見えない不安を抱えながら、児童が安全で安心して学校生活が過ごせるよう努力してまいりました。制約制限のある中においても、皆様の登下校の見守りや環境整備により、どれだけ安心感をもつことができたかと思うと、ありがたく本当に感謝のほか言葉が見つかりません。

1年間、毎日、また、適時にご協力を賜り、親身にお世話をいただいたことは、子どもたちの心に温かな思い出として未永く残ることでしょう。慈愛に満ちた眼差しと労を惜しまないご支援を頂き、ありがとうございます。

# 大杉第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

大杉第二小学校長      奥澤 弘子  
コーディネーター      田崎 国男

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |      |
|--------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 193人 |
|              | 学生ボランティア | 1人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称                | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|--------------------------|---------------|------------------|
| 見守り隊                     | 月3～4回         | 28               |
| 登校班及び旗振り                 | 常時            | 50               |
| ふれあいウェンズデイ               | 毎週第3水曜日       | 20               |
| 読み聞かせボランティア              | 月1回(朝読書)      | 15               |
| 学校図書館ボランティア              | 年間(随時)        | 10               |
| 学校内外清掃環境整備               | 年間(随時)        | 20               |
| 杉ニサポーターズ<br>(児童の安全等サポート) | 年間(随時)        | 50               |

読み聞かせ  
ボランティア



1年生の下校見守り  
見守り隊



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

「見守り隊」の活動は、新型コロナウイルス感染症の影響で1学期は実施を見送ったが、2学期にはPTA役員の協力もあり、ほぼ毎週木曜日に実施することができた。「見守り隊」の皆様には、1年生の下校に付き添い、安全・安心に下校できるようにサポートしていただいている。本活動の歴史は古く、地域・保護者の認識も高く、在校生全てが1年生の時に世話になっていることから、地域で児童の成長を温かく見守っていただくことができている。

児童は1年間を通して、登校班で登校している。PTAの方が毎朝、旗振りを行い、安全・安心に登校することができた。

学校図書館ボランティアも2学期には、学校図書館の整備や、児童への読み聞かせを行うことができた。児童の発達段階に応じて選書し、児童の楽しみな時間とすることができた。

### < 課 題 >

意欲的に活動を行ってくださっているが、ボランティア活動に取り組んでくださる方が固定化したり、高齢化したりしていく傾向がある。今後も、新規加入者を増やし、活動の幅を広げていくことが課題である。

## 5 コーディネーターより

大杉第二小学校学校応援団は、平成22年5月13日に始まり、今年で11年目となりました。13あるボランティア団体は、「できるときに」「できる人が」「できることを行う」ことをモットーに、自分の意志で積極的に、<sup>すぎに</sup>杉二（大杉二小）の子供の健やかな成長のために活動しています。この活動をとおり、地域の人が互いのつながりを深め、児童にとって、地域にとって、よりよい環境作りをめざして活動しています。

「見守り隊」は、五北町会、大杉町会、保護者の方など、常時30名ほどのボランティアの方々が、毎週木曜日の午後2時に学校の校庭に集まり、1年生の下校を見守りながら、自宅まで送っています。

「ふれあいウェンズディ」は、例年は子供たちと工作やゲーム、折り紙等を通じてふれあいを楽しんでいましたが、今年度は感染拡大防止の観点から活動を控えました。

特に、これら「見守り隊」と「ふれあいウェンズディ」の本活動は、子供たちの健全育成に貢献する活動であると、注目されていることも、私たちの誇りです。

今後も、学校、家庭、地域が一体となったボランティア活動を推進し、人と人との絆を深く結び、協力を惜しまない応援団でありたいと思います。 (田崎 国男)

## 6 学校長より

大杉第二小学校は、昭和50年（1975年）に開校した学校です。開校より本年度まで常に町会、PTA、PTAのOB、地域近隣の皆様に厚く支えられてきました。様々な分野のボランティア団体の皆様から、大杉第二小学校応援団は組織されています。学校応援団代表田崎代表のお言葉にある通り、本校の学校応援団は「できるときに、できる人が、できることを」行っています。本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、応援団の活動が例年より縮小されたところがありましたが、本校の教育活動を様々に支えていただきました。これからも、大杉第二小学校に通う子供たちが健やかに成長できますよう、ボランティアの方々のお力添えをお願いいたします。 (奥澤 弘子)



# 第三松江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第三松江小学校長 武内 広明  
 コーディネーター 椎橋 治美

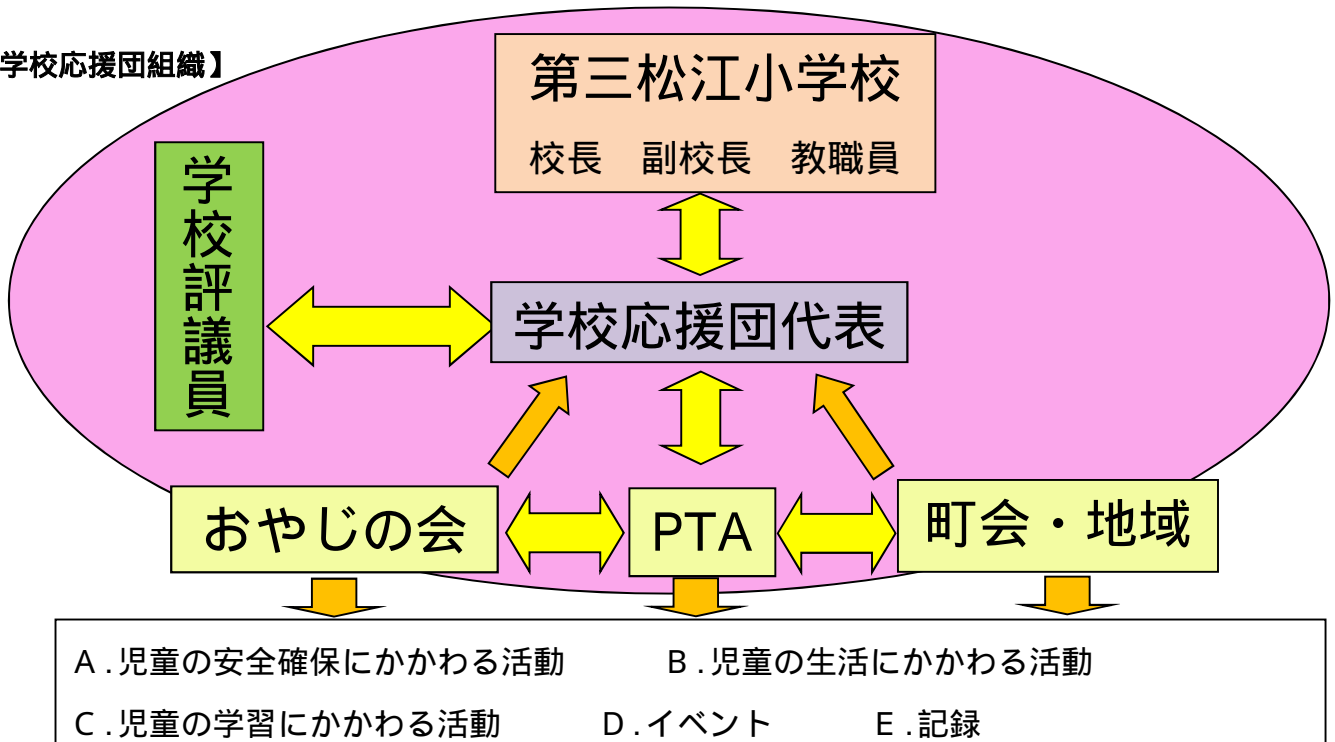
## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|                |          |      |
|----------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア登録数 | 一般ボランティア | 126人 |
|                | 学生ボランティア | 2人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称   | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-------------|---------------|------------------|
| 安全見守りボランティア | 毎日            | 35人              |
| 読み聞かせボランティア | 月1回           | 30人              |
| 図書ボランティア    | 月3～4回         | 30人              |
| イベントボランティア  | 不定期           | 22人              |
| 動物飼育ボランティア  | 不定期           | 4人               |
| 草花栽培ボランティア  | 不定期           | 5人               |
| 学習支援ボランティア  | 週1回           | 2人               |

### 【学校応援団組織】



## 4 今年度の成果と課題

### < 成果 >

#### (1) 常時活動の定着と充実

登下校時の見守りは、通常登校開始より毎日しっかり行われた。読み聞かせは、コロナの影響で2学期からの活動開始となったが、多数のボランティアが登録し、すみれ学級を含む全学級(22学級)で月に1回は読み聞かせ活動を行うことができた。また、学校図書館の環境整備の活動は、充実したものになった。児童が読書活動を行う上で、とてもよい環境を整えることができた。

#### (2) おやじの会のイベントの充実

本校のおやじの会は、例年は6月の「おやじんピック」、10月の「学校宿泊会」、2月の「おやじランド」、3月の「6年生を送る会」の4回のイベントを行っている。今年は、コロナ禍の中でも何とか工夫を凝らして活動できるように、短時間かつ安全に配慮した「三松グランプリ」を実施した。感染予防はしっかり行い綿密な計画の中、見事に実施できた。子供たちのために一生懸命準備をするおやじの会メンバーの熱意が感じられる活動であった。



おやじんピック

### < 課題 >

今年度、学生ボランティアが2名になり、学習支援を行っている。今後、さらにネットワークを広げ、幅広い年齢層の応援団を組織したい。また、地域の方々にも学校応援団の存在や活動内容をさらに周知し、協力を依頼できる体制を整えたい。

## 5 コーディネーターより

今年度の活動を振り返り、応援団員である保護者、PTA、おやじの会、地域や町会の皆さまにお礼を申し上げます。コロナ感染予防対策をした上での実施は課題も多かったと思います。大きな事故や事件もなく、安全に子供たちが登校し、学習できたのも皆様のお力のおかげだと思っております。今後も、より「安心・安全な学校」になるよう、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

## 6 学校長より

今年度はコロナ禍で計画していた取組ができない状況が続きましたが、三松小を見守る地域・町会の皆さん、そして、PTA・おやじの会の皆さんの「子供たちの笑顔のために」との強く温かい励ましの中で、『今できる最高のイベント』を安全に実施していただきました。

まだまだ不安が続く中ですが、これからも常に希望をもって、三松小らしく前向きに教育活動を進めてまいります。どうぞこれからも、引き続きご支援、ご協力をよろしくをお願いいたします。

# 大杉東小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

大杉東小学校長 岡本 高一  
 コーディネーター 水越 晃



## 2 ボランティア数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 34人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|---------------|------------------|
| 見守り隊      | 毎日            | 25               |
| 図書整備      | 週2回           | 9                |

## 学校応援団組織図

# 大杉東小学校

代表・コーディネーター

学校の担当窓口(副校長)

### 保護者

ボランティア  
 ・図書室整備  
 ・読み聞かせ (中止)  
 ふれあい集会 (中止)  
 登下校見守り (中止)  
 あいさつ (中止)

### PTA・サポーターズ

見守り隊  
 大杉東小まつり (中止)  
 運動会 (中止)  
 学習支援 (中止)  
 学校行事補助 (中止)  
 各委員会活動 (中止)

### 地域・町会

見守り隊  
 学習支援 (中止)  
 読み聞かせ (中止)  
 学校行事補助 (中止)  
 学校周辺清掃 (中止)  
 すくすく跡-ト (中止)

### すくすくスクール

地域の方と  
 ・舞踊教室 (中止)  
 ・将棋教室 (中止)  
 ・絵手紙教室等 (中止)  
 PTAと  
 ・すいか割り等 (中止)



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

#### 【見守り隊】

地域・保護者から児童の安全への心配と、安全対策への要望があったこともあり、昨年度から本格的に始動いたしました。今年度も保護者の皆様、地域の皆様と連携し「大杉東小学校見守り隊」を募集したところ、25名もの方々に賛同いただきました。また、今年度から小松川警察署交通課交通総務課「通学路安全呼びかけ隊」とも兼ねて活動しております。

今年度は新型コロナウイルス感染防止に伴い、毎学期初めに行っていた集団登校が行えず、個人登校となっております。自分のできる範囲で、配布された「見守り隊」のベストを着て、登下校の際に路上に立っていただいています。保護者のみでなく、地域の目もある中で、児童の安全な通学が守られております。

#### 【図書ボランティア】

新型コロナウイルス感染防止に伴い、活動は2学期からとなりましたが、図書室の本の修理や掲示物作成等の活動等を行っていただいています。季節が分かるような掲示物をたくさん作っていただき、環境を整えていただいています。

### < 課 題 >

今年度は新型コロナウイルス感染防止に伴い、ほとんどの活動が中止となっております。PTAの方々からは常に学校に対し「協力がしたい。」と、お声掛けをいただき、心苦しいばかりです。

## 5 コーディネーターより

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、なかなか活動が行えない時期もありました。感染防止を講じながら、大杉東小学校の学校応援団の代表・コーディネーターとして関わらせていただきました。少しでも大杉東小学校の教育活動のお手伝いできればとの思いからです。保護者や地域の皆様方には、登下校の見守りや様々な形で参加・参画などを通じて大杉東小学校の教育活動を支えていただいています。まさに、日常の授業を支える有形・無形の応援団になっています。これからも継続して、学校と地域、家庭を結ぶお手伝いという応援をしていきます。子供たち自身が地域の一員としての自覚がもてるよう協力して育てていきたいと思っています。皆様もご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

代表 水越 晃

## 6 学校長より

学校・家庭・地域社会と連携・協力し教育活動の充実を図ることが求められています。日常の学習活動や学校行事をはじめ、子供の安心・安全な学校生活への頼もしい応援が継続されています。

今、新型コロナウイルス感染防止にも役立てていただくことが必要になっています。また、学校応援団コーディネーター水越晃様（元本校 PTA 会長）の推進により、学校・地域・PTA・サポーターズ・すくすくスクール等との連携を強化し、更に、新型コロナウイルス感染防止を実現し、子供たちの健全育成に努めてまいります。今後も、より一層のご支援をお願いします。

校長 岡本 高一

# 東小松川小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

東小松川小学校校長      高木 伊織  
 コーディネーター      池上 千恵子

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|                |          |     |
|----------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア登録数 | 一般ボランティア | 71人 |
|                | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|---------------|------------------|
| 通学時の交通見守り | 通年            | 1人               |
| 蓮田栽培支援    | 通年            | 20人              |
| 租税教室      | 3学期           | 6人               |
| 読み聞かせ     | 月5～6回         | 44人              |
| 図書室整備     | 毎週木曜日         |                  |
| 本の選定      | 各学期1回         |                  |

読み聞かせ



蓮の栽培活動支援



登校の見守り



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

年度初めに、蓮田を守る会の皆様を中心に、大掛かりな蓮田の土の入れ替えを実施した。臨時休業中、感染症対策を講じて、すべての土を取り除き、新しい土を入れた。そのうち、教職員とともに蓮植えを行うことができた。11月に蓮堀りを実施した。蓮田を守る会の皆様の指導の下、児童が蓮堀り、収穫の体験を行うことができた。年間を通じた蓮の栽培活動では、「蓮田を守る会」の皆様をはじめ、地域の方々、PTA 役員、保護者の協力のもと、蓮植えから蓮堀に至るまでの活動（蓮田の維持管理、児童の栽培活動、収穫活動など）を充実させることができた。

○交通見守りボランティアの方には、毎朝登校班を見守り、最後に登校してくる児童が校門に入るまで付き添っていただいた。そのおかげで、交通事故がゼロであった。また、挨拶を子供たちに推奨して下さったり、温かい言葉がけをして下さったりと、児童を優しく見守っていただいた。

「図書ボランティア」として、朝読書時の読み聞かせ、図書室の環境整備、松江図書館の本の選定など、多くの方々にご協力いただくことができた。児童の読書への興味関心が高まった。

### < 課 題 >

蓮田の栽培活動は、「蓮田を守る会」の方々に1年を通して活動していただいているが、団員の皆様の御高齢化に伴い年々作業して下さる方が少なくなっている。土の入れ替えを実施したが、蓮の出来栄はよいものの、収穫量が減少した。栽培方法をはじめ、技術的な面を含め伝承していただく体制を整えることが課題である。

地域の歴史、本校の伝統である蓮の栽培活動を維持していくために、さらに協力を仰ぎ、活性化させていきたい。

ボランティアの方々が固定されつつある傾向がみられるので、より多くの人に関わっていただけるようにしていきたい。

コロナ禍における学校応援団としての活動を整理する必要がある。

## 5 コーディネーターより

今年度も、蓮田の活動、図書ボランティアの活動をはじめ、学校応援団の皆様のご協力により、感染症対策を講じながら、活動を展開することができましたことに深く感謝申し上げます。

これからもコーディネーターとして、地域の皆様、保護者の皆様にご協力をいただきながら、活動の幅を広げ、子供たちがより安全に楽しく学校生活を送れるよう協力させていただきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

池上 千恵子

## 6 学校長より

本校の特色である蓮の取り組みでは、「蓮田を守る会」と学校応援団のご協力により、今年度は土の入れ替えに始まり、栽培活動、収穫活動を終えることができました。

登校の見守り、本の読み聞かせや環境整備など図書館に関わる支援におきましては、感染症対策をしていただきながら熱心に活動していただきました。予定されていた行事等の中止や変更により、活動の見合わせなどが生じましたが、ご理解いただきましたことに感謝申し上げます。

今後も「ひがこま応援団」の認知を高め、各部会の充実と人材確保を学校としても考えてまいります。

# 船堀小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

船堀小学校長                      佐藤 美緒  
コーディネーター                田中 寿士

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |      |
|--------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 596人 |
|              | 学生ボランティア | 0人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称   | 活動状況(週、月、不定期)                 | ボランティア数<br>(実人数) |
|-------------|-------------------------------|------------------|
| 学校図書館ボランティア | 週1回の予定だったが、コロナ感染症拡大により不定期の開催  | 24人              |
| おはなしボランティア  | 月10回程度の予定だったが、コロナ感染症拡大により実施せず | 0人               |
| 安全見守り隊      | 週5回（月～金曜および、土曜授業）             | 3人               |
| おたすけ隊       | 不定期                           | 29人              |



コロナ感染症拡大により、様々な制限がかかる中での応援団の活動となりましたが、感染予防を第一に考えながらも、応援団の皆様のたくさんのお力と工夫のおかげで、できる限りの活動を行うことができました。



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・例年行っていた図書室の整備や、校舎2階の中心に位置する「絵本コーナー」の環境整備は、当初、週1回のペースで定期的実施する予定であったが、コロナ感染症拡大の影響で、規模を縮小した形で実施した。児童の読書活動の充実のため、少しでも活動ができたことはよかった。
- ・読み語り(おはなしボランティア)がコロナ感染症拡大の影響でまったく活動ができなかったが、その代わりとして教員による読み聞かせを行い、児童に読書の世界の楽しさを味わわせることができた。
- ・2学期から、図書の団体貸出しの選定を再開していただいたことで、児童が様々な種類の本に触れることができ、読書の世界を広げることができた。
- ・PTA手芸部に、昇降口の時計の飾り付けや絵本コーナーの装飾、各学年の掲示資料など、校内の掲示物を季節に合わせて作っていただいた。特に各学年の掲示資料については、ことわざを覚えられるような布製の掲示物や、算数のかけ算九九を覚えられるような掲示物を整備していただき、児童が日常的に楽しみながら学習することができた。
- ・学校が再開してから、登校は登校班による集団登校ではなく、各自での分散登校となったが、毎日の登校の見守りを継続的に実施し、児童の安全を守っていただいた。
- ・オリパラ学習の一環として、学年ごとにスポーツや文化についての指導をしていただき、様々な運動や文化に親しむと同時に、運動・文化への関心を高めることができた。
- ・例年行っていた地域の昔の話を聞く機会や、葛西地区の重要な産業であった海苔漉きの体験については、今年度は中止となってしまったが、その代わりに授業の中で学んだりしたことで、地域を愛する心情を育てることができた。
- ・例年実施していたPTA船小まつりやおやじの会サマーキャンプは、今年度は実施できなかったが、今後に向けての方向性や課題を確認することができた。

### < 課 題 >

- ・コロナ感染症拡大のもと、学校応援団としての在り方も含め、どのような活動が可能か。
- ・学校応援団と教職員との連携をどのように図るか。
- ・活動の活性化を図るため、学校応援団の活動を学校だよりやホームページ等を活用して、さらに広めていく。

## 5 コーディネーターより

今年度の活動は、コロナ感染症拡大の影響で、活動が大幅に制限された形となりましたが、その中でも工夫をして、可能な限りの活動を行うことができました。保護者や地域による「多くの大人の目や手」は、子供たちにとっては貴重なものであり、それによって子供たちの安全が守られ、充実した学びの体験となるので、今後も継続して、子供たちの心身の成長を豊かにする取り組みを、学校とともに積極的に行っていきたいと思えます。

## 6 学校長より

様々な制限がある中でしたが、「地域を愛し、次の時代を担う意識」を育むために、地域の自然や施設、文化を地域教材として、それらを知り尽くしている学校応援団のお力を借りながら、子供たちの興味関心を高めることができました。学校応援団の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。



# 船堀第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

船堀第二小学校長      八尋 崇  
コーディネーター      生井 敏昭

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 70人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称            | 活動状況(週、月、不定期)    | ボランティア数<br>(実人数) |
|----------------------|------------------|------------------|
| 図書ボランティア             | 毎週月曜日            | 20人              |
| 読み聞かせボランティア          | 毎週木金             | 20人              |
| 体験活動支援<br>親児の会 P T A | ドッチビー大会、打ち上げ花火大会 | 20人              |
| 登校見守り隊               | 毎日               | 10人              |



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

読み聞かせボランティアの方々には、読み聞かせを通じて、読書のおもしろさや魅力を伝えていく活動を計画していただいていたのですが、残念ながらコロナ禍の中では、思い通りにはいきませんでした。

図書ボランティアの方々には、学校図書館に入ると、わくわくするような雰囲気となるような飾り付けを作っていただいています。また、すぐに手にすることができるように本の配置やポップアップなどを工夫していただきました。

親児の会主催のサマーキャンプやもちつき大会など、PTA等の協力を得ながら楽しい企画を計画していただいていたのですが、コロナ禍では、ドッチビー大会や打ち上げ花火をすることに留まりそうです。例年、これらの企画に参加することを親子で楽しんでくださっています。

登校見守り隊の方々には、登校の様子等を見守っていただくことで、児童の安心安全にもつながっております。

コロナ禍のため、例年通りの活動とはいきませんでした。保護者・地域の皆様に支えられて子供たちも地域の一員であることを知ることができました。

### < 課 題 >

保護者や地域の方々と子供たちとを、どのような活動で結び付けていくことが有益なのかと、いろいろと考えを巡らせております。年を経るごとに、お手伝いをしていただける方がなかなか増えていきませんが、今後もこれらの活動に賛同していただいた方々と力を合わせて取り組んでいきます。地域の一員であるという意識を子供たちにもってもらえるよう、これからも頑張ってそれぞれの活動に取り組んでいきたいと思っております。

## 5 コーディネーターより

船二小の学校応援団としては、地域と協力して子供たちが安全に過ごせる街を目指しています。船堀は古くからの歴史と駅を中心とした新しい発展をとげた面という、新旧様々な素晴らしい文化がたくさんあるところです。ぜひ、地域を愛する子供たちが増えて欲しいと願っています。

今後も、ご協力いただける方を増やしつつ、学校を応援する態勢を築いていきたいと考えています。

## 6 学校長より

学校では、子供たちの学習や生活が充実したものになるように日々努めております。また、学校応援団の方々から様々なご支援をいただくことで、子供たちへの教育活動がさらに充実したものになってきます。

これからも多くの方々にご協力いただけるように、学校の様子を伝えていくとともに、子供たちの良いところをさらに伸ばしていけるような取組を整えていきます。今後ともご支援いただけますよう、よろしく願いいたします。

# 葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

葛西小学校長            内野 雅晶  
コーディネーター       石川 勝

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |      |
|--------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 100人 |
|              | 学生ボランティア | 1人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|---------------|------------------|
| 読み聞かせ     | 週1回(毎週水曜日)    | 60人              |
| 図書室環境整備   | 週1回(火曜日)      | 25人              |
| 登校見守り     | 週5回           | 10人              |
| 下校見守り     | 不定期(ほぼ、週2,3回) | 5人               |
| 授業補助      | 不定期           | 10人              |
| 校外学習引率見守り | 不定期           | 多数<br>(学年10~15人) |



### 朝の「読み語り」

今日はどんな本かなあ？  
水曜日の朝は、わくわくしながら学校に来るんだよ。読み語りは楽しいよ。

### L A S 図 書 館 整 備



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

・併設型小中学校として2年目となった。学校図書館ボランティア(L A S)の活発な活動で、小中学校の広い図書館において年間を通して図書館の整備や本の修繕、読み語りの活動を継続している。

毎週水曜日に行っている読み語りは、コロナのため2学期末から再開した。担任や自分の親以外の大人たちから本を読んでもらうことで、児童が本に親しむ大事な取り組みだと改めて認識した。学校図書館は小中学校で共有しているため、実態に合わせた配架の工夫、季節感あふれる図書室の環境づくり、本の整理や修理により、児童が本を選ぶことや、本を読む環境が整った。児童の発達段階にあった本の紹介等もしていただくことがあった。

・登校の見守りの方には、多数の目で子どもたちの安全を見守ってもらえ、安心して登校することができた。下校の見守りボランティアの方には、新しく出来た東門を中心に安全指導をしていただいた。併せて、挨拶等の呼びかけもしていただき、地域の教育力の高さを感じた。

### < 課 題 >

・学校図書ボランティア(L A S)の読書活動への支援は非常に大きい。年々人数が少なくなる傾向がある。OBとしての登録も歓迎する。

・学習活動への支援や環境整備のためのボランティアを積極的に活用していくため、各学年の年間学習予定に、ボランティア活用計画を組み込む。

・見守り隊の方の高齢化が否めない。ボランティア活動の様子をホームページ等で伝え、協力体制を広げていく。また、児童がしっかりと挨拶をしたり、注意を素直に聞いたりするよう、ボランティアの方が気持ちよく活動をしていただけるように、学校でも応援団の方に対する、児童の指導に注意を払っていく。

## 5 コーディネーターより

・図書室整備L A S皆さんのおかげで、広い図書館も、使いよく整備され、図書室を利用して本好きな子供たちをますます好奇心の世界へと誘ってくれています。図書室の装飾も四季折々、様々な年中行事を表し、子どもたちに日本の伝統文化をはじめ、諸外国の行事等も感じ取ってもらえるよう工夫されていて感心しています。小中学校の区別なく、葛西小学校中学校全児童生徒の為に活動していただいていることを心より感謝しております。

・子どもたちの交通安全を見守る地域の方々にも大変お世話になっております。今年度は、東門が使用可能となり、下校時に交通事故直前の危ない事案がありました。下校時に東門を中心に安全な歩行の声掛けを含めた見守りをしていただき、お陰様で事故なく登下校を行うことが出来ています。

葛西小学校応援団として、子どもたちのことを大切に思う気持ちを地域と共に育み、努めてまいりたいと考えています。どうぞ、ご協力よろしく願いいたします。

## 6 学校長より

今年度も葛西小学校応援団の方々には大変お世話になりました。江戸川区初の施設併設型小中学校としての教育活動が滞りなく行われているのも、応援団の方のお力添えのおかげだと感謝しております。

子供たちは、人と人とのかわりの中から、豊かな人間性を育てていきます。自分たちが地域の方々から支援されて成長していく事が、やがては地域に生きる人として、地域の活性化の中心となっていく素地を作っていく事につながります。予測不可能な今の社会に、柔軟に対応する力を子供たちに培うためにも、学校応援団の取り組みに大いに期待する所でございます。

今後も、学校と保護者、地域の皆様互いに良い関係づくりをしながら、共育協働の下、葛西小学校の子供たちを育てていきます。

# 二之江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

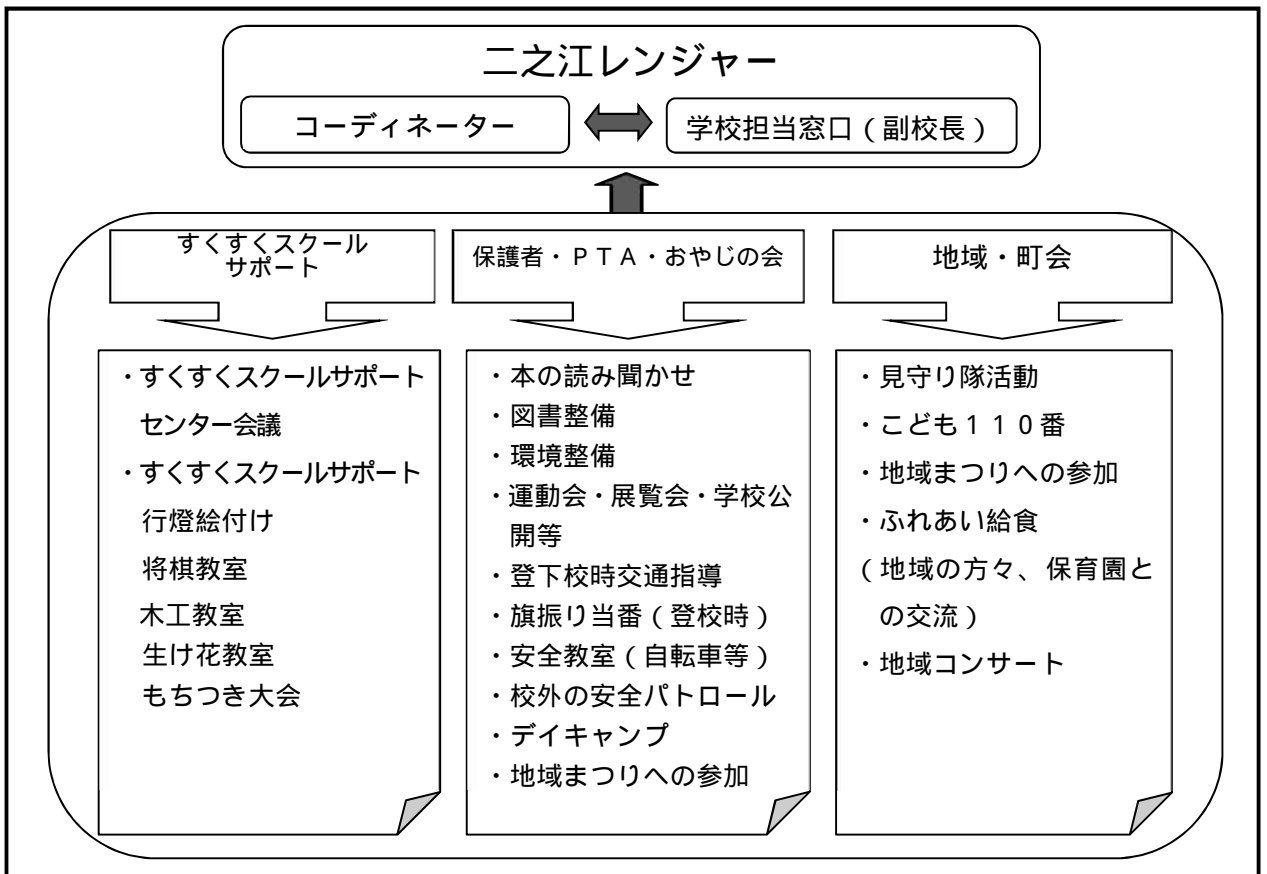
二之江小学校長 大須賀 慎一  
 コーディネーター 須賀 英昭

## 2 ボランティア数（令和3年1月末現在）

|              |          |      |
|--------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 379人 |
|              | 学生ボランティア | 0人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称  | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数(実人数) |
|------------|---------------|--------------|
| 読み聞かせ・お話の木 | 毎月1回          | 14人          |
| 図書整備       | 毎月1回          | 14人          |
| 登下校の安全     | 週5回           | 257人         |
| 環境整備       | 毎月2回          | 1人           |
| 行事支援       | 不定期           | 93人          |



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- 1 読み聞かせボランティアによる月1回の読み聞かせを2学期から開始した。感染予防のため、集まることなく自席での開催であったが、今年度はビッグブックを購入したり、書画カメラで本を映し大きく見せたりするなどの工夫をしたことにより、以前と変わらず児童が本に親しみ、朝の読書活動が充実した。
- 2 地域やPTA校外部の朝や夕方のパトロールや長期休業中のパトロールにより児童の安全が保たれ、防犯の強化が推進された。また、子供たちの様子を学校に知らせてくれることで、子供たちへの安全指導にも役立った。
- 3 華道の先生が、環境整備ボランティアとして、9月から、玄関に季節のお花を生けに来てくださっている。児童は、挨拶はもちろん、話をして交流する姿が見られる。季節の花に興味をもつようになったり、感謝の気持ちを伝えたりする等、児童の心が豊かになっている。



読み聞かせボランティアの皆様



玄関の生け花

### < 課 題 >

- 1 地域やPTAの人材を探す。
- 2 新たな応援団の活動を構築する。

## 5 コーディネーターより

二之江小学校は古川親水公園に隣接し、とても地域に密接した学校です。学校と地域、保護者が一体となって様々な活動を行っています。特に歴代のPTAのOB会やおやじの会が中心となり、すすくすくスクールの行事や伝統ある古川まつりなどの素晴らしい地域行事等に取り組んできました。皆、とても協力的で、児童も大変喜んでいきます。

今年度は、残念ながら全ての行事が中止となってしまいましたが、今後も児童一人一人が楽しめて、参加してよかったと思える催し物をたくさん企画していきたいと思います。そして、児童と大人が古川の自然の中でよりたくさんふれ合うことを期待しています。二之江小学校のコーディネーターとして皆様のご支援・ご協力を切に願う次第です。

## 6 学校長より

本校は、古川親水公園の流れとともに、地域の皆様から深く愛され、支えられている学校です。平成22年度から実施された「学校応援団」の取り組みは、学校を応援して下さる様々な方々のご協力をしっかりと意識できるよい機会となっています。地域やPTAのみならず、「おやじの会」の協力も、学校応援団としてとても大きな力となっています。多くの方々が、児童のために学校応援団として活躍して下さることは、とても喜ばしいことです。

そうした皆様方の心強いご理解とご支援は、本校職員一同が児童や地域のために一層頑張る大きな原動力になっています。本校職員は、二之江神社まつりや古川まつりなどの地域の行事、すすくすくスクールサポートセンター行事、PTA・おやじの会の行事にもすすんで参加することができています。

今年度の活動は、一部のみとなってしまいましたが、今後も、子供たちのために学校と保護者、地域の皆様が相互の信頼で結ばれ、協力し合える二之江小学校を目指してまいります。

# 二之江第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

二之江第二小学校長 笠 間 良 子  
コーディネーター 石 澤 多恵子

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 49人 |
|              | 学生ボランティア | 1人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称  | 活動状況(週、月、不定期)              | ボランティア数<br>(実人数) |
|------------|----------------------------|------------------|
| グリーンボランティア | 月1回程度 不定期                  | 4人               |
| 蓮田愛育会      | 4月蓮植え（今年度に限り教員で）<br>11月蓮堀り | 7人               |
| え・ほんの会     | 読み聞かせ月1～2回 図書整備不定期         | 35人              |
| むかし遊び      | 年1回 3学期                    | 15人              |
| 飼育ボランティア   | 連休 長期休業中                   | 10人              |
| 俳句指導       | 5年生 年1回 3学期                | 2人               |
| 金魚の養殖の紹介   | 4年生 年1回1学期（ビデオ講義）          | 1人               |

## 4 今年度の成果と課題

### <成 果>

本校の学校応援団の活動は、学習支援・環境整備・地域の伝統継承・飼育・読み聞かせなど多岐にわたっている。また、学校応援団の方が活躍されている分野を学習素材とした「金魚の養殖」「俳句指導」の活動も定例化し、本校の教育活動にお力をいただいている。

しかし本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動の多くについては、見合わせや規模の縮小を余儀なくされてきた。とくに「ゆうほ」の皆様による学習支援については、児童と直接的な関わりが多いため、なかなか再開の目途は立っていない。

そのような状況の中でも、「まずできるところから。」という心強いお声をいただいている。「例年並み」という活動の判断基準を見直し、新型コロナウイルス感染拡大の防止の観点に基づきながら、可能な活動を探っている。

## < 課 題 >

保護者以外の応援団の方の高齢化が進み、次世代の人材不足が課題としてあげられる。新型コロナウイルス感染拡大防止に関して、特にご高齢の方の活動については、安心して活動していただけるよう、細やかな健康上の配慮が求められる。学校からの一方的なお願いとならないよう、お一人お一人の意思確認をしっかりと行いながら進めてきた。

貢献いただいている方々が固定化されてきていることも課題である。様々な分野の人材を活用していくことが今後の課題となる。PTAを始め、地域の方々に広く呼び掛けて新たな人材確保に努めていきたい。

また、ホームページ等を活用して、応援団の活動内容をアピールしたり、人員募集を計ったりすることで、さらに活動を活発にしていきたい。

## 5 コーディネーターより

学習支援ボランティア「ゆうほ」は、約10年前から3年生～6年生までの算数の支援をしています。学習内容が分からなくて戸惑っていたり、自信をもてずにいる子供たちにヒントを与えたりして理解できるようサポートをしてきました。今年度は、残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響から、実質的な活動ができていませんが、その都度状況を確認しながら、活動再開の目途について気にかけている状況です。

グリーンボランティアは、環境の良い学校で子供たちを学ばせてあげたいとの願いから活動が始まり、校庭花壇の整備を行っております。

また、「え・ほんの会」では、図書室の整備や子供たちに読み聞かせを行っております。子供たちは、真剣に話を聞いて喜んでくれるので、とても励みになりうれしく思います。

その他、蓮や金魚、俳句など様々な活動を行っており、今後も活動の輪を広げていけたらと思っています。

## 6 学校長より

本校の学校応援団の活動は、平成20年江戸川区のモデル校として始まりました。そのため現在でもとても充実しています。これは、令和元年度より応援団長を引き受けていただいた堀口様をはじめ、石澤コーディネーター様、地域、保護者、PTA及びPTAのOB等多数の方々が一体となり、変わらぬ活動をしてくださっているお蔭と思っております。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、多くの活動の見直しや制限を余儀なくされましたが、そのなかでも、児童の支援を始めとし、学習環境の整備、安全安心の推進のために、様々な活動をしていただいております。応援団の方々の「子供たちの笑顔のために・・・」というお気持ちに、感謝を申し上げるばかりです。

児童には、常日頃より地域を見つめる目、地域に感謝する心、地域に貢献する姿勢を育てる努力をしております。

これからも、学校と共に児童の健全育成に向けて、ご支援・ご協力をお願いいたします。



# 二之江第三小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

二之江第三小学校長 鈴木 厚子  
 コーディネーター 清水 辰夫

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |      |
|--------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 125人 |
|              | 学生ボランティア | 1人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期)   | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|---|------------------|
| 授業・学習補助   | 週1回程度   | 15人              |
| 安全・安心     | 登校時の安全を見守る。(毎朝・3人)<br>通学路で登校の安全を見守る。(毎朝・4人)<br>他の活動はコロナの影響によりできなかった | 110人             |
| 学習活動      | 新川アート設置・撤去<br>(10月・16人)<br>学級経営補助(通年・1人)                            | 16人              |
| 読書活動      | 本の修理、整頓を行う。<br>(月2回・10~15人)<br>今年度はコロナの影響で読み聞かせに取り組みなかった。           | 15人              |
| 教育環境      | 校庭の花壇の整備のお手伝い<br>(適時・8人)  | 8人               |
| すくすくスクール  | さわやかまつり準備等(年1回・8人)<br>他の活動はコロナの影響によりできなかった                          | 8人               |
| P T A     | 行事の準備・片付け<br>(適時・25~30人)<br>安全パトロール・登校安全見守り<br>(適時・40~45人)          |                  |



## < 成 果 >

- ・本年度末での閉校が決まっていたため、このコロナ禍の中、多くのボランティアの皆様が積極的に教育活動を手伝ってくださった。
- ・学校応援団長を中心に、出来る限りのイベントをPTA やすくすくサポートセンターのメンバーと共に行ってくださった。
- ・一斉指導が難しい学級に学習ボランティアに入っていたいただいたおかげで、児童たちが落ち着いて学習に臨めるようになった。
- ・新川風のアート、新川光アートでは運搬、設置、撤去に関して学校応援団の力なくしては出来なかった。おかげで、取り組み自体が注目され、地域の新聞などでも紹介された。
- ・例年行っていた、地域の方々による昔遊びや新川での和船乗船体験がコロナのために活動できなかった。しかし、小松菜畑農家の見学はボランティアさんの配慮により、行うことができた。また、凧作りも感染症対策をしたなかで終わらせることができた。

## < 課 題 >

- ・コロナ禍のため、活動自体がなくなったり、ボランティアを募ったりすることが難しい状況が続いた。ボランティアをしてくださる人を集めて、打ち合わせをしたものの、コロナの影響で活動まで繋げられないものもあった。
- ・活動内容によっては、ボランティアをしていただける方の確保が難しいときがある。また、ボランティアをしてくれる方の中には、高齢のためボランティアの継続が難しいと訴えてくる人もいる。
- ・ボランティア活動の内容をホームページやお便りなどで伝えたり、保護者だけでなく地域の方々にも声をかけたりして協力体制を広げていく予定だったが、コロナの影響で思うように進められなかった。

## 5 コーディネーターより

・本校の学校応援団は子供たちの教育の充実のため、今年度も、現役のPTA 保護者の皆様やPTA のOB の皆様、町会、自治会の皆様などと連携を進めてきました。支援の一環として、教育環境の整備や授業支援に地域や保護者の方に入っていました。

・コロナ禍のため、多くの保護者、地域の皆様に活動に参加していただくことができず、残念に思うこともありました。本校は今年度末で閉校しますが、統合後も地域や保護者の方々にさらに働きかけて、さまざまな専門分野の方に協力していただき、児童と地域の方々のつながりをさらに深められるようにしていきます。

## 6 学校長より

保護者や地域の皆様をはじめとした、ボランティア活動が充実してきたところでの臨時休業。思うようにボランティアの皆様のお力を生かすことができなかったように思います。しかし、大学生のボランティアに学習支援に入っていたいたり、PTA のOB、OG の皆様に新川アートを手伝っていただいたりしたおかげで、子供たちが落ち着いたり、地域のイベントとして作品展を開けたりしました。

臨時休業明けには、町会の皆さんも児童の登下校の見守りや、PTA 主催のお祭りを盛り上げてくださいました。統合後も二校のボランティアがスムーズに活動を進められるよう、活動自体を充実させていきます。

# 第二葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第二葛西小学校長 平川 惣一  
 コーディネーター 五十嵐 英男

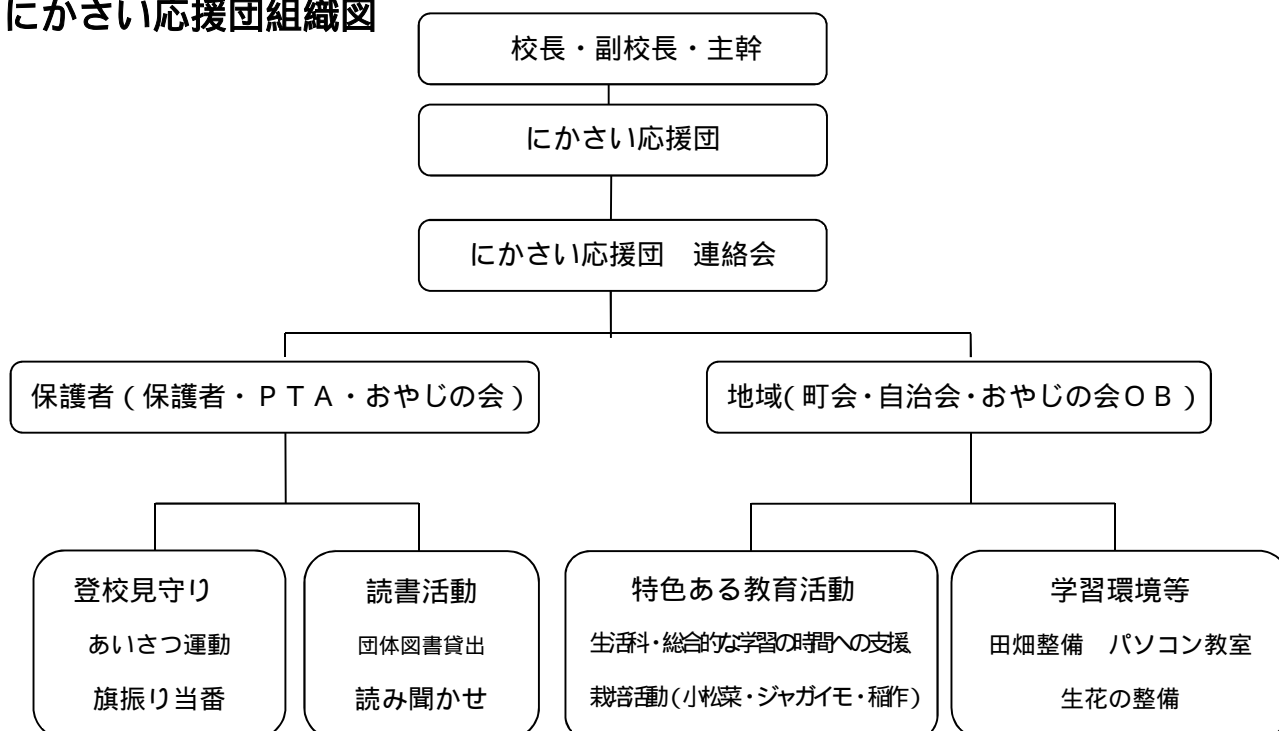
## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |      |
|--------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 794人 |
|              | 学生ボランティア | 0人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称           | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|---------------------|---------------|------------------|
| 図書室整備               | 毎週金曜日         | 95人              |
| 団体図書貸出              | 月1回(年10回)     | 108人             |
| 登校見守り               | 週5日           | 774人             |
| 授業の補助<br>(米作り等栽培支援) | 不定期           | 1人               |
| 集団回収                | 月1回           | 520人             |

## にかさい応援団組織図



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

今年度は、登校時の見守り（旗振り当番）、東葛西図書館の団体貸出し、集団回収等のPTA活動の支援など、日常的な取組の他、生活科や総合的な学習の時間の授業で使用する花壇の整備、校内の環境整備（図書室整備、花の植え替え、共有スペースの模様替え等）をしていただきました。

これらの活動は、児童の学習を深め、よりよい学習環境づくりにつながるとともに、専門的な内容についても地域の方々から教えていただき、児童だけでなく教職員も多くの場面で支援していただきました。

### < 課 題 >

毎年、多くの方々に応援していただいている「にかさい応援団」ですが、保護者の方々から「働きながら活動することは難しい」という声もあります。今後も、ホームページ等で発信に努め、活動内容の周知を十分に行うことで応援の輪を大きくしていきたいと思えます。また、ボランティアの方々にも充実感をもって活動していただくため、ボランティアの方々からの声を更に聞き、新たな企画・立案に力を注いでいきたいと考えております。

## 5 コーディネーターより

「にかさい応援団」の活動は、地域の方々とPTA、おやじの会が協力して活動をしています。今年度は読み聞かせなど十分な活動ができなかった面もありますが、校内の整備を中心に充実した活動ができました。ボランティアの方々一人一人が「子供たちのため」という気持ちを持って活動して下さり大変感謝しております。子供たちのためにできる活動を続け、これからも「にかさい応援団」の活動を支援していきます。

## 6 学校長より

保護者、地域の皆様と一緒に、子供たちのためにできることを考え、活動していただいています。今年度も登校時の見守り（旗振り当番）、図書館整備、生活科や家庭科での学習支援、畑の整備など、様々な活動の中で子供たちを育てていただきました。子供たちが安心して学習できるもの、「にかさい応援団」の皆様のご尽力に負うところです。

また、今年度は新型コロナウイルス感染症のため、子供たちの活動に制限がありました。しかし、にかさい応援団「おやじの会」の皆さんを中心に、ソーシャルディスタンスに配慮した活動「親子はてな？探検隊ツアー」を企画していただき、親子で校外をオリエンテーリングで回る取組を行いました。約100組のご家族が参加しましたが、葛西の地域を再確認できたと大満足されておりました。

「にかさい応援団」の活動は、本校の教育活動に欠かせない重要な活動となっております。今後も学校と応援団の方々とで協力し合い、一層充実した活動ができるようにしてまいります。

# 第三葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第三葛西小学校長 佐々木 恵子

コーディネーター 由良 江美子

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|                |          |      |
|----------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア登録数 | 一般ボランティア | 482人 |
|                | 学生ボランティア | 0人   |

## 3 今年度の活動状況

（新型コロナウイルス感染拡大予防対策として、登校の見守り、戦争体験講話を除いた活動は未実施）

| 応援団の種類・名称  | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|------------|---------------|------------------|
| 登校の見守り     | 週5日           | 482人             |
| 戦争体験講話     | 年1回(11月)      | 3人               |
| 夏休み前親子安見守隊 | 年1回(7月)       | 33人              |
| 夏休みパトロール   | 年14回(夏季休業中)   | 438人             |
| 校外学習安全見守り  | 年2回           | 29人              |
| 読み聞かせ・図書整備 | 月2回           | 25人              |

### 学校応援団組織図



応援団（町会長、地域の高齢者の方々、学校評議委員、学校現PTA、学校OBなど）

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

保護者による毎朝の旗振り当番の協力により、あいさつと安全の見守りを行っていただいている。登校時の事故が無く安全に登校できている。

戦争体験講話では、昔の学校の様子や周辺地域の移り変わりについても学習を深めることができた。これまで全校で実施してきたが、学年を限定したことによって講話の内容と各学年の学習内容との結びつきをより図ることができた。

### < 課 題 >

登校時、スクールゾーンを自転車が猛スピードで通ることがあり、注意を呼び掛けている。今後も警察等と連携して対応していきたい。ボランティアの方々が固定されつつある傾向がみらるので、ボランティアの活動内容を工夫し、より多くの人に関わっていただけるようにしていきたい。



## 5 コーディネーターより

より多くの保護者や地域の方々に積極的に参加・協力していただけるような活動や体制づくりを今後も続けていきたい。子どもたちの心身の成長を豊かにする取り組みを学校、保護者、地域が一体となって実践していく。

## 6 学校長より

本年度は、制約の多い中、子どもたちのためにPTA・地域の方々に学校応援団としてご支援をいただいた。できる時にできることを実践していただいたことで、子どもたちの安心、安全と学習の充実につながっている。

来年度は、団長、コーディネーターの方を中心に多くのボランティアの皆さんと子どもたちのために協力して教育活動をすすめていきたい。

# 第四葛西小学校 学校応援団 実践報告書



- 1 校長及びコーディネーター氏名  
 第四葛西小学校長 永浜 幹朗  
 コーディネーター 堤 尚之

2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

（マスコット だいよんくん）

|              |          |      |
|--------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 628人 |
|              | 学生ボランティア | 0人   |

3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|---------------|------------------|
| さざなみ会     | 年4回           | 13人              |
| 登校見守り     | 週5回           | 579人             |
| 図書整備      | 月2回他不定期       | 9人               |
| 図書お話会     | 年5回           | 2人               |
| 行事支援      | 不定期           | 7人               |
| 花壇・環境整備   | 不定期           | 5人               |



通年

今年度は分散登下校もありました。  
 毎朝の登校の見守りを行っていただ  
 いています。

二学期

行事支援 学校公開時の受付  
 学校・校庭に入る前の消毒、検温  
 等対応を行っていただきました。





三学期（予定）  
花壇・環境整備  
学校園の整備と植栽を行っ  
ていただく予定です。

## 4 今年度の成果と課題

### (1) 成 果

これまでも子供たちは、多くの体験を通して、地域に生き、見守られている実感を持ち、感謝の気持ちをもつことができています。新型コロナウイルス感染症予防のため、例年おこなっていた活動をすべて行うことはできませんでしたが、保護者やPTA、地域の方々の多くのご協力をいただくことで、改めて、地域に見守られている実感を子供たちは持つことができ、感謝の気持ちが更に育ってきています。

さざなみ会さんには、コロナ禍であっても、田植え、稲刈りなど実施していただいています。

### (2) 課 題

新型コロナウイルス感染症予防のため、やむを得ず実施できなかったものがあったので、今後、ソーシャルディスタンスを考慮して実施できるように考えていきます。

今後の状況を考慮しながら、学校応援団と学校がさらに協力し、計画的に取り組みを充実させていきます。

## 5 コーディネーターより

○例年は、地域の方、学校、PTAの多くの方々と協力し合いながら、子供たちや参加者の皆様と触れ合うことができていました。今年度は、限られた状況のなかでの活動でしたが、来年度も充実した活動ができるようにしていきます。さざなみ会さんには大変お世話になっております。来年度も充実した活動ができるよう、よろしく願いいたします。

## 6 校長より

○多くの方々のご協力の上、制限のあるなかでの活動に取り組んでいただき、感謝しています。本校の伝統を大切に受け継ぎながら、学校応援団の活動を通して、さらに「笑・楽・好（しょう・がっ・こう）」のキャッチフレーズのもと、楽しく学校に通い、子どもたちの笑顔があふれる学校になるよう尽力していきます。



# 第五葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第五葛西小学校長 石渡 靖  
コーディネーター 田中 成治

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |      |
|--------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 107人 |
|              | 学生ボランティア | 0人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|---------------|------------------|
| 見守り隊      | 週5日           | 43人              |
| 読み語り      | 月1回           | 35人              |
| 図書環境整備    | 月1回           | 29人              |



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- 集団登校や集団下校が難しい中で、「見守り隊」の活動によって安全な登下校ができた。
- 「見守り隊」の方々への下校時刻の連絡体制ができた。
- 読み語りの活動で児童の読書活動への興味関心が高まった。
- 図書環境が整備されることで図書館の利用が便利になった。

### < 課 題 >

- 令和3年度から学区域が広がることに対応する。
- 読み語り、図書館整備のボランティアの人員を確保し、活動を継続する。
- 今年度の活動の積み重ねを生かし、さらに充実した活動として継続させる。

## 5 コーディネーターより

「地域・学校・PTAを中心に、絆をもち温かい気持ちで学校を応援する」ことを信条に、学校応援団の代表として、日々努力しております。

今後も、学校のために、学校に協力する団体を繋ぐ架け橋となり、第五葛西小学校の子供たちの安全と安心を支えることを目指していきます。また、子供たちの笑顔あふれる第五葛西小学校を目指して、学校応援団組織の更なる充実を心掛けて取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

## 6 学校長より

子供たちの安全・安心と豊かな学びのため、学校応援団の皆様の日頃の多大なるご協力とご支援に深く感謝申し上げます。学校教育に地域の方々や保護者の方々の協力は欠かせないものであると実感しております。

「見守り隊」の皆様には、雨の日も風の日も通学路の安全を欠かさず見守っていただきました。子供たちも、「見守り隊」の皆様には感謝の気持ちをもってあいさつをする様子が見られました。令和3年4月からは学区域が一部変更されます。新たな学区域からも多数の皆様には「見守り隊」にご登録していただけることお待ちしております。

また、読み語り、図書環境整備のボランティアの方々の活動は、子供たちが読書に親しみ、読書活動への興味・関心を高める上でとても意義深いことと考えます。

来年度も多くのボランティアの皆様と子供たちの安全・安心や豊かな学びのため、活動の充実を図ってまいりたいと思っております。今後ともご協力よろしくお願い申し上げます。

# 第六葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第六葛西小学校長 山本 浩一  
コーディネーター 関口 光治

## 2 ボランティア数（令和3年1月末現在）

|              |          |      |
|--------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 162人 |
|              | 学生ボランティア | 1人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称  | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|------------|---------------|------------------|
| 図書整備・ブックママ | 週1回(毎週木曜日)    | 78人              |
| 読み聞かせ      | 週1回(毎週金曜日)    | 40人              |
| 登下校安全指導    | 週5日           | (600人)<br>保護者全員  |
| 授業の補助      | 11月           | 1人               |
| 環境整備(校内外)  | 不定期           | 4人               |
| 行事支援・六雄会   | 各行事           | 40人              |



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- 1 今年度はコロナ禍のため、応援団の皆様による活動は、中止や縮小となるものが多かったが、新型コロナウイルス対策を行った上で、工夫して活動していただいたものもあった。
- 2 読み聞かせ活動は、大型テレビに絵本を映し、マスクやフェイスシールド、アクリル板等を活用しながら実施していただいた。また、読む役と絵本提示の役を2人で務めたり、タブレットを活用したりする工夫もしていただき、子供たちは絵本の世界を大いに楽しむことができた。
- 3 図書室の環境整備を展開していただくことで、子供たちが「本が好きになった」、「本で学びたい」という意識の向上があり、読書への関心が一層高まった。
- 4 安全に関しては、日常的な登下校の見守りに加え、11月には「安全・安心パトロール」を実施。保護者も参加・応援していただけるため、交通安全に対する理解・意識を高めることができた。

### < 課 題 >

- 1 子供たちが毎年楽しみにしている「ろくっこクラブ」の活動は、すべて中止になった。コロナ禍において、子供と大人が入り混じる活動や飲食を伴う活動は実施できなかった。
- 2 保護者の関わりが多い応援団は、子供たちが卒業をすることで、人的な確保をどのように進めるかが常に課題である。

## 5 コーディネーターより

家庭や学校だけでは体験できないことが応援団の皆様のご努力・ご尽力により体験できることは嬉しい限りです。同時に子供の時の快感体験は成長しても忘れることのない思い出になり、次の世代に引き継いでいこうとする力になると考えます。

今年度はコロナ禍の中、できる活動を工夫して実施しました。これからも学校の活性化とともに地域の活性化にもつながる「応援団の活動」をいっそう広げていくために、代表としてさらに活動を推進したいと考えています。

## 6 学校長より

保護者・地域の方による「応援団活動」は、子供たちが「保護者や地域」の暖かい気持ちを感じるいい機会を生み出しています。「うちの地域の子供たち」の意識は、地域安全にもつながります。

今年度は、コロナ禍のため、学校は臨時休業からスタートし、分散登校を経て、6月22日に通常登校が始まりました。その後も制限の多い中での教育活動となりましたが、少しずつできることが増え、子供たちの笑顔も増えていきました。

応援団の皆様には、2学期より、できることから始めていただきました。実施できなかったこともたくさんございましたが、「このような活動はどうだろう」「こうすればできそうだな」と子供たちの笑顔のために様々なご提案をいただきました。感謝いたします。

引き続き社会の情勢を見極めながら、「学校応援団」の皆様と手を携えて「子供たち一人一人の笑顔が輝く第六葛西小学校」を作ってまいります。

# 第七葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

第七葛西小学校長      鈴木 章夫  
コーディネーター      小田原 備一

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 80人 |
|              | 学生ボランティア | 2人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称     | 活動状況(週、月、不定期)   | ボランティア数<br>(実人数) |
|---------------|-----------------|------------------|
| 読み聞かせ、パネルシアター | 年間3回(読書月間) 年間2回 | 18               |
| 図書環境整備        | 週1回(火曜日)        | 13               |
| 図書見守り         | 不定期             | 9                |
| 学習活動支援        | 不定期(火起こし・凧作り等)  | 20               |
| 七小田んぼ愛育会      | 不定期(米作り・脱穀等)    | 15               |



5年 脱穀体験学習(七小田んぼ愛育会)



パネルシアター(図書ボランティア)

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・コロナ禍の状況により、本年度は規模を縮小しながらの活動ではあったが、保護者や地域の方々に構成されている「七小田んぼ愛育会」の支援により、5年生の総合的な学習の時間に取り組んでいる稲作活動を充実させることができた。15名の会員で、主に5年生の学習支援を行っている。日常生活では体験できない米作りを、春から秋にかけて体験することができたことは、児童にとって大変有意義であった。特に今年度は、春から夏にかけての臨時休業期間中に、愛育会の方々が田起こしや田植えを行ってくださり、学校再開後の児童の学習が滞ることなく進めることができた。
- ・図書ボランティアの方々には「読み聞かせ」・「環境整備」・「見守り」という三本柱の活動を大きな一つの組織の中に位置づけ、読書科の推進のために互いに連携して、充実した活動をしていただいた。パネルシアターの活動について例年は全校児童対象に行っているが、本年度は、6年生のみに限定して行った。本校の特色ある活動として定着しているパネルシアターの活動であるので、コロナ禍の状況が落ち着いたら全校児童に向けての開催をしたい。

### < 課 題 >

- ・学校や地域の歴史等に精通している方が年々高齢となり、ご協力いただくことが難しくなっている。地域人材の発掘や活用計画を進めること。
- ・PTAのOB・OG，卒業生等幅広い年齢層を確保していくこと。
- ・HPでの発信を行うこと。

## 5 コーディネーターより

日頃よりPTA・教職員・学校応援団ボランティア・おやじの会・地域の皆様方のご支援により、充実した教育活動が実践されている第七葛西小学校です。

今年度はコロナ禍の状況もあり、様々な活動が中止、縮小されました。その中においても、米作りや図書活動において学校応援団の活動を進められたことをうれしく思います。

今後も学校応援団ボランティア・地域の皆様と連携して、子供たちの教育活動の一助になればと思っております。子どもが立派に成長していく姿を楽しみに、学校づくりに携わっていきたいと思います。



## 6 学校長より

本校の校長になって8年間、学びがい、通わせがい、支えがいのある学校にするために、何よりも心強い味方が学校応援団の皆様方です。校章が示すように、一人一人の児童が目標に向かって真っすぐに羽ばたいていけるよう、今後も心強いご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

今後も、学校教育のさらなる充実のために、『協力・共働・共育』のもと連携を深めて参りたいと思います。

# 南葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南葛西小学校長 鶴田 麗子  
コーディネーター 伊藤 雄丈

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |      |
|--------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 123人 |
|              | 学生ボランティア | 1人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称   | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-------------|---------------|------------------|
| 図書ボランティア    | 週2～3回         | 12人              |
| 読み聞かせボランティア | 月1回           | 30人              |
| 安全見守りボランティア | 毎日            | 20人              |
| 学習支援ボランティア  | 不定期           | 31人              |
| 生け花ボランティア   | 月1～2回         | 1人               |
| 行事支援        | 不定期           | 30人              |



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、活動に制限が多くありました。その中で、10月からは「図書ボランティア」の方々の活動を再開し、学校図書館の整備を行っていただきました。また、11月から月に1～2度、「おはなし届け隊」の皆様に読み聞かせを実施していただきました。久しぶりの読み聞かせに、児童も喜んでいました。

今年度も登下校の見守りの方々ののおかげで、児童は大きな事故に遭うことなく、安全に登下校することができました。また、家庭科のミシンを使う学習でも見守りをして子どもたちの作品作りを支援していただきました。

富士公園の花を植えるボランティアに子どもたちが参加しました。自分たちが地域の一員であることを自覚したり、もっと住みやすい地域にするためには何ができるかを考えたりするよい機会になりました。

「生け花ボランティア」の方には、月に1～2度、職員室前の廊下に季節のお花を活けていただきました。自然の移ろいや花の華麗さ、儚さに触れることができました。

### < 課 題 >

読み聞かせは、学年や学級によって協力いただいている人数に差がありました。そのため、2学期は月に一度、奇数学年と偶数学年に分けて実施する形となりました。保護者会やお便りなどを通して、参加の協力を呼び掛けていきたいと考えています。

さらなる学校応援団活動の充実を目指し、どんな支援をしていただきたいのか学校から積極的に発信することも必要であると考えています。そのために学校と保護者・地域の方々の連携を図ることが重要です。

## 5 コーディネーターより

コロナ禍の中でしたが、そのような中でも多くの方に南葛西小学校学校応援団を支援していただきましてありがとうございました。

これまでも「おはなし届け隊」「図書ボランティア」「安全見守りボランティア」「学習支援ボランティア」の活動を軸として、すすすくスクール、地域と連携してまいりました。今年度、サマーキャンプや南小おたのしみ会、地域と取り組む「南葛西町会盆踊り」は実施することができませんでした。来年度は実施ができるような状況になっていることを願います。

これからも、学校応援団と学校が一致協力し、町会や自治会をはじめとして、地域とのかかわりを密にして取り組んでまいります。

## 6 学校長より

日頃より本校の学習活動、教育環境、健全育成において、保護者、PTA、町会、地域の皆様から多くのご支援をいただくことができ、心より感謝申し上げます。

今年度は新型コロナウイルスの影響のため、南葛西町会や葛西さざなみ会の方々との教育活動が実施できなかったことは大変残念です。そのような中でも、保護者、PTAの皆様の安全見守り活動や、図書ボランティア、おはなし届け隊、生け花ボランティアの方々の活動により子どもたちが安心して登校し、生活することができました。感謝申し上げます。

今後も、学校応援団の皆様のお力添えをいただきながら、「何でも挑戦、笑顔いっぱい南小」の子ども育成に努めて、教育活動をさらに充実したものにしていきたいと考えております。



# 南葛西第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南葛西第二小学校長 安田 真理  
コーディネーター 斉藤 順一

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |      |
|--------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 226人 |
|              | 学生ボランティア | 1人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称      | 活動状況(週、月、不定期)           | ボランティア数<br>(実人数) |
|----------------|-------------------------|------------------|
| 読み聞かせ          | 週1回(毎週金曜日) 三学期より実施予定    | 90人              |
| 図書室整備          | 月1回 三学期より実施予定           | 13人              |
| P T A土曜チャレンジ講座 | 今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止 | 50人              |
| 田植え、海苔すき体験     | 今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止 | 12人              |
| 登下校の見守り        | 週5回                     | 36人              |
| 行事支援           | 不定期                     | 30人              |
| 学習指導補助         | 週1回                     | 1人               |



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

今年度も学校応援団の皆様による登下校見守りのおかげで、子供たちは大きな事故にあうことなく安全に登下校することができました。

毎年、普段ではなかなか体験できない貴重な機会を、地域の「さざなみ会」の皆様を提供していただいています。3年生は海苔すき体験、5年生は「みんなの田んぼ」で行っている田植え、稲刈り、収穫祭を体験させていただいております。今年度は、新型コロナウイルス感染症に伴い、多くの行事の中止を余儀なくされましたが、収穫祭など実施することのできた行事に参加した児童たちは素晴らしい経験を積むことができました。

### < 課 題 >

読書科の推進を図っていく上で、毎週金曜日実施の読み聞かせ活動が実施できなかったことは、とても残念でした。今後は、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、実施に向けて進めていきたいと思えます。

土曜チャレンジ講座も、新型コロナウイルス感染症対策として実施を見合わせました。子供たちが楽しみにしている活動でもあり、次年度は、是非実施することができるよう、実施方法の検討を行っていきます。

## 5 コーディネーターより

今年度の活動は例年とは異なり、新型コロナウイルス感染症の影響で様々な活動を中止や縮小せざるを得なくなりました。しかし、できることを検討し、できる活動に対して多くの方々のご理解・ご協力をいただき、活動に取り組むことができました。

児童を見守り、懇切丁寧に指導をしてくださる地域の方々、活動をコーディネートしてくださるPTA・学校関係者の皆様には心より感謝申し上げます。児童が喜び、笑顔になること、子供たちの成長に関わることが何よりの喜びです。今後も学校応援団と学校が一体となって子供たちをよりよく育てていきたいと思えます。引き続きご理解・ご協力の程、よろしくお願い致します。

## 6 学校長より

新型コロナウイルス感染症対応で、学校全体での活動や多くの保護者の方、地域の方にかかわっていただく活動が全くできませんでした。しかし、そのような中であっても、なんとか、「子供たちの笑顔のために」と、さざなみ会の方が収穫祭に声をかけてくださったたり、おやじの会の皆さんが土曜日ドッジボール大会を開催して下さったり、また町会の皆様がたくさんマスクを寄付して下さったりと、子供たちや教職員を励まして下さったことを心より感謝いたします。まだまだ先の見えない状況ではありますが、コロナに負けず、できることをしっかり積み重ねていきたいと思えます。今後ともご理解・ご協力、よろしくお願いいいたします。

# 南葛西第三小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南葛西第三小学校長 浅野 努  
コーディネーター 森 友希

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |      |
|--------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 463人 |
|              | 学生ボランティア | 0人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称           | 活動状況(週、月、不定期)                   | ボランティア数<br>(実人数) |
|---------------------|---------------------------------|------------------|
| 学校図書館整備             | 図書館の本の修理、書架の整備等<br>(毎月1回程度)     | 4                |
| 登下校見守り、旗振り          | 通学路での登下校の安全見守り。横断<br>歩道で旗振りを行う。 | 397              |
| 自転車教室補助             | 自転車の安全な乗り方の指導支援                 | 9                |
| 行事支援                | 授業公開時等の受付、会場設営                  | 36               |
| 生活科・総合的な学習の<br>時間支援 | 校外学習時の往復時の安全確保等                 | 17               |



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・今年度はコロナ対応のため、図書ボランティアによる読み聞かせを行うことができなかった。しかしながら、月1回のペースで図書ボランティアによる本の整理を行ったり、各学期末に図書館集中整備を行ったりすることができた。
- ・学校図書館スーパーバイザーを招いて、学校図書館の効果的な運用方法を学ぶことができた。
- ・本校の地域の特色を生かした、葛西臨海公園をフィールドワークする「葛西臨海探検隊」にボランティアとして往復時の児童の安全確保に協力してくださった。
- ・6年生の校内陸上記録会では、ライン引きや器具の設置、保護者受付など学校と協力して開催することができた。
- ・コロナにより、教育活動が公開できないことが多かったためか、行事支援等に協力くださる方が多かった。

### < 課 題 >

- ・コロナ対応により、海苔すき体験等実施できなかったことが多かった。連絡を十分にやり取りできなかったことが挙げられる。次年度に向けて、今年度中に連携を図る。
- ・活動内容によっては、ボランティアをしていただける方の確保が難しいときがある。
- ・人とのつながりが、単発で終わってしまわないよう人材の確保については、人材バンクや地域の専門学校等を通して、安定化を図る。

## 5 コーディネーターより

今年度は、史上稀にみる疾病災害に見舞われ、十分な学校教育活動ができなかったと思います。学校職員は、さぞ大変だったことでしょう。そのような中でも、PTAと連携して実施できることを検討し、子供たちの教育の充実のため、縮小したとはいえ、活動できたことを嬉しく思います。

ふるさと江戸川・葛西への愛着を深める一環として行った「葛西臨海探検隊」の活動では、水辺の生物の調査を支援してくださりました。

また、急遽取りやめとなった6年生の「体育大会」に代わるものとして行った「校内陸上記録会」では、PTA本部役員や運営委員を中心に多くのボランティアが準備や片付けを手伝っていただきました。

今後も、地域や保護者の方々にさらに働きかけて、さまざまな専門分野の方に協力していただき、児童と地域の方々のつながりがたくさんできるようにしていきたいと思います。

## 6 学校長より

コロナ禍で、今年度は保護者やPTA、地域の方々によって毎年行われているイベントを実施することが難しかった。しかしながら、秋以降は学校公開や校外学習等、保護者・PTAの協力を得る機会も増えた。withコロナ時代を見据え、今後はイベント以外でも、子供たちの安全・安心を守る面でもり一層のサポートをお願いしたい。

# 西葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

西葛西小学校長            鈴木 陽一  
コーディネーター        北見 達朗

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 13人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|---------------|------------------|
| 図書館整理     | 10月～週1回       | 10               |
| ビオトープ     | 週1回           | 4                |

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

ピオトープの管理は、休校期間中も絶えず活動していた。少人数であること、屋外であることから、新型コロナウイルスの感染リスクが低いと判断でき活動を継続することができた。そのため、学校が再開された際にすぐに動植物の観察に生かすことができ、授業が中断することなくできたことはありがたい。

図書館整理は、10月以降の活動再開となった。今年度は司書の方が来ているため、より専門的な視点で整理についてアドバイスをいただき、回数は少ないながらも、有意義な活動が行えた。

### < 課 題 >

コロナ禍により上記2つ以上の主だった活動はできなかった。学校での学習や生活がありながら、応援団が活動しなくても成り立ったものも少なからずあったので、今後の活動を見直すものがある。

## 5 コーディネーターより

今年度は、子供たちと多様な充実した活動を行うことができず、大変残念に思います。

ニューノーマルが学校にも浸透し、その様子を見て、子供たちや学校のニーズに合わせて新しいことにもチャレンジしていく必要を感じた1年でした。

コーディネーターとして、いろいろな立場の方の力をつないでいくとともに、学校の活動が幅を広げ、子供たちの学びが充実するよう、今後も手助けをしていきたいと思っております。ご協力よろしくお願ひします。

## 6 学校長より

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休業のなかで行われた4月の始業式では、子供たちに「コロナ禍という厳しい状況の中でこそ新しいことに挑戦しよう。苦手なことや初めてのことなど、たくさんのごことに挑戦し、そこから学んで成長し、成功に近づくように諦めずに努力を続けよう」と話をし、学校は「挑戦できる場」として教育活動を行って参りました。学校応援団の皆様のご協力でご子供たちは多くの制約を受けながらも、個々のできることにたくさん「挑戦する」ことができました。ご協力、本当にありがとうございました。本年度開校40周年を迎え、落ち着いた環境、安心・安全な活動、そして教師と子供の対話を継続・発展させてまいります。学校応援団の皆様のご尽力にあらためて感謝するとともに、西葛西小学校の40年の歴史がさらに輝くよう、引き続きご協力をよろしくお願ひします。

# 新田小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

新田小学校長 大石 吉郎  
コーディネーター 座間 久美子

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|                |          |      |
|----------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア登録数 | 一般ボランティア | 約60人 |
|                | 学生ボランティア | 0人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|---------------|------------------|
| 安全見守り支援   | 各学期の始め        | 20人              |
| 学習支援      | 不定期           | 10人              |
| 環境整備支援    | 不定期           | 10人              |
| 学校地域行事支援  | 今年度は実施できず     | 20人              |



環境整備で畑を整備していただき、学校の学習環境の支援やすくすくすくスクールの活動支援を行っています。

## 4 今年度の成果と今後の課題

### < 成果 >

環境整備の中の学校農園部門では、学級園の整備やすすくスクールとの連携を図り、「お野菜クラブ」として活動を行っている。主に収穫等で、すすくスクールの児童が参加している。今年度はかなり活動を制限したり、縮小したりしたが、自然とふれあい、収穫する喜びを実感することができた。

- 今年度は、校歌に手話を付けていただいた。学校ボランティアの方にご協力いただき、手話の指導や動画作成をした。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、歌唱することが制限される中、手話で校歌に親しむことができたことは良かった。

### < 課題 >

今年度、学校応援団のボランティア活動のうち、校庭キャンプや地域清掃、地域の行事参加、読み聞かせ等ができなかった。1年間空いてしまうことで、実践を伴う引継ぎができなかった。そのため、書面の引継ぎをしっかりとっていく。

活動内容について、今年度は特に活動自体が少なく、保護者や地域の方に周知できていないことも課題である。ホームページや学校だよりなどを活用して、広報活動にも力をいれて、メンバーを増やしていく。

## 5 代表より

新田小学校学校応援団は、今まで子供たちのために行ってきたいろいろな活動をより計画的に組織的に行うものです。今年度は実施できない活動が多く残念でしたが、昨年度までは、すすくサポートセンターや保護者・地域の皆様、PTA、お父さん会、新田町会、公社新田住宅自治会の皆様のご協力で、充実した活動が継続的に行われていました。コロナ禍ではありますが、「私は、子供たちのために、こんな協力ができます。こんなお手伝いができます」という方は活動ができるようになったら、進んで参加していただきたいと思っています。これからも、「たくさんの皆様で見守り、たくさんの手で助け合い、よりよい学校づくりをお手伝いしていきますよ。」と呼びかけていきます。

## 6 学校長より

本校は、今までも応援団の方々には授業でのゲストティチャや読み聞かせボランティアなど保護者・地域の皆様から様々な教育活動に支援をしていただいています。今年度は、残念ながら実施できなかった活動が多くありました。子供たちのために、保護者・地域の皆様、PTA、お父さん会、新田町会、新田住宅自治会の皆様の熱心な協力と支援があってこそその新田小学校応援団です。これからもよろしく願いいたします。



# 宇喜田小学校 学校応援団 実践報告

## 1 校長及びコーディネーター氏名

宇喜田小学校長 池田 朋光  
コーディネーター 大内 喜代二

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|                |          |     |
|----------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア登録数 | 一般ボランティア | 35人 |
|                | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称  | 活動状況(週、月、不定期)                         | ボランティア数<br>(実人数) |
|------------|---------------------------------------|------------------|
| 学校図書館環境整備  | 週1回(毎週金曜日)                            | 20人              |
| 読み聞かせ      | 週1回・不定期<br>(今年は新型コロナウイルス感染症予防対応で募集せず) | 0人               |
| 登下校の安全見守り  | 週5回                                   | 7人               |
| 教育支援       | 週1～2回・不定期                             | 1人               |
| 花壇・三段池環境整備 | 不定期                                   | 7人               |
| 行事支援       | 不定期<br>(今年は新型コロナウイルス感染症予防対応で募集せず)     | 0人               |

学習支援



学校図書室整備



花壇整備



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・下校の安全見守りの応援団の方々に、登下校時の安全をやさしく見守っていただいている。登下校の子供たちの様子なども時々情報をいただき、指導に生かすことができた。あいさつや声かけなど交流を進めながら、地域を愛する児童を今後も育成していきたい。
- ・学校図書館整備の応援団の方々には、葛西図書館での選書、学校図書館環境整備など充実した活動をしていただいた。本を手に取りやすい環境になり、子供たちは、図書室の利用を楽しみにしている。読み聞かせは、本年度は、お願いしなかった。
- ・環境整備の応援団の方々には、新型コロナウイルス感染症予防のため例年行っているジャガイモ掘りやサツマイモ・小松菜栽培についての支援をお願いしなかった。学校が休みの日に草取りなどをおこなっていただき、栽培活動を行う上で助かった。
- ・教育支援の応援団として今年度は、地域の方 1 名に児童の算数の学習支援をしていただき、児童の学習の手助けとなった。

### < 課 題 >

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症予防のためお願いしたくても、お願いできないものが多かった。
- ・花壇整備やその他の教育活動に協力してくださる方をさらに増やしたい。

## 5 コーディネーターより

今年度も無理のない範囲で活動していただいたことに感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症予防のため協力のお願いができなかったことは残念でした。状況が変わりましたら、子供たちのために少しでも協力して行きたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。

## 6 学校長より

お忙しい中、また、新型コロナウイルス感染症が心配される中、宇喜田小学校の子供たちのためにご支援いただきありがとうございます。学校図書館はいつもきれいに整理していただき、児童が本を手に取りやすい環境を整えていただいています。見守り応援団の方には、登下校時などの見守りに心より感謝しております。新型コロナウイルス感染症が落ち着きましたら、無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。

# 清新第一小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

清新第一小学校長      石橋 悟  
 コーディネーター      浦田 佳代子

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 75人 |
|              | 学生ボランティア | 1人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称       | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------------|---------------|------------------|
| 読み聞かせ           | 実施見合わせ        | 2                |
| 登校時見守り          | 不定期           | 2                |
| ラクロス            | 実施見合わせ        | 1                |
| どうぶつしょうぎ        | 実施見合わせ        | 2                |
| 土曜日の工作教室        | 実施見合わせ        | 2                |
| 影絵（PTAと協力）      | 実施見合わせ        | 16               |
| 盆踊りレッスン         | 実施見合わせ        | 10               |
| 夏休み工作教室（PTAと協力） | 実施見合わせ        | 12               |
| わくわく広場（PTAと協力）  | 実施見合わせ        | 20               |
| フラダンス           | 実施見合わせ        | 3                |
| PC教室            | 実施見合わせ        | 2                |
| 親子の絵手紙教室        | 実施見合わせ        | 1                |
| 日本舞踊教室          | 実施見合わせ        | 1                |
| 夏休みラジオ教室        | 実施見合わせ        | 1                |
| 学生ボランティア学習補助    | 月3回           | 1                |



例年の活動風景  
 （令和2年度は実施見合わせ  
 となりました）

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

活発なPTAボランティア活動が卒業後のOB・OGにつながっていくスムーズなボランティアシステムです。例年、コーディネーターを中心にして学校応援団の輪が広がり、現在は70名以上が登録をし、子供たちのために様々な企画を実施しています。しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言を受けて臨時休業となり、6月以降に学校が再開となっても感染症拡大の状況は全国的に変わらず、年度末を迎えます。児童の安全・安心を最優先に考え、外部の出入りを避け、密を避ける観点から室内や校庭を利用する応援団の活動は見合わせることになりました。ただし、児童の登校時の見守り活動については、実施することができました。

### < 課 題 >

児童数が1000人を超え、区内で一番多い学校であり、ここ数年はその状況は変わりません。以前の活動方法では、児童に行き渡らないことや、ボランティアの数が不足している場面も多数見受けられます。子供たちの通学路の見守りも続けていきたいところではありますが、人手不足は否めないところです。新しい応援団として参加していただき、つながりをもつことが、活発かつ継続した活動に結び付くと思います。来年度、新型コロナウイルス感染症の収束した時に備え、卒業生の保護者向けに例年通りお知らせとして「学校応援団協力のお願い」を配布します。

## 5 コーディネーターより

PTA本部と応援団の連携が大変よく、お互いできるところを上手に支え合っております。今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行の中、活動費用の支出が抑えられることが想定され、以前より考案していた応援団員の着用ビブスを揃えました。費用支出については、区の担当者と学校ともよく相談し、今後の応援団活動に活かせるビブスを作ることができました。このビブスは早速、通学路の見守り活動で交差点に立ってくださっているボランティアに着用してもらっています。

## 6 学校長より

本校は、PTAボランティア制度が大変充実しています。そして、PTAボランティアがそのまま学校応援団という形になって本校の学校応援団はスタートしました。そして、そのPTAボランティアの方々が卒業して、OB・OGとなり、地域の方となって、学校応援団に参加してくださる形もできてまいりました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、例年通りの多くの活動が実施を見合わせる事となり、たいへん残念に思います。しかし、その中でも児童の登校を見守る活動を継続していただき、ありがとうございます。来年度の活動再開を期待しつつ、その準備を継続してくれている多くの学校応援団の皆様へ感謝いたします。

# 清新ふたば小学校 学校応援団 実践報告書



## 1 校長及びコーディネーター氏名

清新ふたば小学校長 清澤 好美  
コーディネーター 宮本 道子

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 55人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称          | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|--------------------|---------------|------------------|
| 読書応援団<br>おはなしクローバー | 毎週金曜日         | 55人              |
| 読書応援団<br>こびとの本屋さん  | 毎週第一火曜日（活動なし） |                  |
| 学習応援団              | 不定期（活動なし）     |                  |
| 友達プロジェクト           | 不定期（活動なし）     |                  |
| 環境整備隊              | 不定期（活動なし）     |                  |

### 主な活動内容（今年度は「おはなしクローバー」のみ活動）

- ・読書応援団（おはなしクローバー）  
本の読み聞かせ、学期に1～2回程度のスペシャル企画を行う。
- ・読書応援団（こびとの本屋さん）  
SSSと連携し、学校図書館等の掲示等を工夫するなど3の環境整備を季節ごとに行う。
- ・学習応援団  
保護者に家庭科のミシンを扱う学習などのサポートを行う。
- ・環境整備隊  
学校敷地内の環境整備活動を主事や飼育栽培委員会の子供たちと一緒にやる。
- ・学習応援団  
保護者に家庭科のミシンを扱う学習などのサポートを行う。
- ・友達プロジェクト  
外国籍の保護者が安心して子供を学校へ送り出せるために交流を行う。

学校応援団本部会議を定期的に行い、今年度の方針等を精査し、共通理解を図る。



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

新型コロナウイルス感染症予防のために、外部の方を校内に入れることが難しかったため、ほとんどの活動ができなかった。そんな中、読書応援団のおはなしクローバーが本の読み聞かせ動画を作成した。(学期に1回)各学級で観賞し、子供たちはとても喜んでいて、活動が制限される中でも内容の工夫をし、活動ができた。

### < 課 題 >

今年度は、社会情勢により、学校行事も地域行事もなく、限られた活動しかできなかった。来年度は、昨年度の課題として挙げられている、更に活動が充実していくよう、広報活動についても取り組む。卒業生や学生ボランティア及び地域の人材を積極的に導入し、活動の幅を広げることができるようにする。

## 5 コーディネーターより

開校5年目を迎え、活動も徐々に広がってきたところではあったが、新型コロナウイルス感染症予防のために、活動に制限がかかってしまった。校舎内での活動はほぼできず、読書応援団は密を回避しながら活動を行った。来年度は、昨年度、課題となっていた、各グループの活動の年間計画をつくり、時間を設定するなど誰でも参加しやすい体制を構築していくなど、少しでも清新ふたば小学校の教育活動の支援ができればと思います。

## 6 学校長より

開校5年目となる清新ふたば小学校。教育活動も日に日に充実してまいりました。これも、開校より、子供たちのためにご尽力していただいております、学校応援団団長・副団長を始め、各代表の方々そして多くのふたば小応援団の方々の支えがあってこそです。本当にありがとうございます。

今年度は新型コロナウイルス感染症予防のために、活動が制限されてしまいました。そんな中でも学校応援団の皆様の声かけが大きな力になりました。今後も学校応援団の皆様のお力をお借りしながら、教育活動を推進してまいります。皆様の活動がますます充実していき、その輪が広がっていきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

# 臨海小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

臨海小学校長                    鶴田 誠二郎  
コーディネーター                高原 賢一

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 40人 |
|              | 学生ボランティア | 6人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|---------------|------------------|
| 読み聞かせ     | 月1回           | 30人              |
| 図書館整備     | 月2回           | 35人              |
| 登下校見守り    | 週5日           | 多数               |
| 学習支援      | 不定期           | 多数               |
| 安全教室      | 年1回           | 多数               |
| 環境整備      | 不定期           | 10人              |
| 挨拶運動      | 不定期           | 10人              |



図書ボランティアの方々による読み聞かせと作っていただいた作品

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・ボランティアの方々の力により、図書室の整備が進み、使いやすい図書室が保たれている。
- ・地域のボランティアの方々やPTAの協力により、毎日、登下校の見守りをしてくださっているので、事故なく生活ができています。
- ・月に一度の読み聞かせで使用した本を児童が読み、読書の機会が多くなっている効果がある。

### < 課 題 >

- ・今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の関係で、様々なことが実施できなかった。感染予防をしながら活動する困難さを打破していきたい。
- ・ボランティアの参加人数が増加するありがたさと、密にならないようにする工夫との兼ね合いを模索して進めていく。
- ・図書応援団の保護者が児童の卒業とともに減っている。もう少し人数を増やしていけるよう、声かけをしていきたい。

## 5 コーディネーターより

学校応援団コーディネーターとして、学校の教育活動やPTA活動に関わってきました。しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、例年実施していた活動ができなくなったり、自粛したりなど、これまでに経験したことのない1年を過ごしました。次年度は、改めて、感染症予防に努めながら、学校のために何ができるのかを考えていきたいと思います。

## 6 学校長より

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、5月まで臨時休校になり、6月から分散登校が始まりました。6月の下旬からようやく一斉登校が始まり、1学期をスタートさせることができました。今までとは違う形で、今年度を迎え、学校応援団の方々を始め、保護者・地域の方々におかれましては、様々な制限があった中でも、読み聞かせや登下校の見守り等のご協力をいただきました。改めて感謝いたします。

次年度は、新型コロナウイルス感染症予防を徹底しながら、臨海小学校のために、より一層頑張っていこうと思います。



# 東葛西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

東葛西小学校長            吉丸 清昭  
コーディネーター        徳廣 誠

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 15人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称    | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|--------------|---------------|------------------|
| 環境整備(校庭の芝刈り) | 不定期           | 30人              |
| 環境整備(屋上の花壇)  | 不定期           | 30人              |
| カヌーの洗浄等      | 不定期           | 20人              |

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

○本校では、校庭の安全対策の観点から芝生を移植している。年々その芝生の範囲は広がり、鉄棒の下などクッション効果がある。芝生の整備は学校としては行き届かない部分なので、臨時休業後から、定期的に密にならないように少人数単位でこまめに芝刈りを実施した。

同様に、屋上にある既に使用しなくなって数年経つ花壇の整備を行った。

### < 課 題 >

○今年度は新型感染症予防のため、臨時休業期間が長く、かつ学校再開後にも外部関係者の来校やPTAやおやじの会主催の行事が中止となった。

そのため、昨年より続いていた図書ボランティアもなくなってしまった。

## 5 コーディネーターより

東葛西小学校の教育目標である「やさしい子、やりぬく子、元気な子」に則し、これを支えるべく我々は学校応援団として活動しております。

学校応援団はPTA、おやじの会、図書ボランティアなど直接学校に関係している組織だけでなく、近隣の企業、町会や自治会、公共団体などにも協力を得て成り立っています。活動形態もさまざま一年を通していろいろな場面で「学校と地域を愛する子どもたち」を育てるために活動しています。今年度は、残念ながら昨年度2月からの臨時休業から例年通りの活動や目立った活動はできませんでした。しかしこの際にできることを考え、環境整備を協力し合い円滑な運営ができたことが成果であると思っています。今後も社会や学校の状況を鑑みて、活動に工夫・改善を加えながら、児童の小学校生活の楽しい思い出づくりやさまざまな体験、豊かな心を育てられるよう努力していきます。

## 6 学校長より

本校は平成14年に開校した区内では新設校ですが、学校応援団の方々には学校・地域・保護者が学校の教育活動への理解や協力のもと、心を一つにして子どもたちの健やかな成長のために様々な活動をしていただいています。今年度は、新型感染症予防のため、長い臨時休業期間及び外部の方の来校を極力ご遠慮いただいていることから、学校再開後にも外部関係者の来校やPTAやおやじの会主催の行事が中止となりました。そのような中で環境整備をしていただいております。今後は、成人をした子どもたちが、「こころのふるさと 東葛西小学校」と思えるよう、一層の学校応援団の方々と協働や連携を通して、地域と共に学び、地域と結びつく教育活動を行いたいと考えております。

# 瑞江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

瑞江小学校長 望月 早苗  
コーディネーター 花輪 牧子

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 89人 |
|              | 学生ボランティア | 2人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称      | 活動状況(週、月、不定期)          | ボランティア数<br>(実人数) |
|----------------|------------------------|------------------|
| 旗振り(朝の交通安全見守り) | 登校時の安全見守り              | 15               |
| 下校時安全見守り       | すくすくスクール下校時の安全見守り      | 10               |
| 花ボランティア        | 校内畑・花壇の整備、畑での学習支援      | 7                |
| 読み聞かせ          | 朝学習時、全学級での本の読み聞かせ      | (27)             |
| 図書室整備          | 本の修理や書架の整頓、図書室の整備      | (20)             |
| 学習支援           | 個別の支援が必要な児童への学習補助      | 2                |
| 瑞小まつり          | 模擬店(焼きそば)の出店           |                  |
| 豆まき大会          | 冬の風物詩、<br>伝統行事「豆まき」の体験 | (12)             |
| ネオホッケー         | 青少年育成委員会行事に参加          |                  |



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

学校応援団が瑞江小学校に正式に発足して以来、多くの方々のお力添えやご協力により、順調に進めることができました。

畑や花壇の管理を担当する花ボランティアを設置しました。今年度は主に畑の整備を行い、児童の学習用に植えた作物の管理を行いました。植え付けや収穫の際には作物に関する話や作業の仕方の説明などを行い、学習支援においても活躍しました。瑞江の園ではコキア（ほうき草）を育て、収穫してほうきを作りました。さらに、藤棚の剪定も行い、より多くの花が咲くよう整備していただきました。

運動会や芸術的行事、学校公開での安全管理や交通整理、朝の交通安全旗振り活動など、児童が安心して学習できるよう全保護者で取り組んでいます。

「読み聞かせ」や「図書館整備」は、新型コロナウイルス感染症予防のため今年度は実施しませんでした。次年度に向けてボランティア活動継続の準備を進めるとともに、今年度配属された図書館司書の助言を生かせるよう情報共有を行っています。

学校周辺の身近な地域に出かける校外学習では、安全管理や交通整理などのお手伝いをさせていただきました。

町会を中心とした地域の皆様には、朝のあいさつなど見守り隊として児童の安全確保、健全育成に協力していただいています。見守り隊をはじめ、花ボランティアを中心に、小松菜畑見学、各種事業所見学等にも、朝会・地域の方々の協力をいただいています。今後も、これらの活動をますます充実させていきたいと考えています。

### < 課 題 >

「読み聞かせ」活動は、OB・OGの方の協力なしにはできない状況です。今年度は4名のOGの方々がご協力くださっていました。新しく学校応援団ボランティアになってくださる方が少ないところが課題です。

花ボランティアは継続して活動していくことができるようリーダーの設定と安定した連絡手段の確保をしていく必要があります。

## 5 コーディネーターより

登校時の旗振りやあいさつ運動、すすくすくスクールの下校時の安全見守りの活動を通して、子どもたちの安心安全な学校生活を支えることができました。

有志のお父さんで構成したグループ「ダディーズ」は、大きな行事がなかった今年度はあまり活躍の場を準備できませんでした。次年度以降も活発に活動していただけるよう場の設定を工夫していきます。

今年度から本格的に活動を始めた花ボランティアでは、地域の方を中心に子どもたちの学習の場である畑や花壇の整備をしていただきました。継続して活動いただけるよう計画を立てていきます。

## 6 学校長より

今年度より畑や花壇を花ボランティアの皆さんに管理していただいています。教員や児童だけでは管理しきれず育ちの悪かった作物が生き生きと生長するようになり、収穫の際には目を輝かせて話を聞く児童の姿が見られました。本校の特色のひとつ、すすくすくスクールからの下校時見守りをはじめ、朝のあいさつ、ほうき草（コキア）の栽培やほうきの製作など数えればきりがないほどの協力をいただき、子どもたちの健全育成に力を注いでいただいています。本校を愛する熱い思いに、感謝しかありません。学校応援団の皆さんの思いにも応えられるよう、学校も日々の教育活動に努めてまいります。

# 春江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

春江小学校長           井上   こずえ  
学校応援団長           芦田   孝二  
コーディネーター      佐藤   恵美子

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|                |          |      |
|----------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア登録数 | 一般ボランティア | 130人 |
|                | 学生ボランティア | 0人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期)               | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|-----------------------------|------------------|
| 読書活動支援    | 月4回(毎月隔週 水・金曜日)             | 35人              |
| 学習活動支援    | 学期に5回程度(必要に応じて)             | 20人              |
| 安全安心支援    | 毎朝の登校時                      | 40人              |
| 栽培活動支援    | 不定期(必要に応じて)                 | 15人              |
| 漢字検定支援    | 今年度未実施<br>(コロナウイルス感染症対策のため) | 20人              |



読書活動支援 環境整備



読み聞かせボランティア

## 4 今年度の成果と課題

### 今年度の成果と今後の課題

#### < 成果 >

- ・活動に制限があったが、読書活動支援（読み聞かせ・校内環境整備）や学校農園整備、登下校時の見守り支援など、できる範囲の中で活動を継続することができた。
- ・活動内容については学校ホームページに掲載するなどして情報発信を積極的に行った。「できる時にできる人が、できることを」を合い言葉に、見える活動、積極的な活動を心がけた。
- ・予算を有効に活用して読み聞かせ用スピーカーマイクを揃えるなど、コロナ禍でも支援活動が充実するように工夫することができた。

#### < 課題 >

- ・コロナウイルス感染症対策のため、例年通りの支援ができなかった。活動内容に応じて工夫していく必要がある。
- ・支援に積極的に参加してくださる方が固定化の傾向があり、経験のない方にも気軽に支援に参加していただけるような情報の発信、活動時間の設定など見直しを図っていく。
- ・今年度は体力テストがなく、スポーツ支援ができなかった。児童の心身の健康面を配慮し、来年度は特に体力向上への支援を中心に活動を充実させたい。

## 5 応援団長より 芦田 孝二

「だれでも参加できる応援団」をめざして、全ての地域の方・保護者にも分かりやすい活動を目標にして取り組んできました。

「できる時にできる人が、できることを。安全で元気で楽しい学校生活を子供たちのために」の精神は確実に春江小学校の学校応援団のポリシーとして根付いてきました。

今年度は、コロナウイルス感染症の影響もあり、スポーツ支援や漢字検定支援などが実施できませんでしたが、読書支援や学校農園整備等、できる範囲の中で活動を進めてきました。

今後の状況を鑑みながら、更に春江小学校学校応援団が充実していけるよう心掛けていきます。

## 6 学校長より 井上 こずえ

学校応援団の皆様には、1年を通じてたくさんお力添えをいただき、深く感謝しております。本当にありがとうございます。今年度は、コロナウイルス感染症対策により活動が限られましたが、登下校時の見守り、読み聞かせ、校内掲示等、皆様のおかげで子供たちの学校生活が安全で楽しく豊かなものになりました。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

# 新堀小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

新堀小学校長 黒澤 義和  
コーディネーター 笠井 雅世

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |      |
|--------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 100人 |
|              | 学生ボランティア | 4人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称     | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|---------------|---------------|------------------|
| 安全見守り隊        | 不定期(毎日)       | 10人              |
| 校外学習の安全の見守り   | 校外学習時に要請      | 35人              |
| マラソン大会 安全見守り  | 年1回           | 20人              |
| 学習支援 家庭科(ミシン) | 年3~4回(学級ごと)   | 12人              |
| 読み語りボランティア    | 年3回           | 30人              |
| 学校図書館整備ボランティア | 月2回           | 15人              |
| ふれあいガーデン作り手伝い | 年1回           | 1人               |
| さつきのさし芽指導     | 年1回           | 3人               |



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

今年度はコロナ禍により、様々な活動を制限せざるを得なかった。運動会や校外学習といった学校行事が実施されず、地域の行事は軒並み中止となり、昨年度から開始した避難所開設訓練も行うことができなかった。学校応援団としての大きな活動であった「もちつきフェスティバル～防災を考えよう～」も実施することはできなかった。

そのような状況の中、学校ではコロナ感染を防ぐため、集団登校を実施せず個人登校とした。高学年が中心となって安全に登校することができない中、児童の安全を少しでも見守ることができないかと地域の皆様に「安全見守り隊」のお願いをした。すると、快く「自分にできる範囲のことをやらせてください。」と引き受けてくださった方がいたことは本当に有難いことであった。「さつきのさし芽指導」に関して「子供たちのためにできることはどんな形でもいいからやりましょう。」と言ってくださった。マラソン大会のお手伝いができるか相談すると「お手伝いしたくてうずうずしていました。」と話してくださった。その他の活動に関して、できる範囲で安全に気を付けて取り組んでくださった。コロナ禍で大変だからこそ、人の温かさ、有難さ、ボランティアマインドとは何かということを改めて感じることができた1年であった。それが今年の大きな成果であった。

### < 課 題 >

今年度はコロナ禍の中、今まで当たり前のように取り組めていたことが取り組みなかった。この状況がいつまで続くかはまだ分からない状況である。今年を振り返り、新しい学校応援団の取組を考えなければいけないと実感した。本当に必要な物は形を変えてやっていけるよう知恵を絞っていきたい。

## 5 コーディネーターより

今年度はコロナ禍により、昨年度まで地域の防災意識を高めるために取り組んできたことを実施することができませんでした。やりたいことができなかったからこそ、今まで多くの方々に支えられてここまで来たことを実感しています。そしてこれからも地域の皆様とこれまで以上に協力体制を築き、今まで以上の学校応援団にしていきたいと思っています。今年度も環境整備として「ふれあいあいガーデン作り」には取り組むことができました。来年は新堀小学校が40周年となるので、今年以上に素敵な環境になるようお手伝いしていきたいと思っています。

## 6 学校長より

今年度はコロナ禍により、恒例の行事が軒並み中止にせざるを得なかったのは残念ではあったが、コロナ感染防止のため集団登校ができず、児童の登下校の安全を見守る方を募ったところ、すぐに協力いただける方が見つかったり、コロナ禍においても本校の特色で開校以来続いているさつきの差し芽の授業は実施したりするなど、地域の皆様の新堀小学校のために力になりたいという強い思いが脈々と受け継がれていることを実感した。これからも学校応援団の活動を通して、学校・家庭・地域が子供たちの健やかな成長を願い、協働していきたい。



# 下鎌田小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

下鎌田小学校長 奥村孝史  
 コーディネーター 宇佐美 慎一

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 40人 |
|              | 学生ボランティア | 4人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期)                     | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|-----------------------------------|------------------|
| 子どもに本読ませ隊 | 読み聞かせ<br>(11月より再開・隔週土曜日)          | 16人              |
| 子どもに本読ませ隊 | 図書室の環境整備と図書の整理<br>(11月より再開・隔週土曜日) | 16人              |
| 安全な土作り隊   | 学校花壇の管理と手入れ(不定期)                  | 2人               |
| 交通安全見守り隊  | 登下校の見守り(学校再開後毎日)                  | 7人               |
| チームパパ     | 行事中止のため活動中止                       | 10人              |



今年度は感染予防の為、自分の席から画面を通して本を見ています。  
 すぐに本の世界に入る子どもたち



図書室により親しみを感じられますように。これは、はクリスマスの装飾です。季節の装飾が変わると喜んでくれる子どもたちです。



交通安全見守り隊による登校時の見守り。  
 「おはようございます」の挨拶運動も実施しています。



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

新型コロナウイルス感染症対策により、学校行事・PTA活動が年間を通して中止されたため多くの活動が休眠状態となりました。「安全な土作り隊」は、昨年度に植え付けした作物は、2名の方が手入れをしてくださり夏には大きなひまわりを咲かせ、花壇には野菜が実りました。「交通安全見守り隊」は、学校再開と同時に毎朝通学路に立ってくださったことで、児童が安全に登校することができました。また、大きな声で「おはよう」の声掛けをしてくださるので、登校班ごとに礼儀正しく挨拶ができるようになりました。11月の土曜授業から活動を再開した「子どもに本読ませ隊」の読み聞かせは、児童の楽しみな行事になっています。また、図書室の環境整備をしていただき、季節感のある装飾の中で、読書活動を楽しめるようになりました。

### < 課 題 >

どのボランティアも活動に参加する方が減少傾向にあり、固定化していることが大きな課題ですが、新型コロナウイルス対策により人の出入りが制限される中で、裾野を広げるための体験や単発参加の機会がないことは大きな課題です。

「子どもに本読ませ隊」の読み聞かせの本の選定と用意がボランティアさん任せになっているため、発達段階を見据えた計画的な読み聞かせとボランティアの負担軽減の必要性を感じています。

「交通安全見守り隊」の挨拶の声を小さくしてほしいとのご意見を頂きました。地域・町会の理解と協力体制は盤石ですが、学校近隣に転居してきた居住者の方にこの活動を理解していただく方法を模索中です。

## 5 コーディネーターより

私も本校PTA会長をしていたころ、チームパパの中心メンバーとして活動に携わっておりました。今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策により、チームパパの活動は全て中止となり、とても残念です。その中で、「子どもに本読ませ隊」の読み聞かせ活動の再開と図書館の整備活動が再開され、読み聞かせ活動の充実に関与することができたことを嬉しく思います。このコロナ渦でも、学校応援団による活動の輪が広がってくれることを願っています。

## 6 学校長より

新型コロナウイルス感染症の拡大により、これまで行っていた活動が中止となり、児童が地域の方と交流する場面が激減したのはとても残念でした。6月に分散登校が始まりましたが、登校と下校を2度繰り返す際にも、時間を見計らって通学路に立っていただき、登下校の安全を確保してくださった「交通安全見守り隊」の皆様には大変お世話になりました。

また、11月から「子どもに本読ませたい」の皆様による読み聞かせが再開しました。これまでと違い、自席で話を聞くことになりましたが、教室の大型テレビに絵を映し出すことで、これまでとはまた違った読み聞かせとなり、児童はとても目を輝かせていたのが印象的でした。

今後も可能な範囲で協力体制を継続させていきたいと思っております。

# 下鎌田東小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

下鎌田東小学校長 松塚 智加子  
コーディネーター 棚橋 義隆

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |      |
|--------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 121人 |
|              | 学生ボランティア | 0人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称    | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|--------------|---------------|------------------|
| 登下校支援        | 週5回           | 33人              |
| 図書整備ボランティア   | 月1回           | 8人               |
| 読み聞かせボランティア  | 月1回           | 30人              |
| お父さんの会(行事支援) | 不定期           | 25人              |
| 一人一鉢菊づくり支援   | 不定期           | 15人              |
| バリアフリー体験支援   | 不定期           | 10人              |

### 活動の様子から



[バリアフリー体験]

[一人一鉢菊づくり]

[朝の読み聞かせ]

- ・本校の特色ある教育活動を理解いただき、協力を得て取り組んでいます。
- ・不定期な取り組みもありますが、何年も継続して協力を得ています。

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度の菊づくりは実施を見送りました。しかし、令和3年度は本校の開校50周年にあたるため、周年記念行事に合わせて菊観賞会が開催できるよう準備を進めました。一人一鉢の菊づくりがうまくいくように、鉢上げから、水やり、輪台づくり、そして、菊観賞会の準備まで、菊づくりボランティアの方々にご協力をいただきながら行えるように計画を立てました。来年度は盛大に菊観賞会ができることを期待しています。

P T A役員の方々の協力により、ほぼ毎日清掃活動を実施することができました。各教室の消毒等もしっかりとできたので、安全・安心な学校生活を送ることができました。

学校図書館スーパーバイザーを招いて、図書整備を行ったため、図書館がさらに活用しやすくなりました。

### < 課 題 >

ボランティアの方が固定化する傾向にあります。また、活動内容によっては、ボランティアをしていただける方の確保が難しいこともあるので、より多くの方に関わっていただけるように働きかけていきます。

一人一鉢菊づくりでは、半年以上継続した支援が必要なので、菊づくりボランティアの方々に負担をかけている面もあります。改善に取り組んでいますが、さらに活動時期や時間についても改善が必要です。

## 5 コーディネーターより

本校は、地域からの大きな力添えをいただきながら、地域とともに歩んできております。地域の町会や各施設の方々、P T A役員、お父さんの会、菊づくりボランティアなど、様々な組織が学校の教育活動を支援しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学校や地域での活動など様々な活動に制約がかかりましたが、その中でも知恵をしぼり、できることには積極的に取り組んでまいりました。今後も、状況をみながら課題の解決を図り、学校、P T A、地域が連携して、子どもたちのためにできることに取り組んでまいります。多くの皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

## 6 学校長より

いつも本校の子どもたちのために、お力添えをいただき感謝申し上げます。町会や地域の施設の方々をはじめ、P T A役員、お父さんの会、菊づくりや読み聞かせボランティアなど、実に多くの皆様に教育活動を支援していただいております。本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学校応援団の活動が縮小されたところもございましたが、そんな中でも年間を通して本校の教育活動を様々に支えていただきました。おかげさまで、子どもたちは、明るくたくましく育てております。今後も皆様のお力をお借りしながら、学校の教育活動をより一層充実させてまいります。引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

# 下鎌田西小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

下鎌田西小学校長 小野塚 良朋  
学校応援団長 石田 裕

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|                |          |     |
|----------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア登録数 | 一般ボランティア | 38人 |
|                | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|---------------|------------------|
| 読み聞かせ     | 月2回(本年度のみ休止中) | 18人              |
| 図書整備      | 週1回(本年度のみ月1回) | 19人              |
| 図書室装飾     | 週1回(本年度のみ月1回) | 18人              |
| ガーデニング    | 週1回           | 19人              |
| 樹木プレート作り  | 週1回(本年度のみ休止中) | 7人               |
| 安全見守り     | 毎日            | 7人               |

それぞれの活動を兼ねて登録されている方もいますので、上記のボランティア数になっています。

《図書》

《ガーデニング》



《安全》



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・(図書)月2回の読み聞かせ(本年度休止)、週1回(本年度月1回)の図書整備や装飾活動を継続的に行っている。区の読み聞かせ講座を利用したり、東部図書館との交流や情報交換の場を設けたりして活動の改善を図っている。今年度も購入希望の図書を挙げて先生方と協力し、選書に携った。図書の廃棄作業等も実施した。
- ・(栽培)今年度も充実した花壇整備活動を中心に、学校の環境整備に貢献することができた。水やり花、球根の植え付けは栽培委員会の子供たちが主となり一緒に行った。(共同作業は本年度中止)除草作業、植え替えはメンバーで協力して行った。樹木プレート製作活動では、作品はみずえの森公園や校庭の樹木プレートとして地域、学校を彩っている。(本年度中止)
- ・(安全)地域の区画整理に伴い自動車の交通量が増えたが、今年も地域の方を主に、登校時の安全見守りを継続することができた。今年度は長年の活動により、警察署より表彰された。

### < 課 題 >

- ・(図書)今後も学校との連携と引き継ぎ、参加メンバーの確保を進めていきたい。他校や図書館と交流し、さらに活動の意識向上に取り組みたい。
- ・(栽培)花壇の活動も、樹木プレート製作の活動も参加人数が少ない。人員を確保していきたい。
- ・(安全)校舎前の道路が相互通行となった影響で車の交通量が増えた。今後も学校の方針、通学路の状況に応じて対応できる体制を整えたい。

## 5 学校応援団長より

学校・家庭・地域が三位一体となって、子どもと共に学び育む「共育」を推進し、子どもと共に生きゆく思いを大切に運営してきました。これまでの学校応援団をより充実させるために、図書・栽培・安全の3部門を設けて連携を図りました。栽培では昨年度までの実績を生かし、児童の委員会活動と共同で作業できたことがよかったと思っています(本年度休止)。読み聞かせ活動については、例年講師をお呼びしての研修講座を開き、研修を深めることができました。今後の活動に生かしてまいります。

## 6 学校長より

今年度はコロナ渦の中、できる限りの活動をしていただきました。分散登校から一斉登校へ、また密を避けるために個別から集団へと登校の様子が変化していく中、変わらずに児童の安全を見守り続けてくれたこと。児童との接触についてご配慮いただきながらも、校庭の花壇や図書室をいつも変わらないよう整備し、豊かに学べる環境を維持してくれたこと。応援団の皆様のご気持ちと活動に感謝するばかりです。

先を見通すことが難しい状況がまだしばらく続くと思われませんが、児童との交流を含め応援団の活動がさらに発展していくよう、力を携えていきたいと思っております。

# 江戸川小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

江戸川小学校長            鈴木 薫  
コーディネーター        三田 栄一郎

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 44人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称     | 活動状況(週、月、不定期)                       | ボランティア数<br>(実人数) |
|---------------|-------------------------------------|------------------|
| 学校図書館整備ボランティア | 図書館蔵書整備（第1・第3木曜日）                   | 8人               |
| 登校見守り支援       | 登校時の児童の安全確認、指導（毎日）                  | 30人              |
| 下校見守り支援       | 下校時の児童の安全確認、指導（毎日）                  | 2人               |
| 学習支援          | ミシンの使い方の手伝い（不定期）<br>生活科学習の引率補助（不定期） | 2人               |
| 藤棚整備          | 藤棚の剪定（不定期）                          | 1人               |
| 環境整備・樹木の選定    | 学校施設の修繕、備品の制作（週2～3回）<br>樹木の剪定（不定期）  | 1人               |

登校見守り支援



学校図書館整備ボランティア



環境整備



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・学校の取組だけで安全な登下校を実現することは難しい現状があります。その中で、登下校の見守りや登校班・旗振り活動を続けてこられたのは、学校と家庭、地域の三者が連携によるものであると思います。  
まさに、本校が掲げる「地域と共に」を実現する取組だと実感しました。
- ・今年度は学校図書館の整備ボランティアを募集し、年間を通して取組を実現しました。ボランティア希望者を募り、一人ひとりが意欲的に取り組めたことは、これからの学校支援に在り方の良き事例となりました。

### < 課 題 >

- ・コロナ禍による影響は、学校応援団の活動にも少なからず影響を与えました。  
また、在籍児童数が減少する中で、これまでの活動を継続することが困難になりつつあります。そのため、従来の取組や考え方による学校応援団の活動に限界が来ています。
- ・今年度は、学校ホームページに学校応援団の取組を紹介したり募集を行ったりするサイトを設け、学校応援団活動の見える化に取り組みました。また、本校の応援団の名称を「江戸川小サポーターズクラブ」とし、幅広い層にサポーターを増やすとともに、学校とサポーターの要望をマネジメントする取組を充実させていきたいと考えます。

## 5 コーディネーターより

今年度より「江戸小サポーターズクラブ(ESC)」と名称を改め、江戸小サポーターの拡大と新たな活動を模索する1年となりました。残念ながら、コロナ禍により活動内容の変更や見送りを余儀なくされました。

一方で、学校図書館整備ボランティアの取組を通して、ホームページを活用してボランティアの募集や活動内容の紹介等、学校と協力・連携した活動を進めることができました。来年度もこの取組を土台にして、さらに発展・充実できるよう進めてまいります。

結びに、学校応援団の取組について、ご理解とご支援を賜りました皆様方に心より感謝申し上げます。

## 6 学校長より

本校は、今年度「江戸川区立江戸川小学校グランドデザイン」に基づく長期計画のもと教育活動をスタートさせました。教育活動の充実・発展はすべて本校を選択した子供たちの教育のためにあります。江戸小サポーターズクラブは、これからの教育活動を進める上で大事な基盤となります。その基盤を盤石なものにしていくため、従来の活動を生かしつつ、江戸小サポーターズクラブと連携・協働して本校だからこそ実現できる様々な取組を推進していきたいと考えます。



# 一之江小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

一之江小学校長 国分 靖  
コーディネーター 牧島 孝行

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 50人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|---------------|------------------|
| 本よみ隊！     | 月2回           | 15人              |
| 登下校見守り    | 週5～6回         | 全保護者             |
| ゲストティーチャー | 不定期           | 5人程度             |
| 体育大会練習補助  | 今年度は実施なし      |                  |
| 吹奏楽部交流    | 今年度は実施なし      |                  |
| 書初め練習     | 年1回           | 10人              |

## 4 今年度の成果と課題

### < 成果 >

「本よみ隊！」

○感染予防を考え、今年度は、児童と直接触れない方法を工夫して活動しました。

6月 活動開始

これまでの「本よみ隊！」の沿革を冊子にまとめた。

学校側と話し合い、活動計画を練る。

7月 読み聞かせ動画の作成

「なつのおとずれ」

「そのつもり」

「しにがみとおばあさん」

「だれのパンツ」

掲示物作成

「おれは かまきり」(詩)

8月 ぶっくん通信 1(特別号) 発行

今年度の読み聞かせの状況報告・先生紹介・おすすめの本の紹介(カラー冊子)



9月 ぶっくん通信 2 (動画撮影の協力者募集アンケート) 発行

掲示作成

「たべものの出てくる絵本」の紹介

(本と食べ物があみだくじで結べる遊びができる掲示)

10月 読み聞かせ動画の作成(2回目)

「ほげちゃん」 「ヒゲタさん」

「こんもりくん」 「どんぐりと山猫」(紙芝居)

11月 読み聞かせ動画の作成(3回目)

「くまくん」

「ランドセルは海を越えて」

「ふくろうのそめものや」

「かいわれざむらいと だいこんひめ」

「さつまの おいも」

「ブレーメンの音楽隊」(紙芝居)

12月 掲示物作成

「百人一首って知ってる？」

(百人一首のいろいろな遊び方)

ぶっくん通信 3 (動画による読み聞かせの様子を紹介) 発行

掲示物作成

(3学期に掲示予定)

- ・動画により、朝の時間だけでなく、読書活動の時間に自由に活用でき、本の魅力をたくさん伝えられた。また、掲示物によって、本に興味をもつ児童の姿がたくさん見受けられた。
- ・先生方の紹介とともに、おすすめの本を特集したことで、家庭でも読書のお話が出てコミュニケーションが深まった。

「登下校見守り」

○毎日たくさんの保護者様が来てくださり、児童の安全が確保されありがたい。

「書初め練習」

○すすくすくスクールのお力で講師の先生中心にサポートセンター・保護者の方にも参加いただいた。

**< 課 題 >**

- ・新型コロナウイルス感染症予防のため、児童との触れ合いが今年度は行えなかった。次年度は、行えるよう願っている。
- ・今年度は、動画作成お手伝いを呼びかけ、賛同を得てお手伝いの方が活動してくれた。人材の確保は何年も続いている大きな課題である。限られた人数での活動ではあったが、新しいことへの取組にもこれからも挑戦していきたい。「いつでも、できるときに、できる人で」のボランティアとして、活動に協力できる方を募り、気軽に学校応援団に参加してもらえるような方法を考えていく。

## 5 コーディネーターより

今年度は、新しい生活様式を意識して感染予防策を講じてまいりましたが、子供たちの本への興味が薄らぐことなく豊かであることを嬉しく思います。学校応援団としてできることをこれからも考え、こんな時だからこそ、コミュニケーション力を高めるためにお役に立てればうれしく存じます。

健全な子供たちの成長をめざし、地域の学校としての一之江小学校支えていくことに力を尽くしていきます。

## 6 学校長より

新型コロナウイルス感染症のために活動が制約されましたが、学校応援団の皆様の温かいご支援により、子供たちの成長が見守られ、日々豊かに育っていることに感謝申し上げます。さらに新しい活動を準備していただき子供たちを見守ってくださることが、子供たちの大きな支えとなっていることも確かです。卒業した中学生が地域に感謝の思いを持ち、笑顔で挨拶してくれます。今後も学校応援団の皆様のお力をお借りして、さらに地域に誇れるよりよい学校づくりに励んでまいります。



# 一之江第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

一之江第二小学校長 木野 治喜  
コーディネーター 溝口 泰志



## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |      |
|--------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 100人 |
|              | 学生ボランティア | 0人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称                     | 活動状況(週、月、不定期)                                      | ボランティア数<br>(実人数) |
|-------------------------------|--|------------------|
| 金魚会<br>(子供も活動応援団)<br>すくすくスクール | (コロナのため、活動見合わせ)                                    |                  |
| ぐりぐら会(環境応援団)                  | 毎月の整備<br>・図書整備 本の分類・整理、修復等の実施<br>・図書室の装飾、特設コーナーの設置 | 15人              |
| いち・にの・くれよん<br>(読書活動応援団)       | 読み聞かせ 3学期1回  | 25人              |
| 見守り隊<br>(安全・安心応援団)            | 登下校時の安全の見守り 週5回                                    | 28人              |



学校図書館の整備

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・コロナ禍により、例年通りの活動が制限され、前年度に立てていた計画で中止せざるを得ないものが大半であった。そのため、具体的な成果が見えずに経過している。
- ・唯一、学校図書館の整備は、活動制限の影響を受けにくく、計画的・定期的に環境整備を進めることができ、児童が図書館を利用するにあたり、有意義に機能していたと言える。

### < 課 題 >

- ・予算を年度内に使い切らねばならず、次年度へ繰り越せないのは使い勝手が悪いという声がある。

## 5 コーディネーターより

学校応援団は、学校と地域、そして保護者が協力して子供たちにとってよりよい環境づくりを推進するということを大切に、運営してきました。しかし、コロナ禍において安全を第一と考え、3密を避けるため、本事業を例年通りに継続するのは難しい令和2年度でした。これからも子供たちのために保護者や地域と協力して、二小応援団の活動内容を可能な形で、充実したものにしていきたいと考えています。

## 6 学校長より

学校応援団の取組みは、学校を応援してくださる皆様のご理解とご支援のもとに、活発に展開されています。地域安全「見守り隊」の皆様による児童下校時の見守り、「いち・にの・くれよん」の皆様による読み聞かせ、「ぐりぐら会」の皆様による図書室整備等、コロナ禍においても活動できるスタイルで活動して頂いています。今後も「人の和」を大切にしながら「笑顔あふれる一之江第二小学校」を目指してまいります。

# 鹿本小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

鹿本小学校長 太巻 美青  
コーディネーター 飯沼 俊雄

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 71人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称                         | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------------------------------|---------------|------------------|
| <b>学習ボランティア</b>                   |               |                  |
| 会議室の整理・整頓                         | 11月 1回・12月 1回 | 3名               |
| 他の活動については新型コロナウイルス感染症予防のため行わず     |               |                  |
| <b>図書ボランティア（おはなしパンピの会）</b>        |               |                  |
| 読み語り 全学級にて<br>図書館《本の整理、環境(装飾)づくり》 | 11月から（隔週）     | 6名               |
| <b>おやじの会</b>                      |               |                  |
| 水鉄砲大会（6年生）                        | 8月22日（土）      | 15名              |
| 他の活動については新型コロナウイルス感染症予防のため行わず     |               |                  |
| <b>子供見守り隊</b>                     |               |                  |
| 登下校時、通学路での児童の見守り                  | 週 5回          | 18名              |
| 他の活動については新型コロナウイルス感染症予防のため行わず     |               |                  |

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

#### [学習ボランティア]

- ・新型コロナウイルス感染症予防対策のため実質的な活動は行えなかった。
- ・ボランティア活動を行う際に、会議室を利用しているため、活動が再開した時のことを考え、室内の整理や整頓を行った。

#### [図書ボランティア（おはなしパンピの会）]

- ・新型コロナウイルス感染症予防対策のため、11月から活動が行えるようになった。
- ・図書館司書が鹿本小の今年度配置されたことから、11月から図書館整理や図書館に掲示する装飾等を本格的に作り飾った。
- ・児童の読み聞かせも、新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から、ICT機器を利用して本を提示し、児童と距離に配慮した形で読み聞かせを行った。

#### [おやじの会]

- ・新型コロナウイルス感染症予防対策のために、様々な学校の行事が無くなってしまったため、おやじの会が6年生の思い出づくりの一環として、予防対策をしっかりと行った上で水鉄砲大会を行った。

#### [子供見守り隊]

- ・集団登校が新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から行われなくなりました。これまでも通り、児童の安全のために、地域に立っていただき安全を見守りました。

### < 課 題 >

- ・新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から、ボランティアさんには学校への登校を控えてもらったため、活動のほとんどが行えなかった。来年度には今までのように活動が行えればと考えている。

## 5 コーディネーターより コーディネーター 飯沼優雄

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策のために、学校に出向くことができず学習ボランティアの活動は全くできなかった。子どもたちの成長に携わることができなかったのはとても残念ではあった。鹿本小の児童と一緒に学べる日を心待ちにしながら、それまで健康に留意し準備して行きたいと思います。

## 6 学校長より 校 長 太 卷 美 青

今年度、鹿本小学校のボランティアさんに対し、東京都教育委員会から学校教育活動支援部門で感謝状をいただきました。感謝状はそれぞれの団体の代表の方に来ていただき、児童朝会場でボランティアさんにお渡しをしました。本校は多くのボランティアさんに支えられて教育活動を行っています。この素晴らしい取り組みが今後も続けていけるよう、連携を図りより良い活動が行えるよう取組んでまいります。

# 鹿骨小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

鹿骨小学校長                      高橋 徹  
 コーディネーター                進藤 康之



## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 35人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称               | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-------------------------|---------------|------------------|
| 放課後オンライン学習<br>見守りボランティア | 月8回           | 4人               |
| 学校行事等                   | 不定期           | 15人              |
| 花と緑のボランティア              | 年2回           | 10人              |
| 学習の支援（校外学習等）            | 不定期           | 10人              |
| すくすくスクール                | 不定期           | 5人               |
| 英会話教室ボランティア             | 月2回           | 10人              |
| 漢検・数検ボランティア             | 年2回           | 15人              |

花と緑のボランティア



放課後英会話教室



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- 本年度より「放課後オンライン学習」を始めた。児童は江戸川区が推奨している「e ライブラリアドバンス」の学習問題に取り組んでいる。見守りボランティアとして学習を見守っていただいたことで、児童に学習の機会をたくさん与え、家庭学習のきっかけにもなった。
- 本年度は、緊急事態宣言を受けての臨時休校で行うことができなかったが、ボランティアは季節ごとに花の植え替えを行っている。  
学習支援として、交通安全教室や社会科地域探検等で、児童の安全確保や引率補助をしていた。教員が児童への指導に専念でき、より効果的な指導ができた。
- 学校行事等では、マラソン大会の準備や後片付け、児童の安全確保等をしていただいた。おかげで、安全・スムーズに終えることができた。
- 漢検・数検では、監督補助として活動していただいた。ボランティアとして関わっていただいたことで、より多くの学習の機会を児童に与えることができた。
- 低学年を対象にした「放課後英会話教室」は、参加児童の保護者達が運営している。指導内容も地域の英会話スクール講師の指導を仰ぎながら、保護者たちで相談して決め、保護者達が児童に指導している。参加児童の保護者が運営することで、わが子等の学習に関心を持つとともに、下校時等の安全を確保することができた。

### < 課 題 >

放課後オンライン学習等にボランティアとして参加していただいている方は、在校児童の保護者が多く、複数のボランティアを兼務している。地域の方々も含め、新規メンバーの参加が課題である。

## 5 コーディネーターより

在校児童の保護者を中心にボランティアへの参加を積極的に募っているが、思ったよりなかなか集まらない。「応援団員になるとこれからいろいろなことに参加しなくてはいけなくなる」などの気持ちがあるのか、壁は高いようである。義務のようなものはなく、「できるときにできることだけ」でよいことをこれからも発信していくとともに、学校とも連絡を密にして、気軽に参加できるボランティア環境を構築していきたい。

## 6 学校長より

鹿骨小の子供たちは、豊かな自然環境の中で、「鹿骨の町が大好き、鹿骨小学校が大好きな子供たち」です。これからも、友達、保護者、地域の方々とのかかわり合いの大切さを学び、育てていきたいと思えます。学校応援団を中心に学校・家庭・地域のつながりを堅固なものにしていきます。



# 鹿骨東小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及び学校応援団代表氏名

鹿骨東小学校長            中田 伸代  
 コーディネーター        小谷 勝彦

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 77人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称              | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|------------------------|---------------|------------------|
| 安全安心・学校見守り隊            | 週5回           | 14               |
| 読書活動(図書整備)<br>図書ボランティア | 週1回(毎週木曜日)    | 21               |
| 読書活動(読み語り)<br>図書ボランティア | 月1回(毎週火曜日)    |                  |
| グリーンボランティア             | 不定期           | 11               |
| 環境整備(おやじの会)            | 不定期           | 31               |



### 《ふるさと学習 組子細工作り》

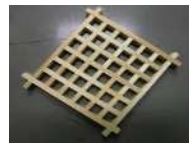
ヒノキを使ったコースター作りにチャレンジしました。

細かく細工して下さった

部品の組み立て方を

丁寧に教えていただきました。

きました。



### 《ふるさと学習 花の寄せ植え》

地域の特色でもある花の栽培を活かした活動です。

花の特徴や世話

の仕方を詳しく教え

ていただきました。



### 《ふるさと学習 江戸扇子作り》

一作年度より始まった江戸扇子作り。

今年度もお願いしました。

運動会で自分の作っ

たこの扇子で御神楽

を舞います。



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・鹿骨東小学校ふるさと学習として各学年で、地域を学ぶ学習、地域の人から学ぶ学習を計画し、実践してきた。地域の人材を講師として、自然や伝統文化について体験を通して学ぶことができた。
- ・稲作の準備や取り入れた米の脱穀、地域でのアサガオの栽培や手入れなど、地域の方が児童に分かりやすく話していただき、地域理解、ふるさと鹿骨を愛する気持ちを育てることができた。
- ・例年だと読み語りや図書室環境作りなど、ボランティア組織として保護者同士の協力体制がとれている。本年度は、コロナ感染症の影響により、図書室の環境作りを中心に行っていただいた。
- ・おやじの会には学校の側溝清掃や稲作のスズメ除けの網の設置など今年も支援していただけた。
- ・毎朝の登校の見守りをしてくださる地域の応援団が大変協力的である。挨拶についても指導、声掛けをしていただき、児童のあいさつの習慣作りができた。
- ・学生ボランティアが昨年より活動を開始した。活動内容を精査し持続可能な活動としていきたい。本年度は、コロナ感染症の影響により休止となっている。

### < 課 題 >

- ・保護者以外の応援団の方の高齢化が進んでいる。また、次世代の人材不足が課題としてあげられる。PTAを始め、地域の方々に広く呼び掛けて新たな人材確保に努めていきたい。
- ・ふるさと学習として学ぶ内容とそれにあった人材発掘を引き続きしていく。またこれまでの活動の記録や指導していただいたことの内容も、次の学年に引き継ぎをしていく。
- ・地域から学ぶことは、自分が地域で生きることにつながる。地域の方々との結びつきを大事にして、感謝して学べるようにしたい。

## 5 応援団代表より

昨年度から学校応援団の代表を務めさせていただいています。最初はどのようにしていけばいいかわからなかったのですが、朝校門に立ち、一人一人の子供と顔を合わせ、笑顔であいさつする姿を見ると嬉しくなりました。この気持ちは、どの見守り隊の仲間も同じ気持ちだと思います。また、学校からの要望を受け田植えの手伝いなども行いました。子供たちのそばにいとその成長を見ることが出来ます。これからも鹿骨東小学校の子供たちが、心身ともに健やかに成長してくれるようお願い、学校、先生、子供たちを応援していきたいと思っています。このコロナ渦の中で教師方々のご奮闘に敬意を表したいです。

## 6 学校長より

地域に在住している大勢の方が、学校教育に理解を示してくださり、「鹿骨東小学校ふるさと学習」や図書ボランティア・グリーンボランティア、毎日の登校の見守りなどで、ご尽力いただいています。

学校応援団の方が、学校の方針をよく理解してくださり、学校と一体となって子供たちを育てることが出来る信頼関係が築けていることは大変嬉しく思います。

今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の事態となっていますが、学校応援団の皆様は昨年までと変わらず学校の様々な教育活動に対してご協力いただいています。本校の児童がより充実した教育を受けられるのも学校応援団の皆様のお蔭と感謝しています。これからもそのお気持ちにこたえる意味も込めて、ふるさとを愛する児童を育てていきたいと思っています。よろしく申し上げます。

# 松本小学校 学校応援団 実践報告書

実のなる木活動



## 1 校長及びコーディネーター氏名

松本小学校長 高瀬 雄二  
 コーディネーター 二村 寿三

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 17人 |
|              | 学生ボランティア | 1人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称                | 活動状況(週、月、不定期)  | ボランティア数<br>(実人数)         |
|--------------------------|--|--------------------------|
| グリーン<br>ボランティア活動         | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校農園「みどりの園」や校庭果樹の管理 [ 通年 ]</li> <li>学年ごとの果樹・作物の栽培、収穫の指導と補助 [ 通年、季節ごと ]</li> <li>みかん ( 1年 )</li> <li>さつまいも ( 2年 ) 学校農園(みどりの園)</li> <li>小松菜 ( 3年 ) 梨 ( 4年 )</li> <li>稲、ミニ田んぼ作り ( 5年 )</li> <li>サクランボ、びわ、柿 ( 6年 )</li> </ul> | 7                        |
| 「心のごはん」活動<br>・図書ボランティア活動 | <ul style="list-style-type: none"> <li>全学級での読み聞かせ [ 毎月1回 ]</li> <li>学校図書館環境整備 ( 書架整理、図書館飾りつけ ) [ 毎月1回 ]</li> </ul>   | 0<br>(新型コロナウイルス感染症予防のため) |
| 安全・安心の見守り活動<br>朝の挨拶運動    | <ul style="list-style-type: none"> <li>毎朝、当校時の安全見守り ( 通学路の交差点、横断歩道等で )</li> <li>毎朝、正門・東門での登校時の安全見守り、挨拶の言葉かけ</li> </ul>   | 197<br>(全家庭の保護者と応援団)     |
| 花壇活動                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>校庭花壇、プランターの栽培補助 [ 不定期 ]</li> </ul>  | 1                        |

小松菜の収穫



朝の挨拶運動



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため活動に制限がある中、例年実施している実のなる木の受粉や摘果、稲（米）や小松菜の栽培では、学校応援団の方が主になり、たくさんの支援をいただいた。その結果、多くの実りを得ることができただけでなく、児童に貴重な体験活動をさせることができた。
- ・学校応援団の方々の継続的な「あいさつ運動」により、コロナ禍においても児童のあいさつに対する意識が高まり、代表委員会のあいさつ運動を担当している児童にも刺激をいただいた。そのことで学校全体で児童が元気よくあいさつをする気風が高まった。

### < 課 題 >

- ・例年は書架の整理や図書室の掲示・表示物作りなどの読書環境を整えたり、心のごはん（読み聞かせ）活動を行ったりしていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、実施できなかった。感染症予防を行いながら、学校も協力して安全に実施できるようにしていきたい。
- ・学校応援団の方々が、大変協力的で児童にとって良い成果が得られたことが多かった。また、今年度は学生の立場で参加して下さる方が出てきた。ただ、メンバーが固定化しており、継続的な活動のために更に輪を広げてボランティアの数をもっと増やしていきたい。

## 5 コーディネーターより

今年度は新型コロナウイルス感染症で学校が臨時休校になる中、「松小の子どものために活動しよう」「できることから始めよう」「続けていこう」の三本柱をモットーにして、日々地道な活動を行ってきました。「自分の子どもが卒業した学校に、再び関わられるようになって、子どもたちのために何かできることがしたい。」「ずっとこの町に住んでいますが、学校のお役に立てることがあればと思い、活動に参加してみました。」などの話を聞くと、学校を通した《地域のつながり》という大きな役割を担っていることを私たち『学校応援団』は実感しています。

子どもたちから「ありがとう」と言われること、子どもたちの満面の笑みが、我々の次の活動への活力になります。今後も元気な松小の子どもたちのために、様々な人との関わり合いを大切にして活動していきます。今年度の活動へのたくさんのご支援・ご協力をありがとうございました。

## 6 学校長より

今年度も本校伝統の「実のなる木活動」を初めとして、様々な活動を学校応援団の方々にご協力いただきました。特に今年は、新型コロナウイルス感染症流行の中での活動となりましたが、予防に気を付けていただきながら、「実のなる木活動」の他にも、「朝のあいさつ運動」「農園や花壇の整備」などに、多くの方々のお力添えをいただき、ありがとうございました。

3年生では「小松菜の栽培」で種まきから収穫まで、4年生では「梨の栽培」で受粉から収穫まで、5年生では「稲の栽培」に取り組む際、ミニ田んぼを耕す・水の管理・田植え・収穫・精米などに関する支援等をたくさんいただきました。また、学校農園で収穫された大きな冬瓜を給食で喫食し、コロナ禍の中でも自然や環境、食の大切さを児童が実感できるよう、豊かな心を育ていただきました。

今後も、学校と家庭・地域の方々との「共育」「協働」を大事に、関わりを一層強くし、本校の教育活動の充実に努めてまいります。今年度も、子どもたちの健やかな成長のためにご尽力いただいた「松小応援団」の皆様方に、心より感謝申し上げます。

# 本一色小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

本一色小学校長 和田 敏郎  
コーディネーター 吉野 誠司

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 15人 |
|              | 学生ボランティア | 2人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期)              | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|----------------------------|------------------|
| 読み聞かせ     | 月2回(隔週水曜日)                 | 13人              |
| 図書館壁面装飾   | 月1回(第1木曜日)                 | 8人               |
| 農園整備      | 今年度はコロナウイルス感染症の影響のため、活動中止。 | 1人               |



整備していただいた学校園



農園担当ボランティアの方の出前授業



図書館壁面装飾ボランティア作成の装飾



読み聞かせボランティアの活動

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、例年通りの活動は難しかったが、通常登校が可能になり、感染症対策を講じながら、読み聞かせ等の活動を行った。月2回、水曜日の朝の時間に保護者の方が本の読み聞かせをしてくださっている。読み聞かせを通して子どもたちは本に親しみをもつようになっている。応援団の方からの読み聞かせを楽しみにしている。
- ・図書館装飾ボランティアの方々は、季節に合った装飾で、図書館を居心地のよい空間にしてくださっている。また、使いやすい図書館を目指し、図書の整理にも取り組んでくださった。そのため、図書館は活用しやすくなっている。
- ・地域の方から貸していただいている学校園での活動は実施できなかった。しかし、区が防草シートを張る工事を施工していただいたおかげで、除草や畝作りなどの作業は行わずに済んでいる。農園担当の方には出前授業も実施していただいた。

### < 課 題 >

- ・学校応援団の取り組み活動内容を保護者や地域の方に周知しているがメンバーが集まりにくいことが課題である。学校便りやホームページ等で広くその活動内容を知らせ、関心をもっていただく。
- ・学校応援団メンバーを増やしていくために、参加しやすい組織作りや運営方法などを改めて考えていく。

## 5 コーディネーターより

今年度も地域の皆様、保護者の皆様にご協力いただき、学校応援団の活動が行われました。

子供たちの健やかな成長を支えるため、活動をがんばろうと考えていた矢先、新型コロナウイルス感染症の影響で思うような活動ができない1年となってしまいました。

今後は、多くの方に学校応援団の仕組や活動について、協力していただくことが必要です。地域・保護者・学校が協力して関わっていくことが大切であると思っております。

今後も、PTA・学校と連携を深め、学校の活動に協力できるような充実した活動が展開できるようにしてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 6 学校長より

今年は、感染症の影響で例年とは違う学校生活になりました。それでも、学校応援団の皆様は、読み聞かせや学校図書館整備など、子供たちの健全育成のために活躍して下さいました。また、ゲストティーチャーや動画で授業に協力して頂いた方も多くいらっしゃいました。子供たちにとって地域や保護者の方との学習は、自分の生活に結びついた学習になるので、学習意欲の向上につながります。今年も本校の教育活動にご支援、ご協力いただきましたことに、深く感謝申し上げます。

# 篠崎小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎小学校長            林田 篤志  
 コーディネーター      菅 嘉信

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 61人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称     | 活動状況(週、月、不定期)   | ボランティア数<br>(実人数) |
|---------------|-----------------|------------------|
| 農園栽培ボランティア    | 不定期             | 25人              |
| 読み聞かせボランティア   | 今年度は、実施できず      | 16人              |
| 図書室整備ボランティア   | 今年度は、実施できず      | 20人              |
| 安全見守り支援       | 週5～6回、校外行事時は不定期 | 100人             |
| 学習支援（そろばん学習）  | 8月、3月の各3日ずつ     | 2人               |
| 学校地域行事支援（凧作り） | 12月～2月、5日間      | 1人               |
| カブトムシ飼育支援     | 4月、8月の各1日       | 7人               |



学校農園の竹垣作り



農園の整備



学校行事の安全見守り



そろばんの指導



凧作りの指導



カブトムシの幼虫の掘り上げ作業

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

農園栽培ボランティアとして保護者の協力をいただき、1・2年生のサツマイモの収穫を行うことができた。子供たちは、自分たちが収穫した大きなサツマイモを手にし、大変喜んでいました。保護者と教職員が協力して農園の周りに竹垣の囲いを作ったり、草取りをこまめに行ったりした。道路と農園との境が明確になり、ゴミの投棄を減らし、侵入を防ぐ効果があった。また、雑草があまり伸びないうちに刈り取ることで、丈夫な作物を育てることができた。

春と夏に1回ずつ土曜日の午前中に、「おやじの会」のボランティアと教員でカブトムシの昆虫マットの入れ替え作業を行った。4月当初は、366匹だった幼虫が成虫になり、その後、新たに1000匹以上の幼虫が孵化した。幼虫や成虫は、3年生の理科の学習に活用するとともに、希望する児童に配布した。また、区内の希望する学校(約10校)にも分けることができた。

学校行事の江戸川河川敷で行う「凧揚げ」に向けて、地域の方から「凧作り」を指導していただいた。低・中学年が作る「ダイヤ凧」と高学年が作る「剣凧」の作り方を教員が習い、4年生までは、担任や図工専科が児童に教えた。5・6年生には、地域の方が直接教えてくださる。「凧揚げ」当日には、児童一人一人が作ったオリジナルの凧を揚げ、伝統的な昔の遊びを児童に伝えていく行事となっている。

### < 課 題 >

今年度は、コロナ禍のため、読み聞かせボランティア、図書整備ボランティアの活動ができなかった。来年度以降に昨年度までの活動が継続できるよう、人材の確保や活動内容を引き継ぐ書類の整備を行い、再開できる体制を整えておく。

- 農園栽培ボランティア・読み聞かせボランティア・図書整備ボランティアのリーダーと学校の担当者との間で定期的に打合せを行う。活動計画を立て実践していく中で活動内容等を見直しながら年間を通して活動を行っていく。

## 5 コーディネーターより

篠崎小学校は、学校と保護者・地域の方々が協力して子供たちを育てています。今年度は、コロナ禍でボランティアの方々の活躍の機会を設けることができなかった活動が多く、残念でした。来年度は、学校と保護者・地域の方々が結び付きを一層深め、子供たちのためにできることを行い、子供たちが充実した学校生活を送れるよう、精一杯努めて参ります。

## 6 学校長より

本校は、「楽しい学校」「温かい学校」「魅力ある学校」をスローガンに掲げ、保護者や地域の皆様に支えられながら教育活動を進めてきました。子供たちの健全育成には、学校・地域・保護者が力を合わせる大切と言われています。学校応援団の取り組みは、正に本校の教育活動の充実及び子供たちの健やかな成長のための強い支えとなっています。

今年度は、コロナ禍のため、学校応援団としてできる活動が限られてしまいましたが、今後も学校を応援してくださる皆様のご支援・ご協力をお願いするとともに、学校・地域・保護者の三者が連携して「篠小応援団」の更なる充実を目指していきます。



# 篠崎第二小学校 学校応援団 実践報告書



## 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第二小学校長 中村 隆之      コーディネーター 佐々木 仁

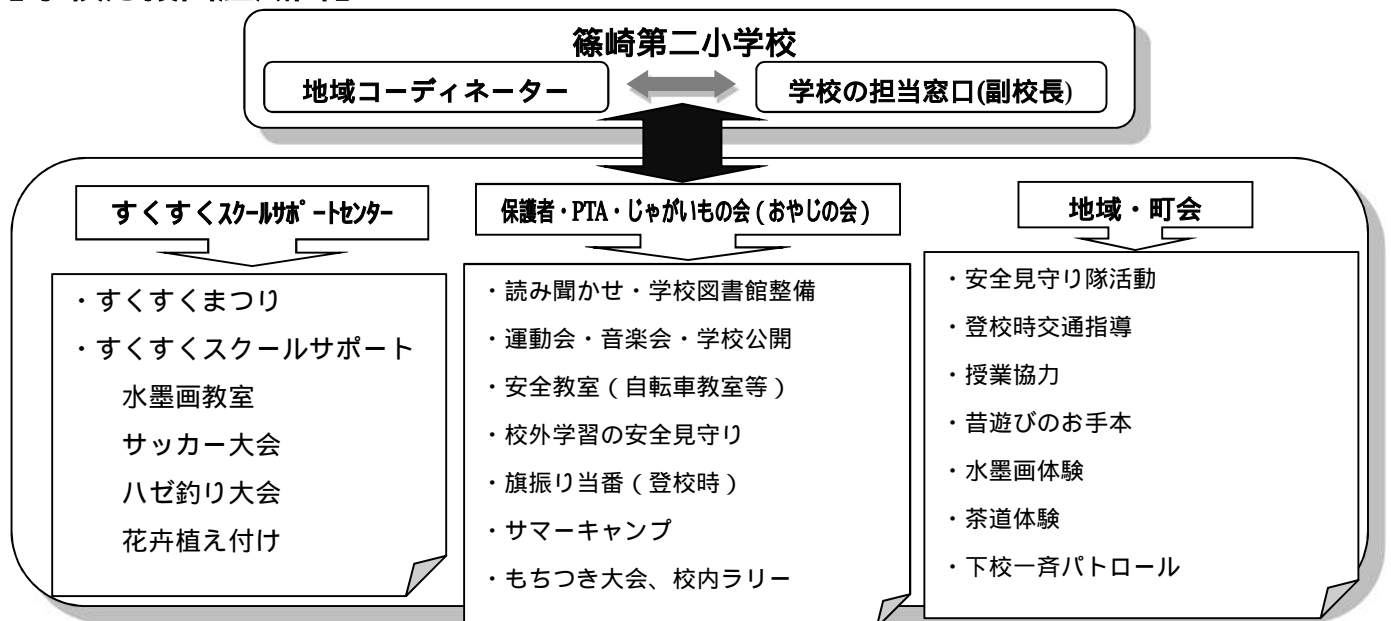
## 2 ボランティア登録数（令和3年1月現在）

|                |          |     |
|----------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア登録数 | 一般ボランティア | 49人 |
|                | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動内容

| 応援団の名称                                   | 活動内容                           |
|--|--------------------------------|
| 旗振り                                      | 登校時の安全を見守る。（毎朝） 25人            |
| 登下校パトロール                                 | 通学路で登下校の安全を見守る。 8人（一斉下校パトロール時） |
| 安全教室                                     | 自転車教室等でのお手伝い。 10人程度（雨天のため室内）   |
| 校外学習の引率補助                                | 校外学習を実施する際の安全支援 随時募集（今年度はなし）   |
| 学校行事の際のパトロール                             | 会場及び周辺の安全確認パトロール 随時募集（今年度はなし）  |
| 町たんけん支援                                  | 班別行動の付き添い 10人                  |
| * 令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため以下の活動はありませんでした。 |                                |
| 昔遊びお手本                                   | 昔遊びの支援をして、一緒に楽しむ。 随時募集         |
| ミシン学習支援                                  | 安全を見守り技術指導の支援をする。 4人           |
| 調理実習支援                                   | 安全を見守り技術指導の支援をする。 5人           |
| 図工学習支援                                   | 安全を見守り技術指導の支援をする。 随時募集         |
| 小松菜栽培支援                                  | 小松菜栽培の指導や体験の支援 3人              |
| 茶道指導                                     | 総合的な学習での茶道の指導 1名               |
| 水墨画指導                                    | 総合的な学習での水墨画の指導 1名              |
| 読み聞かせ・図書館整備                              | 学級に入って本の読み聞かせをする。 5人           |
|  | 本の修理や本の整頓を行う。 1人               |

## 【学校応援団組織図】



## 4 今年度の成果と今後の課題

### < 成果 >

令和2年度は、新型コロナウイルス対応のため、「学校応援団」としての活動はほとんど出来ませんでした。そのような中でしたが、毎朝の登下校時の旗振りと登下校時のパトロールは継続していただきました。また、分散登校時の時差登校に対応しての午後の旗振り、パトロールはおやじの会を主体とした地域の方々が行ってくださり、児童の安全確保が保たれました。校内でのコロナ対策が進み、行事等の制限が緩和された2学期末には、「読み聞かせ活動」を再開しました。昨年度に組織を整理した結果、学校からのお願いにスムーズに対応していただき、『健康観察カードの提出、マスク着用、座席移動なし』などの対策のもとで、各学級で「読み聞かせ」を行うことができました。



花の植え付け風景



読み聞かせ風景（低学年）



読み聞かせ風景（高学年）

### < 課題 >

開校当時から続く「応援団」の魂が受け継がれ、現在、「篠崎第二小学校学校応援団」として教育活動のサポートをいただいています。今年度は、新型コロナウイルス対応のため活動が中断されてしまいましたが、来年度にはさらに地域の皆様のお力を借りし、学校応援団の活動を一層充実させていくことが課題です。また昨年度、組織を整理した、読み聞かせ活動や図書館整備を引き続き行っていきます。

## 5 コーディネーターより

地域には篠崎第二小学校の卒業生の方も多くお住まいになっています。社会人となり母校のために何か協力ができないかと思っている方は多いと思います。コーディネーターとしてそのような方々の「気持ち」と学校からの「要望」をつなぎ合わせて、篠崎第二小学校が地域の学校として、地域の子供たちのための教育がより一層充実することを目指していきたくと考えています。

## 6 学校長より

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のために、今まで実績を培ってきた様々な場面での活動を見送らざるを得ませんでした。しかし、これからも状況を見ながら子供たちの安全と学びの向上のために、保護者、地域の方々に支えていただけたらと願っています。

そしてこの活動が「地域ふるさと」を知る『教材』となるよう、つながりを大切にして活動していけるように考えていけたらと思っています。今後とも、子供たちが健やかに育つ学びの場としての学校を応援団の方々と一緒につくっていきたくと考えています。

# 篠崎第三小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第三小学校長 佐藤 敬一  
コーディネーター 井上 伸也

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 43人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|---------------|------------------|
| 安全・安心見守り隊 | 毎日の登下校時       | 3人               |
| 学校図書館整備   | 毎週木曜日         | 30人              |
| 水田作り      | 不定期(土日)       | 10人              |

### < 水田作り >



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

○今年度は、分散登校に始まり、旗振りの応援団の方には、下校時だけでなく、朝の登校にも旗振りを行った。保護者の方、PTA 役員の方々にも、分散登校においては、不規則な時間帯にも関わらず、児童の登下校の安全に関わった。例年、地域の方が、2名だったが、今年度は、1名増えて、3名の体制でできた。

○コロナ禍の中、学校図書館の本の貸し出しにも条件が加わり、図書館整備も大変な中、スムーズな本の貸し出しができた。さらに、子供たちの笑顔のためにと、年末には、手作りのプレゼントを全児童分作り、子供たちにとってうれしいクリスマスプレゼントとなった。

○本校では今年度、父親の会の力を借りて水田を作った。設計から完成まで、何週もかけて土日に学校に来て、来年以降も使用可能な水田を作ることができた。稲作を通し、子供たちの学習がとても充実したものとなった。

### < 課 題 >

○学習面において、例年、各学年において応援団の方々が参加し、学習支援を行っていたが、今年度は学校応援団の力をほとんど得ることができなかった。例年行っていたことができなくなったことで、来年度を迎えて、以前のように行うことができるかが不安である。

## 5 コーディネーターより

コロナ禍の中、応援団が活躍する場がなくなった年は今までになかったことである。私たちは、学校の依頼があればいつでも駆け付けれるつもりでいる。ただし、応援団の中には、高齢の方もいるので、コロナの安全が確認されないと活動できない方もいる。心はいつでも学校のためという思いはみんながもっているの、早くこの状況が収まってくれるのを祈るばかりです。

## 6 学校長より

毎年たくさんの方のお力を借りて、学校の教育活動を支えていただいています。今年は、コロナの影響により、本来、子供たちが受けるべく活動が制限され、学校応援団の活動にも制限が多くかかる年となりました。子供は地域の宝と言われるように、子供たちは誰からも愛され、たくさんの地域の方にかわいがっていただいています。今年は、そうした光景が学校の中で見られなかったのがとても残念でなりません。制限は、お互いの健康を保つためにどうしても必要なことだったと思います。今年、なかなか学校に来られなかった学校応援団の方々の健康をお祈りしつつ、早くこの状況が沈静化し、またたくさんの学校応援団の方々に学校にお越しいただければと願います。

また、今もなおコロナで苦しんでいる方々に従事している医療関係者の方々には、とても感謝しています。そうした方々の献身する姿を子供たちに伝えていけたらとも考えています。今後も本校の教育活動にご支援・ご協力をお願いいたします。

# 篠崎第四小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第四小学校長 景山 賢治  
コーディネーター 風間 春彦

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 40人 |
|              | 学生ボランティア | 2人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期)  | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|----------------|------------------|
| 図書整備      | 月2回(火曜日または木曜日) | 20人              |
| 登下校見守り    | 週5回            | 20人              |
| 防災部       | 不定期            | 4人               |

### 図書整備の様子



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・校長の学校経営方針に基づき、ボランティア組織（ブックママ・おはなし隊・防災部）と連携をとり、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、学校応援団の活動を継続させることができた。
- ・図書室の整備では、本に親しむ環境を整え、読書好きな児童を育てる手助けをしている。
- ・町会と連携し、避難所開設についても共に考え、準備を進めることができています。
- ・登下校の安全についても、地域と連携をとり見守ることができた。
- ・花の苗植えなど、学校環境美化についても協力して行う予定である。

### < 課 題 >

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年のような活動をする事難しかった。今後、活動続けるために新たな取り組み方を考えていく必要がある。
- ・学校応援団の活動を、あまり知らない保護者の方が、いまだ少なくないのでHPなどで発信し、地域みんなで児童のためによりよい学校を創っていくよう努力を続ける。
- ・登校見守りについて、人数を増やしていけるとよいので今後も啓発、アピールを続けていきたい。
- ・今後も「共育・協働」をさらに進め、本校児童の心豊かな「育ち」と確かな「学び」のために地域の資源・人材をより積極的に活用していく。

## 5 コーディネーターより

篠崎第四小学校は、学校・保護者・地域が一体となり、全校児童が、安全で安心して楽しく学校生活を送れるように取り組んでいます。「学校応援団」の活動とその継続にあたり、その活動を少しでもお手伝いができるものと考え、本年度も活動を推進してきました。

今後も、応援団のスローガンにある「できるときに、できる人が、できることを」を合言葉に、保護者と地域の方の協力のもと、様々な学校への支援活動をしていきたいと思っております。

## 6 学校長より

篠崎第四小学校は、全校児童が安全で安心して楽しく学校生活を送れるように、保護者・地域のお力添えを得て、活動に取り組んでいます。既存団体をはじめ、ボランティアの方々の協力で、子供たちのために良い環境を作ることができています。子供たちの主体的・対話的で深い学びを実現するためにも、学校応援団の方の力を貸していただきたいと思っております。今後も、子供たちの伸びや高まりを目指すとともに、本校の「共育・協働」をさらに一層進めていきます。

# 篠崎第五小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

篠崎第五小学校長 山田 勇一郎  
コーディネーター 山崎 進

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 23人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称   | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-------------|---------------|------------------|
| 読み聞かせ・図書室整理 | 週1回(毎週金曜日)    | 20人              |
| 図書関連イベント    | 学期1回程度        | 20人              |
| 農園整備        | 週1回程度         | 7人               |
| 環境美化(ゴミ拾い等) | 不定期           | 2人               |

図書ボランティアによる読み聞かせ



田んぼの稲刈り



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・ 図書整備

学校図書館を平成29年度に広い部屋に移設・改修し、パソコンシステムを入れた関係で、部屋を施錠していた。このことで、自由に学校図書館に入れないというイメージがあり、学校図書館利用率が下がる傾向にあった。

読み聞かせボランティアの働きかけにより、学校側で、セキュリティ関係の工夫をすることで、学校図書館の施錠をしないこととし、開放感を増すことができた。

また、本校は、健康教育に力点を置いていることもあり、休み時間は全員外遊びが基本であるが、学校図書館で本に触れる機会も確保したいと、雨天時や放課後等の開放について、動きつつある。その中で、図書ボランティアが、蔵書の管理や本棚の整理、ページが破れてしまった本の修理など、積極的に活動し支援して下さった。また、コロナ禍で見合わせていた読み聞かせも、12月から再開され、教室のテレビの画面に絵本を映し出す等の工夫をしながら、魅力的な本を子供たちに紹介して下さった。これらの活動により、本に対する興味もさらに湧いてきている。

- ・ 困難に負けない農園活動

新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業や分散登校、真夏の猛暑等、今年度は、学校農園での計画・作業にも影響があったが、農園コーディネーターと農園ボランティア、用務主事の尽力により、田んぼの代かきや田植え、水やり、防虫ネットの設置、小松菜やヘチマ等、各学年の作物の育成を行えたことが成果である。田んぼの稲刈りや脱穀は5年生の児童も関わることができ、その体験から学んだことを、農園ボランティアの山崎様を招いて、パワーポイントを活用し発表することができた。

### < 課 題 >

- ・ ボランティアの人集め

今年度は、感染症対策のため、来校する人数や機会が制限され、ボランティア全体の人員を確保することが難しかった。特に、農園ボランティアが増えなかった。

新たな、人員を集めていくことが課題である。

## 5 コーディネーターより

図書ボランティア活動では、学校の図書担当と打ち合わせを進め、学校図書館の蔵書の管理や本棚の整理、本の修理等ができたことがよかった。今後も児童が本と一緒に時間が増えることを望みつつ、図書ボランティアの発展を図っていきたい。

農園活動では、ボランティアが集まらず、作業に時間がかかることが多かった。児童が怪我をしないよう、また目的の学習成果が得られるように、準備や作業を行ってきた。教職員ともできる限り連携をとるようにしてきた。次年度は教職員と連携し年度当初に農園計画を立て、ボランティア同士で周知し、早めに準備していきたい。

## 6 学校長より

今年度も山崎進様に、学校応援団の代表及びコーディネーターをお引き受けいただき、コロナ禍で制限の多い中、学校応援団の皆様による、学校教育の充実を図ることができた。今後も、学校と学校応援団の方と連携をとっていきながら、充実した教育活動を展開していく。



# 南篠崎小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南篠崎小学校長 豊澤 みどり  
コーディネーター 神子 雅史

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 60人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|---------------|------------------|
| 畑の整備と運営補助 | 不定期           | 20人              |
| 図書室装飾     | 不定期           | 3人               |
| 登下校見守り    | 不定期           | 30人              |



農園ボランティア  
収穫した小麦を昔の道具（とうみ）  
を使って実と殻を選別する活動



図書ボランティア  
図書室の装飾  
季節に合わせた装飾をしています

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

農園や図書などの活動は、今までボランティアの方に任せきりになっていたものも多かったが、新型コロナウイルス感染症対策により、ボランティアの方に頼り過ぎず、教員が活動内容を考え、学校主体の活動に変えていくよい機会となった。

農園ボランティアの方により農園の管理がしっかりできているため、コロナ禍でも例年育てていたさつまいもや小麦、小松菜などの栽培活動を今年度も行うことができた。子供たちが体験活動を行う機会を得ることができた。

○各活動にどのくらいの人数のボランティアの方が必要なのかを考え、例年通りではなく人数や活動内容の精選をした。ボランティアの方の負担を少なくすることができた。

### < 課 題 >

新型コロナウイルス感染症対策のため例年行っていた学校応援団の協力による活動ができないものが多かった。次年度も活動内容の制限が考えられるため密にならないように工夫した活動内容とボランティアの方に協力してもらう内容を考えていく必要がある。

農園の活動は、ボランティアの方に頼り過ぎている面がある。種まきから収穫まで、もっと子供たちが様々な体験活動ができるようにする。

新型コロナウイルス感染症対策のため、学校応援団会議を開くことができなかった。活動内容の確認や予算の配分など、年間の計画を確認し、各ボランティアに周知する必要がある。

## 5 コーディネーターより

今年度は、例年行っている活動が中止になることが多く、学校応援団の活動ができないものも多かった。次年度は、各ボランティアの代表の方と連携し、子供たちが今年できなかったことをやり方を工夫し、維持継続できるものを考え、学校に協力していく。

## 6 学校長より

今年度は、新型コロナウイルス感染症のため、保護者の方が校舎内に入る機会を極力控えてきました。また、密になることのないようにボランティアの方にも協力していただく機会を相談し、必要最低限の人数で行ったり、活動自体を中止せざるえないものがあったりしました。そんな中、農園ボランティアの方の協力で例年に近い活動ができたことに感謝しております。

地域の東部地域祭や江戸川区音楽祭なども中止となりましたが、来年度以降、子供たちの活躍の機会があればご協力いただきたいと思います。

# 鎌田小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

鎌田小学校長            鈴木 孝一  
コーディネーター      鷲尾 斎

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 23人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期)  | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|----------------|------------------|
| 朝の交通見守り   | 週5回            | 各日9人             |
| 安全教室      | 不定期            | 20人              |
| 校外学習引率    | 不定期（コロナの影響で中止） |                  |
| 花壇        | 年2回            | 1人               |
| 算数        | （コロナの影響で中止）    |                  |
| 金管        | （コロナの影響で中止）    |                  |
| 昔遊び       | 年1回（コロナの影響で中止） |                  |
| 読み聞かせ     | 3学期より活動再開予定    | 19人              |
| 図書        | （コロナの影響で中止）    |                  |



## 4．今年度の成果と課題

### < 成 果 >

「一緒に手を携えて」「できる時にできることを」のスローガンのもと、例年は地域・保護者の皆様にご支援、ご協力をいただきました。しかし今年度に限り新型コロナの影響で行事の中止を余儀なくされている状況が続いています。

読み聞かせボランティアについては江戸川区より活動が出来るとの連絡があり3学期に活動の再開を予定しております。

花壇ボランティアは2学期と卒業式前に花壇の整備を行います。算数ボランティア・金管ボランティア・図書ボランティアにつきましては本年度の活動は休止しています。

また、保護者の皆さんには、登校時の安全指導・校外学習の支援・学校行事へのお手伝いに参加していただいています。地域の方には、学校経営への助言ご協力していただきました。

今年度もおかげさまで、さまざまな教育活動を有意義に行うことができ、当初の目的を達成することができました。

### < 課 題 >

今後もコロナ禍の中活動が制限される事が予想されていますが、より良い活動ができますように、担当者と連絡を密にしていくことが大切であると感じています。

今後も、学校応援団の活動がさらに発展していくように企画・立案していきます。

## 5．代表より

「一緒に手を携えて」のもと、保護者や地域の方々の協力により、ボランティア活動がスムーズに行われました。子どもたちの健やかな成長のために、お手伝いできたことがよかったと思っています。今後も、子どもたちのために、地域の方々や保護者の方の力をお借りして、より良い学校応援団活動を進めていきたいと思ひます。

## 6．学校長より

令和2年度はコロナ禍にあったものの保護者、地域の皆様との「かかわり」「共育・協働」を大事にし、心と心の絆を深めながら、鎌田小学校の学校応援団の充実を図ることができたと受け止めています。今後も 図書ボランティア 読み聞かせボランティア 算数ボランティア 花壇ボランティアの4つの柱を中核にして、学校と家庭と地域とが一緒に手を携えて、鎌田小の教育活動や教育環境の充実を図って参りたいと思ひます。

次年度もさらに多くの方々との「かかわり」「共育・協働」のもと、これまで以上により良い学校応援団を築き上げていきたいと思ひます。

# 小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及び代表氏名

小岩小学校長 小松 広宣  
コーディネーター 城谷 敬之

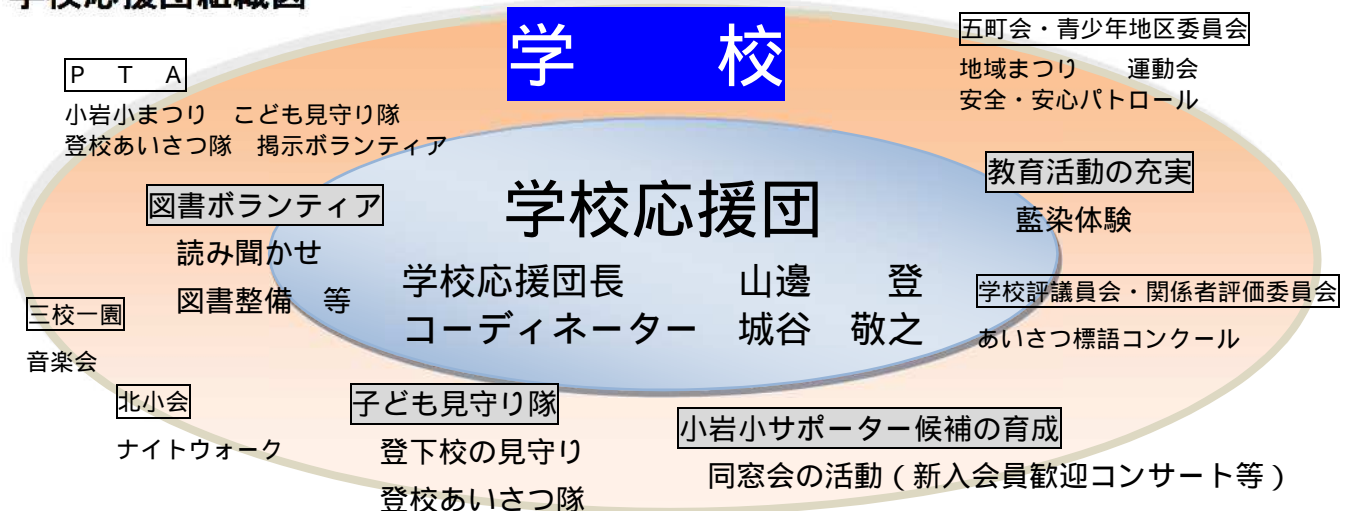
## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |      |
|--------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 326人 |
|              | 学生ボランティア | 0人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称     | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|---------------|---------------|------------------|
| 図書整備          | 月2回(水曜日)      | 20名              |
| 読み聞かせ         | 月1回(水曜日)      | 20名              |
| 子ども見守り隊(登下校時) | 年2回           | 120名             |
| 子ども見守り隊(校外学習) | 年4回           | 40名              |
| 登校あいさつ隊       | 毎日            | 200名             |
| 掲示ボランティア      | 不定期           | 8名               |
| 教育活動の充実       | 不定期           | 10名              |
| 小岩小サポーター候補の育成 | 年3回           | 18名              |

## 学校応援団組織図



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、例年より学校応援団の活動回数、活動内容が制限される一年となりました。そのような中でも、「子ども見守り隊」では、保護者や町会の防犯部の皆様を中心に、たくさんの方に児童の安全を支えていただきました。そして、本校図書ボランティアによる読み聞かせはできませんでしたが、図書室整備や本の修理等を月2回、感染予防をしながら行っていただきました。そのため、コロナ禍でも、児童が多くの本を手にとることができ、読書活動が充実したものとなりました。藍染体験では、コロナ禍で講師の方々から直接指導は受けられませんが、指導を受けた教員によって、運動発表会で着用する衣装づくりをすることができました。同窓会の活動では、次代の小岩小のサポーターの育成に大きな力を発揮していただいています。

### < 課 題 >

地域の人材を更に発掘し、様々な側面から支援していただけるよう計画的に活動を進め、学生等のボランティアを増やしていきたいと考えています。

## 5 コーディネーターより

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、例年と同様の活動をするのができませんでしたが、図書整備や見守り隊など、可能な範囲での活動に取り組みました。今後もこうした活動が継続・発展し、小岩小の特色ある活動として定着していくようにサポートしていく予定です。地域にあいさつの輪が広がるよう、保護者や地域、同窓会の組織と学校が一体となり、相互に理解と協調をもった温かい小岩小らしい学校応援団の活動を推進していきたいと思っています。

## 6 学校長より

小岩小学校では、令和4年度新校舎落成となる開校140周年を目指し、小岩小の伝統やよさを活かしながら、バージョンアップした小岩スタイルづくりを進めています。今年度は、コロナ禍や仮設校舎により活動の縮小や制限等がありました。そのような中でも、保護者や地域の方々に多くの支援をいただきながら、教育活動を進めることができました。今後も、保護者、地域の皆様により信頼のある学校となるよう努力していきます。

# 東小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

東小岩小学校校長 牧岡 優美子  
コーディネーター 阿部 幸一

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 35人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称   | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-------------|---------------|------------------|
| 学習支援ボランティア  | 不定期（今年度は自粛中）  | 人                |
| 図書ボランティア    | 月1回（今年度は自粛中）  | 人                |
| 図書選書ボランティア  | 月1回（今年度は自粛中）  | 人                |
| 読み聞かせボランティア | 週1回（今年度は自粛中）  | 人                |
| 安全指導ボランティア  | 不定期           | 20人              |
| 農園活動ボランティア  | 不定期           | 15人              |
| 校外活動ボランティア  | 不定期（今年度は自粛中）  | 人                |



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- ・「農園活動ボランティア」では、地域の農園を学校に貸していただき、貴重な体験を毎年行っている。活動する日に加え、準備や日々の管理等もきめ細かく行っていただき、児童の活動をスムーズに行うことができた。
- ・「安全指導ボランティア」では、16回の土曜授業の際に、普段の登校見守りに加え、ボランティアの保護者が参加しての旗振り当番を実施していただき、交通事故0を継続することができた。

### < 課 題 >

- ・年間学習活動計画と連動させ、できる限り年度当初に保護者・地域の方々にお知らせすることによって、さらに多くの人材確保や依頼の準備を徹底しなければならない。
- ・今年度は活動を自粛せざるを得なかった応援団が複数あった。感染状況が落ち着くまで、新しい生活様式の下、直接児童と触れ合う場面が少なくなっていくことも視野に入れながら、活動内容も変更していく必要がある。教育活動の更なる充実のために改善していきたい。

## 5 コーディネーターより

P T Aや東小会（P T AのO B会）、5町会が連携・協力して、児童の安全や健全育成に取り組み、21年度より学校応援団活動として統合しました。活動を自粛している応援団もありますが、開校68年目を迎え、その「連携の伝統」を今年度もさらに引き続き築くことができたと思います。保護者の協力により「子どもたちが安全に活動できた」とか、地域の方々の協力で「学校農園活動が今年も無事にできました」等を学校関係者や保護者より耳にして嬉しく思いました。来年度も学校・保護者・地域が一体となって、さらに発展した活動を行ってまいります。

（コーディネーター 阿部 幸一）

## 6 学校長より

農園活動を行っている「ふき農園」は、平成13年に元P T A会長から学校に寄付していただいた農園で、奥様のお名前（婦喜さん）から「ふき農園」と名付けました。この学習には、地域の方が「学校応援団」として協力してくださっています。例年であれば、子どもたちと学校応援団の方々が一緒に種まきをするところです。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症のため、子どもたちは臨時休業中だったので、5月に10名の学校応援団の方々が畝作りをしてくださり、教員と一緒にポップコーン用トウモロコシの種まきとサツマイモの苗植えを行いました。

それから、学校応援団の方々が草むしりや柵の補強などのお世話をくださったお陰で、10月には無事収穫を楽しむことができました。例年は学校応援団の方々と一緒に、学校で調理し収穫パーティーをするのですが、残念ながら今年度は校内でいただくことになりました。

今後も「連携の伝統」を築ける組織を作り、学校応援団の皆様のお力添えをいただきながら、地域とともに地域に貢献できる子どもたちを育ててまいります。よろしく願いいたします。

（校長 牧岡 優美子）



# 下小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

下小岩小学校長 有谷 敏行  
学校応援団代表 神谷 知幸  
コーディネーター 戸田 健 井上 幸男

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月現在）

|                |          |      |
|----------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア登録数 | 一般ボランティア | 45 人 |
|                | 学生ボランティア | 0 人  |

## 3 今年度の活動状況

例年、以下のような取り組みを実施しておりますが、今年度は新型コロナウイルス拡大防止のため実施できませんでした。

| 応援団の種類・名称  | 活動状況(週、月、不定期)     | ボランティア数<br>(実人数) |
|------------|-------------------|------------------|
| 読み聞かせ      | 月1回(第2水曜日及び学校公開時) | 12人              |
| 図書整備       | 月1回(第2水曜日)        | 6人               |
|            | 不定期               | 1人               |
| 登下校見守り     | 毎日                | 3人               |
| 学習活動補助     | 不定期               | 12人              |
| ヤゴ救出・ヤゴトープ | 年2回               | 15人              |
| 地域の名人に学ぶ   | 年4回               | 7人               |
| 早朝相撲       | 年3回(各回1週間ずつ)      | 1人               |
| 校内相撲大会     | 年1回               | 4人               |



読み聞かせ



ヤゴ救出大作戦



九九に挑戦!

#### 4 今年度の成果と課題

「社会に開かれた教育課程」実現のため、地域の方にご協力いただき教職員だけでは体験できない取り組みを行ってきましたが、今年度は感染症対策を最優先とし、学校応援団の皆様への依頼を控えました。

今後は「新しい生活様式」とともに「新しい学校応援団様式」が求められると思います。例えば5年生の社会科見学は自動車工場のご協力のもとオンラインで実施しました。学校応援団の活動も直接対面しなくても実施できる取り組みを模索してまいります。

#### 5 コーディネーターより

改めて申し上げるまでもなく、今年は新型コロナウイルス感染症の拡大・急増により学校応援団としての例年の活動が全くできない状況となり、大変残念で悔しい思いでいっぱいです。

新しい年がどうなるかは分かりませんが、少しでも状況が好転し、本来の活動が一つでも多く実施できることを願っています。

来年もどうぞよろしくお願いいたします。

#### 6 学校長より

校長として子どもたちの夢と希望を育む豊かな教育を演出しようと考えたとき、学校応援団の皆様のお力をお借りすることが何よりも重要だと真っ先に浮かんでまいります。

令和2年度より下小岩小学校に着任しましたが、コロナ禍の影響で例年行ってきた学校行事も、地域行事やすくすくスクールの催しも、今年度は見合わせなければならないことばかりになってしまいました。

地域の温かさや良さをたくさん耳にしてきましたのでとても残念です。しかしながら代表の神谷様、コーディネーターの戸田様や井上様をはじめ 45 名にもおよぶボランティアの皆様がいつでも協力しますと言ってくださいます。

来年度に向けて充電していただき、下小岩小学校の子どもたちのためにご支援を賜りますようお願いいたします。

# 下小岩第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

下小岩第二小学校長 篠原 一  
コーディネーター 鮎澤 正和

## 2 ボランティア数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 75人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称                               | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|---|---------------|------------------|
| 読み聞かせ                                   | 月1回(休止中)      | 20人              |
| 図書整備                                    | 不定期(11月より再開)  | 10人              |
| 環境整備<br>・花壇整備                           | 不定期           | 10人              |
| ・登校時旗振り                                 | 毎日            | 10人              |
| 授業の補助<br>・昔遊び<br>・花壇の作物栽培支援<br>・家庭科学習支援 | 不定期           | 25人              |



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

登下校時、安全面の見守りなどをしていただけることで子供たちが安心して活動することができた。

花壇の手入れや校内施設の整備など、教職員だけでは手の届かないところに支援をいただき、より好ましい教育環境をつくることができた。

○図書室整備や本の紹介など、読書活動の充実に支援をいただき、読書に親しむ子が増えた。

○協力と同時に学校の取り組みに率直な意見をいただけることで学校の現状や課題を広い視野で考察することができた。

### < 課 題 >

○昨年度より、学習支援ボランティアとして算数等の授業中につまづいている児童の見守りに入っていただいた。また、補習の時間には練習プリントのまるつけ等の協力をいただくことで、教員は個別指導にまわることができた。こうした取り組みが、感染症拡大防止のため、本年度は実施できなかった。本年度は学校応援団にかわり、学校再開支援員1名にこうした役割をお願いしたが昨年度、つまづきがちな児童が、楽しんで自信をもって学習に取り組めた場を共有できた学校応援団メンバーから、早く学習支援ボランティアを再開して欲しいとの要望をたくさんいただいている。学校応援団学習支援ボランティアメンバーがご高齢の方が多いため、感染症対策がしっかりとできしだいの再開を計画しているが、再開の見通しが今のところたっていない。

## 5 コーディネーターより

今年は感染症の対策のため、今までに積み上げてきた活動のうちいくつかは実施することができませんでした。学校応援団メンバーからも、早く学校のお手伝いをしたい、子供たちに関わりたいという声があがっています。この状況が落ち着いて、また、様々な場面で学校に協力していくことのできる日が早くもどってきてほしいものです。

今後も、下小岩第二小学校の恵まれた地域環境も生かしながら、子供たちのより良い成長を願って、学校やPTA、地域との連携を深めてまいりたいと思います。ご理解とご協力をよろしく願いいたします。

## 6 学校長より

いつも子供たちの安全とよりよい学びのために、学校応援団の皆様の多大なるご協力をいただきありがとうございます。教職員の少ない本校では、皆様の協力なしでは実施できません。今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、様々な活動や行事が中止いたしました。それでも子供たちの安全見守りや学習活動では、陰になり日向になり支えていただきました。来年度も子供たちのために教育活動の充実を図っていきたく思います。どうか宜しく願いいたします。

# 上小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

上小岩小学校長            高島 一広  
 コーディネーター        石川 きよ子

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|                |          |      |
|----------------|----------|------|
| 学校応援団ボランティア登録数 | 一般ボランティア | 114人 |
|                | 学生ボランティア | 0人   |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称   | 活動状況(週、月、不定期)          | ボランティア数<br>(実人数) |
|-------------|------------------------|------------------|
| 見守り隊        | 毎日                     | 101              |
| 菊サポーター      | 不定期（春～秋は、ほぼ毎日）         | 3                |
| 図書ボランティア    | 不定期（週1回程度）2学期より始       | 10               |
| 学習支援（手作り味噌） | 不定期（3学期）            中止 | 0                |
| 学習支援（金管バンド） | 不定期（年間通して）    中止       | 0                |



図書ボランティア（令和2年度様子）



手作り味噌（令和2年度中止）



菊サポーター



## 4 今年度の成果と課題

### 成 果

多くの保護者及び地域の方の見守り隊の皆様には、交通安全や生活安全の支援をいただき、児童が安全で安心して生活することができました。(登下校、地域での生活)特に、コロナ禍において集団登校から個別登校に切り替えましたが、児童が事故及び事件に遭わずに過ごせました。

菊サポーターの皆様には、学校の伝統である菊栽培の作業や学習の支援(一人一鉢)及び菊観賞会に向けての様々な準備の支援等をいただき、学校の伝統、生命の尊さ、郷土を愛する態度を育むことができました。昨年度は気候の影響もあり生育状況が十分でなかったのですが、その経験や反省を今年度の取組に生かしていただき、多くに児童が菊の花を咲かせ、立派な観賞会が開催できました。

図書ボランティアの皆様には、しばらく活動の休止をお願いしていましたが、活動再開からは、児童や教員が行えない環境整備や書架整理(毎週)をしていただき、読書に対する興味・関心が高まり、読書する機会が増えました。

手作り味噌のボランティアの皆様には、学校の味噌作りの歴史についての話や、味噌作りの前日の作業や当日の作業の準備、当日の味噌作りの作業について指導や支援をいただく予定でしたが、コロナ禍での活動は中止させていただきました。

金管バンド・ボランティアの皆様には、楽器の扱い方や音の出し方などの楽器の楽しさや基本の奏法、演奏の合わせ方など、丁寧に指導していただく予定でした。毎年、一人一人が運動会や上小岩コンサート、地域まつりでの演奏やパレードに自信をもって取り組むことができ、大きな成果を上げておりましたが、コロナ禍での活動は中止させていただきました。

### 課 題

保護者への呼びかけを定期的に行い、今後もより多くの参加者・支援者を募ります。

学習支援や読み聞かせなど、活動内容の引継ぎ資料を作り、取組が継続するようにします。

コロナ禍における活動制限が多かったです。新しい生活様式での活動を模索します。

## 5 コーディネーターより

「学校応援団」の代表として、上小岩小学校の子供たちの健やかな成長と安全で安心できる生活を願い、学校の教育活動を支援しております。保護者、地域の皆様からは多くご支援をいただきましたことに感謝申し上げます。今後も一層充実した応援体制をとってまいります。

## 6 学校長より

本年度も、地域の皆様、PTAの皆様には学校応援団としてご支援ご協力をいただき、充実した教育活動が行われました。多くの方が上小岩小学校の児童の心身の健やかな成長を願い、コロナ禍においても学校を支援していただいたことに深く感謝申し上げます。

登下校は、地域の皆様、見守り隊の皆様の温かい眼差しや言葉かけのおかげで、児童の個別登下校においても安全で安心して行うことができました。3・4年生の菊の栽培では、菊の鉢上げから菊観賞会まで支援していただきました。目をかけ手をかけてくださる菊サポーターの心の温かさが児童に伝わり、今年度も命を育てる大切さを学びました。図書ボランティアの皆様には、図書室の環境整備(毎週1回)を行っていただくことで、児童が本の世界に浸り、豊かな時間をもつことができました。

皆様の学校への気持ちを受けとめ、一層連携を深め、皆様と共に歩む学校をつくってまいります。

# 上小岩第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

上小岩第二小学校長 落合 由美子  
コーディネーター 新澤 和子

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 52人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称    | 活動状況(週、月、不定期)                   | ボランティア数<br>(実人数) |
|--------------|---------------------------------|------------------|
| 図書館整備        | 本の修理・整理整頓・室内装飾(毎週水曜日)<br>7月より活動 | 6名               |
| 読み聞かせ        | 朝の読み聞かせ(12月より活動)                | 15名              |
| 地域安全パトロール(朝) | 有志による活動あり                       | 20名              |
| 地域安全パトロール(夕) | 今年度は中止                          | 18名              |
| 空き缶つぶし       | 今年度は中止                          | 60名              |
| 交通安全教室       | 交通安全教室は行ったが、応援はなし               | 15名              |



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

今年度は新型コロナウイルス感染症のために活動が制限されました。

○図書ボランティアについては、学校が再開した7月から毎週水曜日を活動日とし、図書館の本の整理や修理、室内の飾りつけ等を行ってきました。また、本の出し入れをやすくしたり、選びやすくしたりするために、本の入れ替え作業を行いました。読み聞かせボランティアについては、児童との距離が近くなるため活動を控えてきましたが、12月に1回（朝8時30分～8時40分）行うことができました。月1回でもできればよいと考えてきましたが、再び緊急事態宣言が発令されたことにより、活動を見合わせることになりました。

例年、朝の旗振り、地域安全パトロール活動は、登校時（学期初めの1週間）や長期休業中一定期間、夕方の時間帯に行ってきましたが、今年は、年度初めに体制作りができなかったものの、有志の方々による活動は行ってきました。

その他、回収した空き缶つぶしの活動や交通安全教室のお手伝いに関しても感染防止のため、活動を見合わせました。

### < 課 題 >

今後、新型コロナウイルス感染症対策として手洗い、手指消毒、3密回避を念頭に活動していくこととなります。PTAが中心になって活動を行っていますが、図書ボランティアや読み聞かせボランティア等の活動に対しできる範囲で、できる事を計画し、PTAの負担軽減を視野に入れながら、協力体制を築いていくことが課題です。

## 5 コーディネーターより

日頃から先生方、保護者の皆様、地域の皆様のご協力により子供たちがより良い学校生活が送れるようたくさんのご支援をいただいていることに、心より御礼申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症のために、思うように活動ができませんでした。人との接触を控えざるを得なかったことが大きな理由でありましたが、少しでも活動を継続したいとの思いがあり、図書ボランティアの活動ができたことは救いでした。

感染症が1日も早く終息することを願うとともに、子供たちが豊かな学校生活が送れるよう、一同力を合わせて頑張らせて参ります。皆様のご理解とご協力をよろしく願いいたします。

## 6 学校長より

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限されましたが、それでも、子どもたちのため、学校のために活動していただいたボランティアの方々に厚くお礼申し上げます。

本校の学校応援団は、学校行事全般についてもきめ細やかに子供たちの安心安全と健やかな成長のために活動して頂いています。

感染症の終息を願いつつ、今後も子供たちの笑顔あふれる学校づくりのためにご支援・ご協力の程よろしく願いいたします。



# 西小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

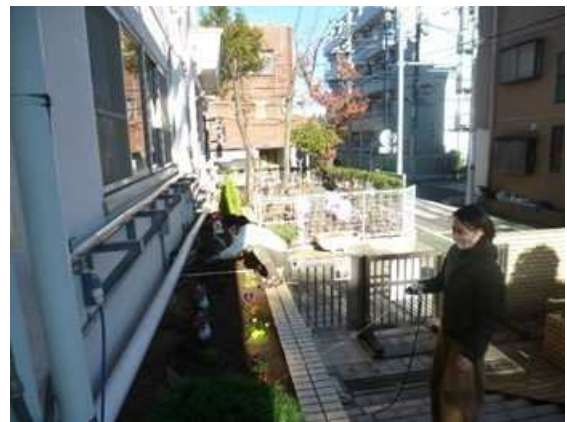
西小岩小学校長 則岡 小織  
コーディネーター 植草 誠

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 80人 |
|              | 学生ボランティア | 2人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称  | 活動状況(週、月、不定期)     | ボランティア数<br>(実人数) |
|------------|-------------------|------------------|
| 花壇ボランティア   | 花壇の花の植え替え・整備(不定期) | 5名程度             |
| 図書ボランティア   | 学校図書館の環境整備(不定期)   | 2名程度             |
| 登校安全ボランティア | 登校時の見守り(毎日)       | 30名程度            |
| 廃品回収       | 古紙の回収(1回)         | 10名程度            |



花壇ボランティアの活動の様子

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

○今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、登校班での登校ではなく個人登校となった。しかし、保護者による登校の付き添いのお陰で、事故なく登校ができた。

○花壇ボランティアのお陰で、学校を訪問される方をきれいな花でお迎えすることができた。

コロナ禍における分散登校や保護者の来校自粛などの制約の中、今後の学校応援団の活動の在り方について再考し、次年度以降につなげる計画を立てるよい期間となった。

### < 課 題 >

○新型コロナウイルス感染防止対策のため、十分な活動を図ることができなかった。

○コロナ禍の今だからこそ、ボランティア活動をしてくださる方々への感謝の気持ちをもたせたり、伝えさせたりする中で、子どもたちのボランティア精神を高めたりする一助としていきたい。

本当に求められるボランティアの内容は何か、学校や地域、保護者がより連携しやすい活動は何か、という視点で活動内容を見直す必要がある。

感染症対策を十分に講じながらも、多くの方々にボランティア活動に興味をもってもらえるような広報活動を行ったり、参加しやすい環境を整えたりしていく必要がある。

## 5 コーディネーターより

コロナ禍の中、「なんとか子どもたちのためにできることはないのだろうか。」と、今年度も可能な範囲で登校の見守りや学校花壇の整備などを行いました。

特に、今年度は登校班での登校を見合わせるという学校の判断の下、多くの保護者の方々が子どもたちの登校に連れ添い、安全を見守りました。子どもたちの登校風景に触れ、登校ボランティアの必要性を改めて感じたことでしょう。また、正門の花壇は、花壇ボランティアの皆様のお陰で季節に合った綺麗な花が咲いています。

これからも学校応援団の活動の輪が広がり、学校・PTA・地域がチームとなって、子どもたちのよりよい成長のためにみんなで力を合わせていきましょう。

## 6 学校長より

本校では、学校応援団が設立する前より、保護者や地域の皆様のご協力をいただき、学校ボランティアの支援体制が整っていました。そして、その活動は年を追うごとに充実したものとなり、感謝しております。

コロナ禍の今年度は、積極的な活動をしていただくことができませんでしたが、できる範囲で登校の見守りや学校花壇の整備などをしていただきました。そのおかげで、子どもたちも事故なく安心して登校することができ、きれいな花が学校を訪れる方を迎えてくれました。ありがとうございました。次年度は、学校の新しい生活様式の下、学校応援団の方々と協力をして、充実した学校教育活動を進めていきたいと思っております。

# 上一色南小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

上一色南小学校長 平田 鐘明  
コーディネーター 新開 美海

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 53人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称 | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------|---------------|------------------|
| 読み聞かせ     | 月2回(火曜日)      | 21人              |
| 図書整備      | 不定期           | 21人              |
| 登校見守り     | 毎日            | 4人×日数            |

読み聞かせ



読み聞かせ（ビデオ配信）



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

読み聞かせ活動が定着し、協力していただける保護者の数も増えてきた。子ども達も読み聞かせの楽しさを知り、読書に親しむ機会が増えている。年に1回開催される全校読み聞かせの会を、皆楽しみにしている。

登校見守りでは、地域の協力を得て進められている。無理のない範囲で、出来るときに、できるだけ呼びかけにより、子供たちの安全を見守っていただいている。

### < 課 題 >

読み聞かせにおいては、ビデオ配信により実施してきたが、コロナ対策として対面での読み聞かせも含め、実施の仕方について工夫をしていかなければならない。

長寿会を招聘しての昔遊び体験は、コロナ対策のため中止となった。今後、謝礼金も含め、どのような形で実施していくかが、課題である。

## 5 コーディネーターより

興宮町、本一色、上一色。子供たちが通うこの地域は、人情味に溢れ、古き伝統が根付いた地域です。そのような暖かい町で本校は、未来ある子供たちの育成を主とし、運動会・盆踊り、サークル活動など地域活動の拠点として、地域コミュニティの場としての役割も果たしてきました。親・子・孫が同じ小学校を卒業し、学校を中心に話題を共有する。これからもこの関係は変わらないものだと思っています。子供たちの安全・安心、そして健やかな成長のため、学校と力を合わせ、多くの方の御協力をいただきながら活動しておりますが、更なる支援の輪を広げるべく、皆様のお力をお貸しいただければ幸いです。

コーディネーター 新開 美海

## 6 学校長より

上一色南小学校は、保護者や地域の方々から「読み聞かせ」「登校見守り」「昔遊び」「運動会」「しめ縄作り」などの指導などに協力していただき、教育活動になっていきます。

日々の教育活動が充実したものになっているのも、学校・家庭・地域の連携があつてこそと、感謝しています。これらのことは、今後も子供の安全を守り、心と体を育てていく極めて大切なことであると考えます。

今後も三者の連携のもと、学校応援団としての組織の充実と、幅広い協力体制を確立していきたいと思っています。そして「たくましく、やさしい」上南の子を育てていきます。

上一色南小学校 校長 平田 鐘明

# 南小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南小岩小学校長 森 進一  
コーディネーター 島田 雅人

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|                |          |     |
|----------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア登録数 | 一般ボランティア | 70人 |
|                | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称   | 活動状況(週、月、不定期)    | ボランティア数<br>(実人数) |
|-------------|------------------|------------------|
| 読み聞かせボランティア | 月1回 第2金曜日        | 20               |
| 図書ボランティア    | 図書整備 不定期         | 20               |
| 旗振り 登校見守り   | 毎日               | 10               |
| OYAJI の会    | 行事の会場設営・運営補助 不定期 | 20               |



読み聞かせボランティアによる読み聞かせ

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

応援団会議は、本年度はコロナ禍であったため、年1回の実施とした。読み聞かせボランティアは、保護者・地域の方々に構成されており、毎月1回各学級での読み聞かせを実施している。ボランティアの参加が多く、子どもたちは年間を通して様々な方から読み聞かせをしていただいている。子どもたちは、毎月の読み聞かせをとっても楽しみにしており、読んでいただいた本を自分で読み返したり、同じ作者の作品を探して読み進めたりする姿が見られる。読み聞かせは、子どもたちが地域の方と共に学ぶ大切な機会であり、地域に愛着をもつ子どもの育成につながっている。

また、図書ボランティアは、おすすめの本の選書、本の修理、図書館の環境整備などを実施している。図書担当教員との打ち合わせを行い、ボランティアの専門知識を活かして活動している。そのため、図書ボランティアの活動は、年々充実している。

登校見守りボランティアは、人数が増加している。学区の多くの場所で子どもたちの安全を見守っていただいている。どの活動も組織的に行われており、安定した活動が進められている。心強い応援団によって、教職員も校務負担の軽減を感じている。

### < 課 題 >

次年度より本校は校舎改築である。子どもたちへの支援を増やすためにも、教員を志す学生による学習支援を行うために人材を集めたい。そのためには、魅力ある応援団の活動を、ホームページ等を活用して広報していくことが必要である。また、人員募集を行ったり、人材を発掘したりして応援団組織の層を厚くし、活動を活性化したい。

## 5 コーディネーターより

南小岩小学校の子どもたちをのびのびと成長させたいという願いで始まった学校応援団。読み聞かせボランティア、図書ボランティア、OYAJIの会等の組織を通じて南小岩小学校の教育活動を支え、保護者や地域の皆様と協力し合い、活動を広めたいと常に考えてきました。様々な情報交換をして、更に支援を図りたいと考えています。登下校の見守りやすすくスクールとの連携も引き続き必要です。三自治会(一南、司、扇子田)とは、様々な地域行事に協力させていただき、参加することで親交を深めてきました。これらを基盤としてさらに、南小岩小学校の学校応援団が活発に活動していけたらと考えています。

## 6 学校長より

「安心・安全・人権」を合言葉に、地域や保護者の期待に応え「明日の登校が待ち遠しい学校」づくりを目指して、日々の教育活動を行っています。今年度は、コロナ禍ではありましたが、毎朝の登校の見守り活動、読み聞かせボランティアによる読み聞かせ、図書ボランティアによる図書館環境整備など、保護者・地域の皆様には、感染症予防に努め、ご協力いただき感謝しております。

今後も、「地域とともに創る学校」づくりを進め、子どもたちが「南小岩小学校に通って良かった」と実感できるように学校環境を整備していくとともに、学力向上・体力向上・豊かな心の育成を図ってまいります。地域や保護者に信頼される学校となるよう全力を尽くしてまいりますので、今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。

# 南小岩第二小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

南小岩第二小学校長 土上 智子  
コーディネーター 苅部 隆之

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 21人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称  | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|------------|---------------|------------------|
| 読み聞かせ      | 11月から週1回      | 21人              |
| 基礎タイム等学習支援 | 今年度休止         |                  |
| 交通安全見守り    | 週5回           | 5人               |
| 父子会（ちゃんこ会） | 今年度休止         |                  |
| 環境整備       | 今年度休止         |                  |
| 図書館整備      | 今年度休止         |                  |



## 4 今年度の成果と課題

コロナ禍により、学校再開時の6月からは交通安全見守りを、11月から、読み聞かせを行った。読み聞かせは、毎週木曜日の朝の時間に各学級において、読み聞かせサークルの皆さんと保護者ボランティアの方々により行った。

玄関近くの、控室（小会議室）に入る前に、ボランティア一人一人が健康確認をした。

### < 成 果 >

- ・ 交通安全見守り活動は、PTA交通当番と連動し、児童の登校の安全安心と、挨拶の促進の啓発につながる活動となった。
- ・ 読み聞かせに取り組んでいる方々だけに、読み方がすばらしく、児童は話の中に引き込まれていた。その道に長けている方による活動は、児童の心を大きく揺さぶる効果がある。
- ・ コロナ禍ということで、児童は自分の座席で、読み聞かせ担当者は、正面に立ったり、書画カメラと大型モニターを使用したりして、後ろの座席の児童にも配慮して実施できた。ICTの利用や読み方を工夫することができた。
- ・ 日程調整や、内容の打ち合わせを、代表者とメールで行った。予定表の共有等がスムーズに行えた。

### < 課 題 >

- ・ 保護者ボランティアの、読み聞かせのスキルアップをする機会を定期的に行っていく。
- ・ 保護者と地域のボランティアの人数を増やしていく。

## 5 コーディネーターより

今年度は、コロナ禍ということもあり、これまでの活動を休止し、交通当番と読み聞かせ活動のみの活動でしたが、児童の喜ぶ姿が多く見られ、学校応援団としても充実感と達成感を味わうことができました。読み聞かせについては、さらにスキルアップを図っていき、児童の読書活動の推進に貢献していきたいと考えています。

今後は、読み聞かせの他、昨年度まで行っていた、学習支援・見守り隊・学級園等の環境整備・図書館整理等の活動が、いつでも再開できるよう準備をすすめていく予定です。また、学校行事や地域行事などで保護者等との親睦をはかり、学校応援団の活動に気軽に参加できるようにしていきたいと思います。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 6 学校長より

学校応援団の皆様には、日頃より本校の教育活動にご協力をいただき感謝しております。コロナ禍で、全く活動できなかった時期もありましたが、コーディネーターの苅部さんはじめ、交通当番の皆様、読み聞かせサークルの皆様とは、つなぎ続けることができました。読み聞かせが可能になったことによる児童の喜ぶ姿からは、「人とのつながりの大切さ」を身をもって実感することができました。

昨年度までの活動が、これまでどおり実施できる日を願い、児童の健やかな成長へとつながる、学校応援団活動となればと考えています。



# 中小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

中小岩小学校長 倉田 克彦  
コーディネーター 内田 泰雄

## 2 ボランティア登録数（令和3年1月末現在）

|                |          |     |
|----------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア登録数 | 一般ボランティア | 93人 |
|                | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称       | 活動状況(週、月、不定期)        | ボランティア数<br>(実人数) |
|-----------------|----------------------|------------------|
| 子ども見守り隊         | 週5～6回                | 30人              |
| 図書整備・装飾（・読み聞かせ） | 月1～2回                | 19人              |
| トトロの会（子供のための企画） | 不定期（今年度は12月末現在活動中止中） | 10人              |
| 学習支援            | 不定期（今年度は12月末現在活動中止中） | 20人              |
| 環境整備            | 年3回（例年は2回、今年度は3回）    | 14人              |



子ども見守り隊



図書の整備



花壇整備（プランター）



花壇整備（校庭周辺）

## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

- 「子ども見守り隊」として、今年度も毎日の登下校時には、暑い日も天候不良の日も、多くの方々に交通安全などの見守りに協力していただき、児童の安全を確保することができた。また、ささいな児童の変化や地域の情報を見守り隊の方々から得ることで、日々連携して育てていくことができた。子供たちも毎日あいさつなどを通してふれあう大切さを学ぶよい機会となっている。今年度は、見守り隊の他に、6年児童が校門であいさつができない中、PTA 役員や保護者のボランティアがあいさつをしながら見守る輪が広がった。
- 今年度は読み聞かせを行うことはできなかったが、本の整備・修繕、季節に合わせた図書館の装飾や特設コーナー設置等は例年と変わらず行っていただき、心地のよい図書館となった。花壇整備では、保護者のボランティアを募ると、多くの方の参加があった。また、他の応援団活動ができない中、花壇整備を1回増やしたいとの声が挙がり、環境委員会の子供たちとも連携し、共に花があふれる気持ちのよい花壇などの環境を整えることができた。

### < 課 題 >

- 図書ボランティア、花壇整備等、年々、人員の確保が難しくなっている中、コロナ禍で、新たな応援団を募集することが難しかった。次年度は様々な機会を通じて呼びかけ、新しい応援団の人員を増やしていく必要がある。  
子ども見守り隊の方々の高齢化が進んでいる中、PTAの協力も得ながら見守りを続けていただいているが、次の世代への引継ぎが難しいのが現状である。
- 図書館司書の配置がない中、図書ボランティアの負担にならない程度で、学校と連携しながら、また、学校図書館スーパーバイザーの力を借りながら、図書館整備など活動内容を充実させ、児童が利用しやすい図書館の環境を整えていきたい。

## 5 コーディネーターより

子ども見守り隊の活動として、毎朝、子供たちを見守る中、今年度はコロナ禍の中、マスクをしている子供たちの声が小さく、臨時休業後は心配な子もいましたが、だんだんと、子どもたちが元気にあいさつをして登校していく姿、また、成長していく姿を見ることができ、安心していきます。他にも、図書ボランティア、環境整備など、それぞれの応援団で、できる活動を考え、学校と連携を取り、活動をすることができました。地域学習の支援、職場体験、「トトロの会」など他の実践できなかった活動についても、子供たちの健康・安全を第一に考えていただきました。

今後コロナ禍の中、活動が十分にできないことも考えられますが、子供たちが心豊かに成長してくれることを願って、連携・協力しながら、学校を応援する様々な活動を続けてまいります。

## 6 学校長より

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、臨時休校となり、また、多くの予定されていた行事が中止となりました。そのような中、多くの方々に協力いただき、学校に関わる人や地域のよさを、児童は実感することができたと思います。応援団に所属していない方々にもボランティアで花壇整備に協力していただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。また、次年度、応援団に所属していただける方が増えるのではないかと期待しております。

今年度も学校応援団の方々には、お忙しい中、毎朝の見守り隊の活動を始め、様々なご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。今後もより良い教育活動に励んで参ります。皆様の応援をよろしく願いいたします。

# 北小岩小学校 学校応援団 実践報告書

## 1 校長及びコーディネーター氏名

北小岩小学校長 高橋 真  
コーディネーター 國居 寿美恵

## 2 ボランティア数（令和3年1月末現在）

|              |          |     |
|--------------|----------|-----|
| 学校応援団ボランティア数 | 一般ボランティア | 12人 |
|              | 学生ボランティア | 0人  |

## 3 今年度の活動状況

| 応援団の種類・名称   | 活動状況(週、月、不定期) | ボランティア数<br>(実人数) |
|-------------|---------------|------------------|
| 学校図書館の装飾・整理 | 不定期           | 7人               |
| 花壇の整備       | 不定期           | 5人               |



## 4 今年度の成果と課題

### < 成 果 >

コロナ禍の中、活動内容は限られましたが今年度も活動を継続することができました。限られた時間を利用しての花壇作り、学校図書館整備をボランティアの皆さんによって実施することができました。

### < 課 題 >

ボランティアの方の人数を確保することが難しく、活動方法・内容等を今一度考えることが必要な時期に来ています。また、コーディネーターの後継者探しも、併せて課題として考えていかないといけません。

## 5 コーディネーターより

図書館整備と花壇、どちらも地道に活動しています。花壇は定期的に飾り付けを変え、子供たちはもちろん、学校を訪れる方に楽しんでもらえるよう、工夫しています。今後も活動内容の周知を徹底し、ボランティアの皆さんが加入しやすい雰囲気作りを心がけ、活動の継続を進めていきたいと考えております。



## 6 学校長より

今年度は、コロナ禍の中、学校応援団の皆様が活動そのものが難しい状況が続きました。しかし、様々な場面で本校の教育活動を支え、常に子供たちのために活動して下さる学校応援団の皆様です。

「挨拶・笑顔・感謝」をモットーに毎朝、校門に立つ私と元気よく挨拶を交わし、季節を感じる花壇の横を通って昇降口に向かう子供たち。いつも整えられ季節を感じさせる草花に溢れている花壇を見るたびに嬉しく思い、学校応援団の皆様へ感謝の気持ちでいっぱいになります。学校図書館は常に本の修正や整理がされています。また、季節ごとの掲示物の工夫は、図書室に足を運ぶ子供たちを増やし、子供たちの本に親しむ気持ちを後押ししてくれています。

今後も学校応援団の皆様と協力して、子供たちの笑顔いっぱいの学校にしていきたいと思っております。